

館報 2001 50

ANNUAL REPORT

OF BRIDGESTONE MUSEUM OF ART & ISHIBASHI MUSEUM OF ART

石橋財団 ブリヂストン美術館
石橋財団 石橋美術館

館報 2001 50

ANNUAL REPORT

OF BRIDGESTONE MUSEUM OF ART & ISHIBASHI MUSEUM OF ART

石橋財団 ブリヂストン美術館
石橋財団 石橋美術館

1	設立趣旨, 機構・運営	4
	Brief Histories of the Museums, Organization and Management	
2	展覧会	
	●ブリヂストン美術館	
	・特別展	6
	・特集展示	6
	・コーナー展示	14
	●石橋美術館	
	・特集展示	30
	・コーナー展示	34
3	教育普及	
	●ブリヂストン美術館	35
	●石橋美術館	41
4	入場者数	43
5	新収蔵作品 New Acquisitions	44
6	新収図書	66
7	修復記録	67
8	作品貸出記録	
	●ブリヂストン美術館	82
	●石橋美術館	84
9	刊行物一覧	86
10	改修工事	
	●石橋美術館	91
	●ブリヂストン美術館	94
11	美術館案内 Guide to the Museums	96
12	石橋財団職員	97

設立趣旨

ブリヂストン美術館

ブリヂストン美術館は、株式会社ブリヂストンの創業者・石橋正二郎(1889－1976)が多年にわたって蒐集愛蔵した内外の美術品を、社会公共のため、広く一般の鑑賞に供し、文化向上の一端に貢献したいとの趣旨に基づき、1952(昭和27)年1月8日、ブリヂストンビルディング竣工とともに同ビル内に開設されたものである。その後1956(昭和31)年4月に設立された財団法人石橋財団がその経営を継承し、1961(昭和36)年9月には同財団が石橋正二郎から所蔵美術品の寄贈を受けた。なお、1959(昭和34)年5月には面積が二倍に拡張された。1999(平成11)年12月には、面積をさらに拡張するとともに内装を一新した。

石橋美術館

石橋美術館は、石橋正二郎が1956(昭和31)年4月26日、株式会社ブリヂストンの創立25周年を記念して、社会公共の福祉と文化向上のために、郷土久留米市に寄贈した石橋文化センターの中心施設である。1977(昭和52)年、石橋正二郎の遺族の寄付により増改築が行われ、同年4月以降、久留米市の要請により、石橋財団がその管理運営に当たっている。2002(平成14)年3月、内装を一新した。

石橋美術館別館

石橋美術館別館は、1995(平成7)年1月8日、石橋正二郎によって蒐集された石橋コレクションのうち書画・陶磁器類を収蔵展示する施設として石橋幹一郎により久留米市に建設寄贈され、一年余の養生期間を経て1996(平成8)年10月17日に開館した。なお建設寄贈と同時に石橋美術館と同様、石橋財団が管理運営に当たっている。

機構・運営

石橋財団 (2002年3月31日現在)

理事長・評議員	内田 宏						
理事・評議員	中川 洋	石橋 寛	鵜澤昌和	加嶋昭男	城多秀年	富山秀男	喜多村禎勇
監事	亀徳正之	唐澤高美	湯浅達祐				
評議員	石井公一郎	高碓芳郎	橋口 收	高階秀爾	三木常正	石樽和夫	平野 実
	大原 譲	村上 浩	遠藤長夫				

美術館運営委員会

委員長	石橋 寛						
委員	嘉門安雄	高階秀爾	内田 宏	小林 忠	島田紀夫	富山秀男	喜多村禎勇

寄付助成委員会

委員長	鵜澤昌和						
委員	内田 宏	吉久勝美	加嶋昭男	富山秀男	喜多村禎勇		

財団委員会

委員長	内田 宏						
委員	石橋 寛	鵜澤昌和	亀徳正之	唐澤高美	湯浅達祐	城多秀年	富山秀男
	喜多村禎勇						

常務理事	城多秀年	富山秀男					
美術品担当課長	石井 亨						

事務局

事務局長	遠藤長夫						
------	------	--	--	--	--	--	--

ブリヂストン美術館

館長	富山秀男	事務部長	黒田昌弘	学芸課長	宮崎克己		
----	------	------	------	------	------	--	--

石橋美術館／石橋美術館別館

館長	喜多村禎勇	事務部長	郷原耕亮	学芸課長	田内正宏		
----	-------	------	------	------	------	--	--

Brief Histories of the Museums

Bridgestone Museum of Art

On January 8, 1952, ISHIBASHI Shojiro (1889–1976), the founder of the Bridgestone Corporation, wishing to promote cultural development in Japan, opened to the public a museum of art within the newly-completed Bridgestone Building under the name of the "Bridgestone Gallery". The works of art, both Japanese and foreign, which he had collected over the years formed the nucleus of the exhibits. In April 1956, the Ishibashi Foundation was established to take over the management of the Gallery, and in September 1961, ISHIBASHI donated the works in the Gallery to the Foundation. In May 1959, the Gallery was enlarged to twice its original size. In January 1968, the English name was changed from the "Bridgestone Gallery" to the "Bridgestone Museum of Art". In December 1999, the Gallery was more enlarged and totally renovated.

Ishibashi Museum of Art

On April 26, 1956, in commemoration of the 25th anniversary of the Bridgestone Corporation, ISHIBASHI Shojiro donated the Ishibashi Cultural Center to his home town of Kurume to render a public service and promote cultural development. The Ishibashi Museum of Art (originally the Ishibashi Art Gallery) is the principal institution in the Center. In 1971, the English name was changed from the "Ishibashi Art Gallery" to the "Ishibashi Museum of Art". In 1977, the Museum building was enlarged and renovated, thanks to a contribution from the Ishibashi family, and in April of the same year the city of Kurume entrusted the Ishibashi Foudation with the management of the Museum. In March 2002, the Gallery was totally renovated.

Ishibashi Museum of Art, Asian Gallery

On January 8, 1995, ISHIBASHI Kan'ichiro, son of ISHIBASHI Shojiro donated to the city of Kurume a new museum especially designated to exhibit Shojiro's collection of Asian Arts, such as brush painting, calligraphy, porcelain works. The museum has been open to the public since October 17, 1996, after careful observation and research for over a year. Since the time of its donation to Kurume, the museum is being managed by the Ishibashi Foundation, along with the Ishibashi Museum of Art.

Organization and Management

Ishibashi Foundation

(As of March 31, 2002)

President of the Board of Directors and Council Members		UCHIDA Hiroshi		
Directors and Council Members				
	NAKAGAWA Yoh	ISHIBASHI Hiroshi	UZAWA Masakazu	KASHIMA Akio
	KITA Hidetoshi	TOMIYAMA Hideo	KITAMURA Sadao	
Auditors	KITOKU Masayuki	KARASAWA Takami	YUASA Tatsusuke	
Council Members	ISHII Koichiro	TAKASAKI Yoshiro	HASHIGUCHI Osamu	TAKASHINA Shuji
	MIKI Tsunemasa	ISHIKURE Kazuo	HIRANO Minoru	OHARA Yuzuru
	MURAKAMI Hiroshi	ENDO Takeo		
Executive Committee of the Museums				
Chairman	ISHIBASHI Hiroshi			
	KAMON Yasuo	TAKASHINA Shuji	UCHIDA Hiroshi	KOBAYASHI Tadashi
	SHIMADA Norio	TOMIYAMA Hideo	KITAMURA Sadao	
Program Development Grant Committee				
Chairman	UZAWA Masakazu			
	UCHIDA Hiroshi	YOSHIHISA Katsumi	KASHIMA Akio	TOMIYAMA Hideo
	KITAMURA Sadao			
Strategic Planning Committee				
Chairman	UCHIDA Hiroshi			
	ISHIBASHI Hiroshi	UZAWA Masakazu	KITOKU Masayuki	KARASAWA Takami
	YUASA Tatsusuke	KITA Hidetoshi	TOMIYAMA Hideo	KITAMURA Sadao
Managing Director	KITA Hidetoshi			
Art Director	TOMIYAMA Hideo			
Chief Conservator	ISHII Toru			
Administration				
Executive Secretary	ENDO Takeo			
Bridgestone Museum of Art				
Director	TOMIYAMA Hideo			
Administrator	KURODA Masahiro	Chief Curator	MIYAZAKI Katsumi	
Ishibashi Museum of Art / Ishibashi Museum of Art, Asian Gallery				
Director	KITAMURA Sadao			
Administrator	GOHARA Kosuke	Cief Curator	TAUCHI Masahiro	

〈特別展〉

ルノワール：異端児から巨匠への道 1870-1892

2001年2月10日(土) - 4月15日(日)

会場：第4室 - 第10室

主催：石橋財団ブリヂストン美術館 / NHK / NHKプロモーション / 東京新聞

出品内容：油彩51点, パステル・素描12点 計63点

入場者総数：331,337人(1日平均 5,713人)

担当＝宮崎克己, 福満葉子

＊館報49号(2000年度) p.6-8 参照。

〈特集展示〉

古賀春江 創作の原点—作品と資料でさぐる

2001年4月28日(土) - 7月1日(日)

会場：第1室, 第2室

主催：石橋財団ブリヂストン美術館 / 石橋財団石橋美術館

出品内容：油彩・水彩25点, スケッチ21点, スケッチブック17点,
ノート6点, 松田諦晶資料(書簡, スケッチブックなど)7点,
参考資料 5点 計81点

入場者総数：15,880人(1日平均 284人)

担当＝貝塚 健



71. 《素朴な月夜》

出品目録：

第1章 若き日の古賀春江

1. 《自画像》 / 1915-16年頃 / 水彩・紙 / 34.0×25.0cm / 石橋美術館
2. 《自画像》 / 1916年 / 水彩・紙(葉書) / 14.3×9.0cm / 石橋美術館
3. スケッチブック2 / 1912年 / 10.9×18.4cm / 石橋美術館
4. スケッチブック7 / 1913年 / 11.2×18.7cm / 石橋美術館
5. スケッチブック9 / 1914年 / 10.8×18.2cm / 石橋美術館
6. スケッチブック10 / 1915年 / 11.2×18.4cm / 石橋美術館
7. スケッチブック11 / 1915年 / 10.8×18.6cm / 石橋美術館
8. スケッチブック15 / 1918年頃 / 10.2×17.8cm / 石橋美術館

第2章 松田諦晶との交流

9. 《二階より》 / 1922年 / 油彩・カンヴァス / 61.0×73.5cm / 個人蔵
10. 《海女》 / 1923年 / 油彩・カンヴァス / 116.0×91.0cm / 石橋美術館
11. スケッチブック8 / 1914年 / 13.8×18.3cm / 石橋美術館
12. スケッチブック17 / 1922年 / 13.9×20.7cm / 石橋美術館
13. 松田諦晶にあてた葉書 / 1922年9月19日消印 / 石橋美術館

-
14. 松田諦晶のスケッチブック / 1914年 / 14.6×19.0cm / 石橋美術館
 15. 松田諦晶のスケッチブック / 1922年 / 13.9×18.8cm / 石橋美術館

第3章 宗教的テーマから群像表現へ

16. 《観音》 / 1921年 / 油彩・カンヴァス / 91.0×72.5cm / 東京国立近代美術館
17. 《埋葬》 / 1922年 / 水彩・紙 / 37.4×49.8cm / 福岡県立美術館
18. 《海水浴の女》 / 1923年 / 油彩・カンヴァス / 89.7×115.1cm / 石橋美術館
19. 《曲景につく》 / 1923年 / 油彩・カンヴァス / 89.0×115.0cm / 個人蔵
20. 《生誕》 / 1924年 / 油彩・カンヴァス / 91.4×116.9cm / 福岡市美術館
21. 《誕生》 / 1924年 / 油彩・カンヴァス / 91.0×116.8cm / 石橋美術館
22. スケッチブック16 / 1921年頃 / 14.6×22.0cm / 石橋美術館
23. ノート2 / 1923年頃 / 20.2×14.5cm / 石橋美術館

第4章 同時代美術への関心

24. 《地藏尊》 / 1919年 / 水彩・紙 / 51.0×34.5cm / 石橋美術館
 25. 《無題》 / 1921年頃 / 油彩・カンヴァス / 72.5×72.5cm / 石橋美術館
 26. 《静物》 / 1925年頃 / 水彩・紙 / 38.7×51.0cm / 石橋美術館
 27. 《月花》 / 1926年 / 油彩・カンヴァス / 91.0×117.0cm / 東京国立近代美術館
 28. 《遊園地》 / 1926年 / 水彩・紙 / 47.1×61.0cm / プリヂストン美術館
 29. 《クレール〈カイルーアン〉の模写》 / 1925年頃 / 水彩・紙 / 23.6×31.5cm / 東京国立近代美術館
 30. 《ピカソ〈赤い布の上のギター〉の模写》 / 1925年頃 / 水彩・紙 / 14.7×20.7cm / 石橋美術館
 31. スケッチブック6 / 1913年 / 10.9×18.0cm / 石橋美術館
 32. スケッチブック19 / 1922年頃 / 11.4×18.2cm / 石橋美術館
 33. スケッチブックⅡ / 1925-26年頃 / 25.4×29.2cm / 東京国立近代美術館
 34. スケッチブック22 / 1925年頃 / 18.2×27.3cm / 石橋美術館
 35. ノート10 / 20.1×15.2cm / 石橋美術館
 36. ノート9 / 1922年頃 / 21.0×16.0cm / 石橋美術館
 37. 松田諦晶にあてた手紙 / 1919年6月18日付 / 石橋美術館
 38. 松田諦晶にあてた葉書 / 1925年3月27日消印 / 石橋美術館
 39. 松田諦晶にあてた手紙 / 1926年4月14日付 / 石橋美術館
- 参考1 『夢二画集 旅の巻』 / 1910年洛陽堂刊 / 石橋美術館

第5章 大衆の時代

40. 《単純な哀話》 / 1930年 / 油彩・カンヴァス / 116.7×91.4cm / 石橋美術館
 41. 《感傷の静脈》 / 1931年 / 油彩・カンヴァス / 116.9×91.4cm / プリヂストン美術館
 42. 《谷譲次『もだん・でかめろん』表紙のためのデザイン》 / 1929年 / 水彩・紙 / 24.2×33.3cm / 石橋美術館
 43. 《谷譲次『もだん・でかめろん』表紙のためのデザイン》 / 1929年 / 水彩・紙 / 24.1×33.2cm / 石橋美術館
 44. 《中河与一「幸福な話」挿絵のためのスケッチ》 / 1930年 / 鉛筆、墨・紙 / 17.9×17.3cm / 石橋美術館
 45. 《片岡鉄兵『女性讃』表紙のためのデザイン》 / 1930年 / 水彩・紙 / 28.0×26.5cm / 石橋美術館
 46. 《菊池寛『有憂華』表紙のためのデザイン》 / 1931年 / 鉛筆・紙 / 29.0×22.0cm / 石橋美術館
 47. 《〈冬〉(『コドモノクニ』挿絵)のためのスケッチ》 / 1931年 / 鉛筆・紙 / 24.3×33.0cm / 石橋美術館
 48. 《コーヒーカップのデザイン》 / 1931年頃 / 鉛筆・紙 / 24.3×33.0cm / 石橋美術館
 49. スケッチブック26 / 1931年頃 / 14.7×22.1cm / 石橋美術館
- 参考2 片岡鉄兵『女性讃』 / 1930年5月新潮社刊 / 財団法人日本近代文学館
- 参考3 菊池寛『有憂華』 / 1931年4月新潮社刊 / 財団法人日本近代文学館

第6章 科学の時代

50. 《鳥籠》 / 1929年 / 油彩・カンヴァス / 111.2×145.0cm / 石橋美術館
51. 《窓外の化粧》 / 1930年 / 油彩・カンヴァス / 145.0×111.0cm / 神奈川県立近代美術館

-
52. 《厳しき伝統》 / 1931年 / 油彩・カンヴァス / 111.2×144.0cm / 石橋美術館
53. 《レジェ〈コンパス(蛇のあるコンポジション)〉の模写》 / 墨・紙 / 15.5×23.5cm / 東京国立近代美術館
54. 《龍胆寺雄『放浪時代』表紙のためのデザイン》 / 1930年 / 水彩・紙 / 24.5×18.0cm / 石橋美術館
55. 《〈ロボットも微笑む〉(『東京パック』裏表紙)のためのスケッチ》 / 1931年 / 鉛筆・紙 / 33.5×24.4cm / 石橋美術館
56. スケッチブックV / 1930-31年頃 / 21.4×14.6cm / 東京国立近代美術館
参考4 板垣鷹穂『機械と芸術の交流』 / 1929年12月岩波書店刊 / 石橋美術館

第7章 精神病者の絵画への関心

57. 《涯しなき逃避》 / 1930年 / 油彩・カンヴァス / 116.6×91.2cm / プリヂストン美術館
58. 『小酒井不木全集』予約募集広告のためのデザイン / 1929年頃 / 鉛筆、水彩・紙 / 23.0×15.3cm / 石橋美術館
59. 《〈美貌なる虚無〉のためのスケッチ》 / 1930年 / 鉛筆・紙 / 24.0×33.3cm / 石橋美術館
60. 《プリントホルン『精神病者の絵画』挿図模写1》 / 1929-30年頃 / 鉛筆・紙 / 24.3×33.6cm / 石橋美術館
61. 《プリントホルン『精神病者の絵画』挿図模写2》 / 1929-30年頃 / 鉛筆・紙 / 24.3×33.6cm / 石橋美術館

第8章 既製のイメージからの創作

62. 《サーカスの景》 / 1933年 / 油彩・カンヴァス / 130.0×162.0cm / 神奈川県立近代美術館
63. 《〈現実線を切る主智的表情〉のためのスケッチ》 / 1931年 / 鉛筆・紙 / 25.0×34.2cm / 石橋美術館
64. 《〈音のない昼の夢〉のためのスケッチ2》 / 1932年 / 鉛筆・紙 / 33.0×24.0cm / 石橋美術館
65. 《〈深海の情景〉のためのスケッチ》 / 1933年 / 鉛筆・紙 / 24.0×33.0cm / 石橋美術館
66. スケッチブック27 / 1933年 / 14.5×22.2cm / 石橋美術館
67. ノート7 / 1933年 / 20.0×16.1cm / 石橋美術館
68. ハーゲンバック・サーカスの絵はがき / 石橋美術館

第9章 詩と絵画

69. 《美しき博覧会》 / 1926年 / 水彩・紙 / 38.4×56.5cm / 石橋美術館
70. 《窓》 / 1927年 / 油彩・カンヴァス / 90.5×72.7cm / 福岡県立美術館
71. 《素朴な月夜》 / 1929年 / 油彩・カンヴァス / 116.5×91.0cm / 石橋美術館
72. 《〈花野原〉のためのスケッチ》 / 1932年 / 鉛筆・紙 / 24.0×33.0cm / 石橋美術館
73. 《〈そこに在る〉のためのスケッチ》 / 1933年 / 鉛筆・紙 / 24.0×33.0cm / 石橋美術館
74. スケッチブックIV / 1927-32年頃 / 28.6×37.4cm / 東京国立近代美術館
75. ノート5 / 1923-30年 / 21.2×16.6cm / 石橋美術館
76. ノート6 / 1930-32年 / 20.0×15.9cm / 石橋美術館
参考5 『古賀春江画集』 / 1931年第一書房刊 / 石橋美術館

関連事業：

土曜講座「古賀春江を解剖する」→ p.35
日曜レクチャー → p.36-37

広報記録：

新聞・雑誌：

竹田博志「純真さ醸し出す知的な画風 古賀春江展」『日本経済新聞』2001年5月25日
「時代とともに変革し続けた作家の理知と叙情—古賀春江展 創作の原点」『月刊美術』2001年6月号

テレビ：

「新日曜美術館」日本放送協会、2001年7月1日放送

ブリヂストン美術館開館50周年記念

コレクター石橋正二郎―青木繁、坂本繁二郎から西洋美術へ

2002年1月8日(火)～3月21日(木)

会場：第1室、第2室

*第3室から第10室および彫刻ギャラリー、エントランスは常設展示だが、数カ所にこの特集展示の内容に沿った解説パネル、作品解説キャプションを付し、また全展示作品のキャプションに、石橋正二郎あるいは石橋財団による入手年を表示した。以下には常設展示の出品リストもあわせて掲載する。

主催：石橋財団ブリヂストン美術館 / 石橋財団石橋美術館

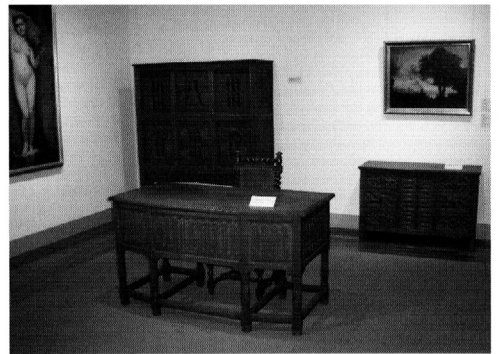
出品内容：油彩27点、水彩1点、日本画2点、彫刻2点、工芸1点、

家具1点 計34点

※常設展示：古代美術29点(うちギリシア陶器13点)、西洋近代絵画62点(すべて油彩)、日本近代洋画32点(すべて油彩)、西洋近代彫刻21点 計144点

入場者総数：26,765人(1日平均 425人)

担当＝宮崎克己



14. 石橋正二郎愛用の林二郎による家具(第2展示室)

出品目録：

I. コレクションの開始(第1室)

1. 吉田博《上高地》/ 1927年頃 / 油彩・カンヴァス / 45.3×60.3cm / 石橋美術館
2. 児島善三郎《トレド風景》/ 1928年頃 / 油彩・カンヴァス / 50.2×100.0cm / 石橋美術館
3. 和田英作《チューリップ》/ 1927年 / 油彩・カンヴァス / 80.3×65.0cm / 石橋美術館
4. 竹内栖鳳《鯉図》/ 絹本着色・掛幅装 / 37.0×40.3cm / 石橋美術館別館
5. 横山大観《神州第一峰》/ 1930年 / 絹本着色・掛幅装 / 67.8×114.8cm / 石橋美術館別館
6. 青木繁《農家》/ 1904年 / 油彩・板 / 23.3×33.0cm / 石橋美術館
7. 青木繁《雪景》/ 1906年 / 油彩・板 / 23.0×32.8cm / 石橋美術館
8. 坂本繁二郎《肉弾三勇士》/ 1935年 / 油彩・カンヴァス / 53.0×80.0cm / 石橋美術館
9. 坂本繁二郎《あらしの海》/ 1917年 / 油彩・板 / 23.2×33.0cm / 石橋美術館
10. 豊田勝秋《石橋正二郎像》/ 1968年 / ブロンズ / H.50.7cm / 石橋美術館

II. 東京の生活(第2室)

11. 岡田三郎助《水浴の前》/ 1916年 / 油彩・カンヴァス / 197.0×76.2cm / 石橋美術館
12. ボール・シニャック《ラ・ロシュル》/ 水彩、鉛筆・紙 / 20.8×27.0cm / ブリヂストン美術館
13. ピカソ《女の顔》/ 1923年 / 油彩、砂・カンヴァス / 46.1×38.1cm / ブリヂストン美術館
14. 林二郎 / 書斎家具(ジャコビアンスタイルの机、チューダースタイルの椅子、ジャコビアンスタイルのカップボード、ゴシック装飾彫刻のサイドボード) / 木 / 個人蔵
15. 富本憲吉《色絵四弁花文飾箱》/ 磁器 / 15.5×9.8×7.8cm / 個人蔵
16. 高田力蔵《アングル〈泉〉の模写》/ 1938年 / 油彩・カンヴァス / 144.8×74.1cm / 石橋美術館
17. 和田英作《コロー〈カステル・ガンドルフォの思い出〉の模写》/ 1903年 / 油彩・カンヴァス / 59.2×72.2cm / 石橋美術館
18. 朝倉文夫《石橋正二郎氏胸像》/ 1955-56年 / ブロンズ / H.67.0cm / ブリヂストン美術館
19. 宮本三郎《石橋正二郎氏像》/ 1969-70年 / 油彩・カンヴァス / 72.6×60.6cm / ブリヂストン美術館
20. 北蓮蔵《石橋正二郎とその家族》/ 1938-39年頃 / 油彩・カンヴァス / 72.7×99.9cm / 個人蔵

III. 青木繁と坂本繁二郎(第2室)

21. 坂本繁二郎《魚を持ってきた海女》/ 1913年 / 油彩・カンヴァス / 117.0×80.6cm / 石橋美術館
22. 坂本繁二郎《静物》/ 1918年 / 油彩・カンヴァス / 45.0×60.5cm / 石橋美術館

-
23. 坂本繁二郎《少女》/ 1922年 / 油彩・カンヴァス / 40.8×32.8cm / 石橋美術館
 24. 坂本繁二郎《帽子を持てる女》/ 1923年 / 油彩・カンヴァス / 80.7×65.0cm / 石橋美術館
 25. 坂本繁二郎《パリ郊外》/ 1923年 / 油彩・カンヴァス / 53.0×65.0cm / 石橋美術館
 26. 坂本繁二郎《自画鏡像》/ 1929年 / 油彩・紙 / 45.5×37.5cm / 石橋美術館
 27. 坂本繁二郎《放牧三馬》/ 1932年 / 油彩・カンヴァス / 79.6×99.0cm / 石橋美術館
 28. 青木繁《輪転》/ 1903年 / 油彩・カンヴァス / 26.8×37.8cm / 石橋美術館
 29. 青木繁《自画像》/ 1903年 / 油彩・カンヴァス / 80.5×60.5cm / 石橋美術館
 30. 青木繁《海の幸》/ 1904年 / 油彩・カンヴァス / 70.2×182.0cm / 石橋美術館
 31. 青木繁《海景(布良の海)》/ 1904年 / 油彩・カンヴァス / 36.6×73.0cm / プリヂストン美術館
 32. 青木繁《天平時代》/ 1904年 / 油彩・カンヴァス / 45.3×75.5cm / プリヂストン美術館
 33. 青木繁《大穴牟知命》/ 1905年 / 油彩・カンヴァス / 75.5×127.4cm / 石橋美術館
 34. 青木繁《わだつみのいろこの宮》/ 1907年 / 油彩・カンヴァス / 180.0×68.3cm / 石橋美術館

* 以下、所蔵の標記のない作品は、すべてプリヂストン美術館蔵。

Ⅳ. 古代美術(第3室)

35. 《女の胸像》/ シュメール / 前24世紀 / 閃緑岩 / H.55.0cm
36. レリーフ断片「柰榴と葡萄」/ エジプト / 前1360年頃 / 石灰石に彩色 / 22.5×36.0cm
37. 《セクメト神像》/ エジプト / 前14世紀 / 黒花崗岩 / H.177.0cm
38. レリーフ断片「アヌビス神礼拝図」/ エジプト / 前13世紀 / 砂岩 / 66.0×58.0cm
39. レリーフ断片「神牛」/ エジプト / 前12世紀 / 石 / 29.0×30.2cm
40. 《ホルス神浮彫》/ エジプト / 前1000-前350年 / 石 / 26.0×28.0cm
41. 《聖猫》/ エジプト / 前950-前660年 / ブロンズ / H.48.2cm
42. 建築装飾フリーズ部分「泉水に向う二頭の馬」/ エトルリア / 前550-前540年 / テラコッタに彩色 / 48.5×50.7cm
43. 《獅子頭部》/ ギリシア / 前5世紀 / 大理石 / H.42.0cm
44. 《哲人の顔》/ ギリシア / 前4世紀 / 大理石 / H.29.4cm
45. コリントス式アリュバロス「鷲と鶏」/ 前610-前590年 / H.10.8cm
46. アッティカ黒像式アンフォラ「ヘラクレスとケルベロス」/ 前520-510年 / H.35.2cm
47. アッティカ黒像式オイノコエ「ディオニュソスとマイナス」/ 前500年頃 / H.23.0cm
48. アッティカ黒像式レキュトス「ディオニュソスとアリアドネ」/ 前490-前480年 / H.19.2cm
49. アッティカ黒像式レキュトス「ディオニュソス、サテュロスとマイナス」/ 前490-前480年 / H.19.2cm
50. アッティカ黒像式レキュトス「ディオニュソスとマイナス」/ 前490-前480年 / H.18.8cm
51. アッティカ白地レキュトス「墓参図」/ 前425-前400年頃 / H.29.7cm
52. アッティカ赤像式ペリケ「男女」/ 前500-前475年頃 / H.32.2cm
53. アッティカ赤像式キュリクス「サテュロス」/ 前5世紀中頃 / H.7.3cm
54. アッティカ赤像式レベス・ガミコス「ニケと女性」/ 前400-前375年頃 / H.16.5cm
55. カンパニア赤像式魚文皿 / 前375-前350年頃 / H.6.0cm
56. カンパニア赤像式ヒュドリア「エロス」/ 前350-325年頃 / H.23.5cm
57. カンパニア赤像式ヒュドリア「ディオスクーロイ」/ 前350年頃 / H.32.5cm
58. 《ヴィーナス》/ ギリシア / ヘレニズム期(前3-前1世紀) / 大理石 / H.139.0cm
59. モザイク断片「牧神頭部」/ ローマ / 1世紀 / 47.0×43.5cm
60. 壁画断片「ディオニュソス」/ ヘルクラネウム / 1世紀 / フレスコ / 20.5×54.5cm
61. 《アテナ頭部》/ グレコ=ローマン / 大理石 / H.37.0cm
62. 《ヴィーナスの首》/ ローマ / 大理石 / H.29.0cm
63. 《人物像》/ パルミユラ / 1-2世紀 / 石灰石 / H.55.3cm

Ⅴ. 西洋近代絵画(第4室から第8室。彫刻4点を含む)

64. カミーユ・コロー《ヴィル・ダヴレー》/ 1835-40年 / 油彩・カンヴァス / 51.1×46.6cm
65. カミーユ・コロー《オンフルールのトゥータン農場》/ 1845年頃 / 油彩・カンヴァス / 44.4×63.8cm
66. オノレ・ドーミエ《山中のドン・キホーテ》/ 1850年頃 / 油彩・カンヴァス / 39.6×31.2cm

-
67. シャルル=フランソワ・ドービニー 《レ・サーブル=ドロンス》 / 油彩・板 / 39.1×67.1cm
68. ギュスターヴ・クールベ 《雪の中を駆ける鹿》 / 1856-57年頃 / 油彩・カンヴァス / 93.5×148.8cm
69. ウジェーヌ・ブーダン 《トルーヴィル近郊の浜》 / 1865年頃 / 油彩・板 / 35.7×57.7cm
70. カミーユ・ピサロ 《ブーヅヴァルのセーヌ河》 / 1870年 / 油彩・カンヴァス / 51.4×82.2cm
71. カミーユ・ピサロ 《菜園》 / 1878年 / 油彩・カンヴァス / 55.2×45.9cm
72. エドゥワール・マネ 《オペラ座の仮装舞踏会》 / 1873年 / 油彩・カンヴァス / 46.6×38.2cm
73. エドゥワール・マネ 《自画像》 / 1878-79年 / 油彩・カンヴァス / 95.4×63.4cm
74. エドガー・ドガ 《レオポール・ルヴェールの肖像》 / 1874年頃 / 油彩・カンヴァス / 65.0×54.0cm
75. エドガー・ドガ 《右足で立ち、右手を地面にのぼしたアラベスク》 / 1882-95年頃 / ブロンズ / H.27.5cm
76. ボール・セザンヌ 《帽子をかぶった自画像》 / 1890-94年頃 / 油彩・カンヴァス / 61.2×50.1cm
77. ボール・セザンヌ 《サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール》 / 1904-06年頃 / 油彩・カンヴァス / 66.2×82.1cm
78. アルフレッド・シスレー 《森へ行く女たち》 / 1866年 / 油彩・カンヴァス / 65.2×92.2cm
79. アルフレッド・シスレー 《サン=メメス 六月の朝》 / 1884年 / 油彩・カンヴァス / 54.6×73.4cm
80. クロード・モネ 《アルジャントウイユの洪水》 / 1872-73年 / 油彩・カンヴァス / 54.4×73.3cm
81. クロード・モネ 《雨のベリール》 / 1886年 / 油彩・カンヴァス / 60.5×73.7cm
82. クロード・モネ 《睡蓮》 / 1903年 / 油彩・カンヴァス / 81.5×100.5cm
83. クロード・モネ 《睡蓮の池》 / 1907年 / 油彩・カンヴァス / 100.6×73.5cm
84. クロード・モネ 《黄昏、ヴェネツィア》 / 1908年頃 / 油彩・カンヴァス / 73.0×92.5cm
85. ピエール=オーギュスト・ルノワール 《すわるジョルジェット・シャルパンティエ嬢》 / 1876年 / 油彩・カンヴァス / 97.8×70.8cm
86. ピエール=オーギュスト・ルノワール 《カーニユのテラス》 / 1905年 / 油彩・カンヴァス / 46.3×55.0cm
87. ピエール=オーギュスト・ルノワール 《すわる水浴の女》 / 1914年 / 油彩・カンヴァス / 55.0×44.2cm
88. ボール・ゴッガン 《馬の頭部のある静物》 / 1886年 / 油彩・カンヴァス / 49.0×38.5cm
89. ボール・ゴッガン 《ボン=タヴェン付近の風景》 / 1888年 / 油彩・カンヴァス / 72.9×92.2cm
90. ボール・ゴッガン 《乾草》 / 1889年 / 油彩・カンヴァス / 55.4×46.2cm
91. フィンセント・ファン・ゴッホ 《モンマルトルの風車》 / 1886年 / 油彩・カンヴァス / 48.2×39.5cm
92. オディロン・ルドン 《神秘の語り》 / 油彩・カンヴァス / 52.1×31.5cm
93. オーギュスト・ロダン 《カミーユ・クロデル》 / 1889年 / ブロンズ / H.24.5cm
94. アンリ・ルソー 《イヴリー河岸》 / 1907年頃 / 油彩・カンヴァス / 46.1×55.0cm
95. アンリ・ルソー 《牧場》 / 1910年 / 油彩・カンヴァス / 46.0×55.3cm
96. ボール・シニャック 《コンカルノー港》 / 1925年 / 油彩・カンヴァス / 73.4×53.9cm
97. ピエール・ボナール 《灯下》 / 1899年 / 油彩・紙 / 42.5×50.4cm
98. ピエール・ボナール 《桃》 / 1920年 / 油彩・カンヴァス / 36.0×38.1cm
99. ピエール・ボナール 《ヴェルノン付近の風景》 / 1929年 / 油彩・カンヴァス / 63.4×62.4cm
100. アンリ・マティス 《画室の裸婦》 / 1899年 / 油彩・紙 / 66.2×50.5cm
101. アンリ・マティス 《コリウール》 / 1905年 / 油彩・厚紙 / 24.5×32.4cm
102. アンリ・マティス 《縞ジャケット》 / 1914年 / 油彩・カンヴァス / 123.6×68.4cm
103. アンリ・マティス 《横たわる裸婦》 / 1919年 / 油彩・カンヴァスボード / 32.9×40.8cm
104. アンリ・マティス 《両腕をあげたオダリスク》 / 1921年 / 油彩・カンヴァス / 45.9×38.2cm
105. アンリ・マティス 《ルー川のほとり》 / 1925年 / 油彩・カンヴァス / 38.3×47.0cm
106. アンリ・マティス 《青い胴着の女》 / 1935年 / 油彩・カンヴァス / 46.0×33.0cm
107. モーリス・ドニ 《バッカス祭》 / 1920年 / 油彩・カンヴァス / 99.2×139.5cm
108. ジョルジュ・ルオー 《バレード》 / 1906年 / 油彩・カンヴァスで裏打ちされた紙 / 28.1×45.0cm / 個人蔵
109. ジョルジュ・ルオー 《郊外のキリスト》 / 1920年 / 油彩・紙 / 92.0×73.6cm
110. ジョルジュ・ルオー 《ピエロ》 / 1925年 / 油彩・紙 / 75.2×51.2cm
111. ピート・モンドリアン 《砂丘》 / 1909年 / 油彩、鉛筆・厚紙 / 29.6×39.1cm
112. モーリス・ド・ヴラマンク 《運河船》 / 1905-06年 / 油彩・カンヴァス / 60.2×73.0cm
113. ラウル・デュフィ 《静物》 / 1915-20年頃 / 油彩・カンヴァス / 38.1×45.9cm
-

-
114. パウル・クレー 《島》 / 1932年 / 油彩, 砂を混ぜた石膏・板 / 55.2×85.2cm
115. アンドレ・ドラン 《自画像》 / 1913年 / 油彩・カンヴァス / 37.2×25.3cm / 個人蔵
116. パブロ・ピカソ 《道化師》 / 1905年 / ブロンズ / H.40.6cm
117. パブロ・ピカソ 《ブルゴーニュのマル瓶, グラス, 新聞紙》 / 1913年 / 油彩, 砂, 新聞紙・カンヴァス / 46.0×38.0cm
118. パブロ・ピカソ 《生木と枯木のある風景》 / 1919年 / 油彩・カンヴァス / 49.4×65.4cm
119. パブロ・ピカソ 《女の顔》 / 1923年 / 油彩, 砂・カンヴァス / 46.1×38.1cm
120. パブロ・ピカソ 《腕を組んですわるサルタンバンク》 / 1923年 / 油彩・カンヴァス / 130.8×98.0cm
121. マリー・ローランサン 《二人の少女》 / 1923年 / 油彩・カンヴァス / 64.9×54.2cm
122. アメデオ・モディリアーニ 《若い農夫》 / 1918年 / 油彩・カンヴァス / 73.4×50.3cm
123. ジョルジョ・デ・キリコ 《吟遊詩人》 / 油彩・カンヴァス / 62.4×49.8cm
124. カイム・スーティン 《大きな樹のある南仏風景》 / 1924年 / 油彩・紙 / 49.8×60.6cm
125. ゲオルゲ・グロス 《プロムナード》 / 1926年 / 油彩・カンヴァス / 100.3×125.7cm
126. ジャン・フォートリエ 《人質の頭部》 / 1945年 / 油彩・カンヴァスに貼った紙 / 34.2×26.4cm
127. ジャン・フォートリエ 《旋回する線》 / 1963年 / 油彩・カンヴァスに貼った紙 / 59.9×73.1cm
128. アルベルト・ジャコメッティ 《ディエゴの胸像》 / 1954-55年 / ブロンズ / H.55.0cm
129. ジャン・デュビュッフェ 《スカーフを巻くエディット・ボワソナス》 / 1947年 / 油彩・紙 / 48.6×32.3cm

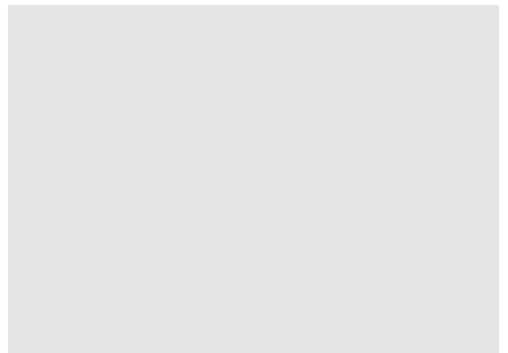
VI. 日本近代洋画(第9室, 第10室)

130. 浅井忠 《グレーの洗濯場》 / 1901年 / 油彩・カンヴァス / 33.3×45.5cm
131. 浅井忠 《縫物》 / 1902年 / 油彩・カンヴァス / 60.7×45.5cm
132. 黒田清輝 《ブレハの少女》 / 1891年 / 油彩・カンヴァス / 80.6×54.0cm
133. 黒田清輝 《柚》 / 油彩・カンヴァス / 80.4×60.5cm
134. 藤島武二 《ルツェルン》 / 1908年 / 油彩・板 / 23.5×32.8cm
135. 藤島武二 《黒扇》 / 1908-09年 / 油彩・カンヴァス / 63.7×42.4cm
136. 藤島武二 《糸杉(ヴィラ・ファルコニエリ)》 / 1908-09年 / 油彩・カンヴァス / 39.5×36.6cm
137. 藤島武二 《ローマの寺院》 / 1908-09年 / 油彩・板 / 33.1×26.6cm
138. 藤島武二 《ローマの遺跡》 / 1908-09年 / 油彩・板 / 35.1×26.2cm
139. 藤島武二 《淡路島遠望》 / 1929年 / 油彩・カンヴァス / 53.0×72.9cm
140. 岡田三郎助 《臥裸婦》 / 1901年 / 油彩・カンヴァス / 45.2×91.9cm
141. 岡田三郎助 《婦人像》 / 1907年 / 油彩・カンヴァス / 73.3×61.4cm
142. 山下新太郎 《供物》 / 1915年 / 油彩・カンヴァス / 55.2×46.1cm
143. 中村彝 《自画像》 / 1909年 / 油彩・カンヴァス / 80.6×61.0cm
144. 関根正二 《子供》 / 1919年 / 油彩・カンヴァス / 60.9×45.7cm
145. 梅原龍三郎 《林檎園》 / 1909年 / 油彩・カンヴァス / 29.4×36.2cm
146. 梅原龍三郎 《脱衣婦》 / 1912年 / 油彩・カンヴァス / 60.0×38.6cm
147. 岸田劉生 《街道(銀座風景)》 / 1911年頃 / 油彩・カンヴァス / 33.5×45.9cm
148. 岸田劉生 《裸婦》 / 1913年 / 油彩・カンヴァス / 60.7×45.4cm
149. 岸田劉生 《南瓜を持てる女》 / 1914年 / 油彩・カンヴァス / 80.0×60.2cm
150. 小出檣重 《帽子をかぶった自画像》 / 1924年 / 油彩・カンヴァス / 126.0×91.3cm
151. 小出檣重 《横たわる裸身》 / 1930年 / 油彩・カンヴァス / 49.8×72.9cm
152. 安井曾太郎 《薔薇》 / 1932年 / 油彩・カンヴァス / 63.0×51.9cm
153. 安井曾太郎 《F夫人像》 / 1939年 / 油彩・カンヴァス / 88×66cm / 個人蔵
154. 国吉康雄 《夢》 / 1922年 / 油彩・カンヴァス / 51.5×76.7cm
155. 国吉康雄 《横たわる女》 / 1929年 / 油彩・カンヴァス / 41.3×76.4cm
156. 古賀春江 《涯しなき逃避》 / 1930年 / 油彩・カンヴァス / 116.6×91.2cm
157. 古賀春江 《感傷の静脈》 / 1931年 / 油彩・カンヴァス / 116.9×91.4cm
158. 藤田嗣治 《ドルドーニュの家》 / 1940年 / 油彩・カンヴァス / 45.5×53.3cm
159. 佐伯祐三 《テラスの広告》 / 1927年 / 油彩・カンヴァス / 54.2×65.4cm

160. 佐伯祐三《ガラージュ》/ 1927-28年 / 油彩・カンヴァス / 60.6×73.6cm
161. 岡鹿之助《雪の発電所》/ 1956年 / 油彩・カンヴァス / 72.8×90.9cm

Ⅶ. 西洋近代彫刻と定礎(彫刻ギャラリー, および1階エントランス)

162. オーギュスト・ロダン《立てるフォーネス》/ 1884年頃 / 大理石 / H.71.0cm
163. オーギュスト・ロダン《考える人》/ 原型1880年(1902年頃に縮小鑄造されたもの) / ブロンズ / H.37.7cm
164. オーギュスト・ロダン《青銅時代》/ 原型1876-77年(1904年に縮小鑄造されたもの) / ブロンズ / H.63.5cm
165. エミール=アントワヌ・ブールデル《風の中のペートーヴェン》/ 1904-08年 / ブロンズ / H.124.8cm
166. エミール=アントワヌ・ブールデル《ベネロープ》/ 1909年 / ブロンズ / H.118.8cm
167. エミール=アントワヌ・ブールデル《弓をひくヘラクレス》/ 1909年 / ブロンズ / H.78.5cm
168. コンスタンティン・ブランクーシ《接吻》/ 1907-10年 / 石膏 / H.28.0cm
169. アレキサンダー・アーキベンコ《ゴンドラの船頭》/ 1914年 / ブロンズ / H.83.0cm
170. オシップ・ザツキン《母子》/ 1919年 / 着色されたセメント / H.48.6cm
171. オシップ・ザツキン《三美神》/ 1950年 / ブロンズ / H.76.7cm
172. オシップ・ザツキン《ボモナ(トルソ)》/ 1951年 / 黒檀 / H.131.0cm
173. ヘンリー・ムア《横たわる人体》/ 1976年 / ブロンズ / 39.8×80.5cm
174. マリノ・マリーニ《騎手》/ 1952年 / ブロンズ / H.58.0cm
175. マリノ・マリーニ《騎手のための構想》/ 1955年 / ブロンズ / H.55.8cm
176. アリストイド・マイヨール《欲望》/ 1905-08年 / ブロンズ / 119.5×114.4cm
177. バーバラ・ハップワース《翼のある人物Ⅰ》/ 1957年 / 真鍮, 鉄線 / H.145.5cm
178. クリスチャン・ダニエル・ラウホ《勝利の女神》/ 大理石 / H.231.0cm
179. 清水多嘉示のブロンズ・レリーフをはめこんだ定礎 / 1956年 / プレート: 59.9×89.9cm; レリーフ: 直径32cm



20. 北蓮蔵《石橋正二郎とその家族》の前に立つ石橋寛氏(左)と正二郎のご遺族(1月15日のレセプションにて)

関連事業:

土曜講座「美術をめぐる50年」→ p.36
日曜レクチャー→ p.37

広報記録:

新聞・雑誌:

草薙奈津子「日欧近代洋画が充実“教科書美術館”」『東京新聞』2002年1月19日 夕刊
宝玉正彦「大コレクターの日—2 展覧会から—強い使命感と先見性」『日本経済新聞』2002年1月20日
油井一人「石橋正二郎ゆかりの2 美術館の記念展」『新美術新聞』2002年2月11日
高階秀爾「美の現在—石橋・大原コレクションのいま」『朝日新聞』2002年2月5日
「皇后さま美術展ご鑑賞」『産経新聞』2002年2月26日

〈コーナー展示〉

オムニバス in オムニバス

会場：彫刻ギャラリー I, II, 第1室－第10室

担当＝宮崎克己, 坂本恭子

関連事業：

日曜レクチャー → p.37

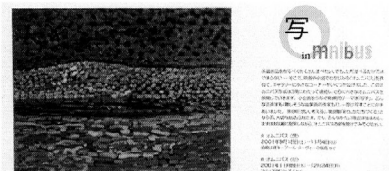
I. オムニバス 〈写〉

会期：2001年7月5日(木)－9月2日(日)

出品内容：油彩95点, パステル1点, 水彩など紙作品9点,

版画47点, 彫刻21点, 古代の作品29点 計202点

入場者総数：12,133人(1日平均 233人)



I. オムニバス 〈写〉 アドカード

出品目録：

[彫刻ギャラリー I]

1. アリストイッド・マイヨール 《欲望》 / 1905-08年 / ブロンズ / 119.5×114.4cm
2. コンスタンティン・ブランクーシ 《接吻》 / 1907-10年 / 石膏 / H.28.0cm
3. アレクサンダー・アーキベンコ 《ゴンドラの船頭》 / 1914年 / ブロンズ / H.83.0cm
4. オシップ・ザツキン 《母子》 / 1919年 / 着色されたセメント / H.48.6cm
5. オシップ・ザツキン 《三美神》 / 1950年 / ブロンズ / H.76.7cm
6. オシップ・ザツキン 《ポモナ(トルソ)》 / 1951年 / 黒檀 / H.131.0cm
7. マリノ・マリーニ 《騎手》 / 1952年 / ブロンズ / H.58.0cm
8. マリノ・マリーニ 《騎手のための構想》 / 1955年 / ブロンズ / H.55.8cm
9. ヘンリー・ムア 《横たわる人体》 / 1976年 / ブロンズ / H.39.8cm

[彫刻ギャラリー II]

1. オーギュスト・ロダン 《青銅時代》 / 原型1876-77年(1904年に縮小鑄造されたもの) / ブロンズ / H.63.5cm
2. オーギュスト・ロダン 《考える人》 / 原型1880年(1902年頃に縮小鑄造されたもの) / ブロンズ / H.37.7cm
3. オーギュスト・ロダン 《立てるフォーネス》 / 1884年頃 / 大理石 / H.71.0cm
4. エミール=アントワーン・ブールデル 《風の中のベートーヴェン》 / 1904-08年 / ブロンズ / H.124.8cm
5. エミール=アントワーン・ブールデル 《弓をひくヘラクレス》 / 1909年 / ブロンズ / H.78.5cm
6. エミール=アントワーン・ブールデル 《ベネロープ》 / 1909年 / ブロンズ / H.118.8cm

[第1室]

コーナー「写生旅行と芸術家コロニー」

構成＝宮崎克己

1. アルフレッド・シスレー 《森へ行く女たち》 / 1866年 / 油彩・カンヴァス / 65.2×92.2cm
2. 浅井忠 《グレーの洗濯場》 / 1901年 / 油彩・カンヴァス / 33.3×45.5cm
3. 浅井忠 《グレーの古橋》 / 1901年 / 水彩・紙 / 28.6×45.0cm
4. 浅井忠 《グレーの橋》 / 1902年 / 水彩・紙 / 28.4×43.5cm
5. ジャン=フランソワ・ミレー 《乳しほりの女》 / 1854-60年 / 油彩・カンヴァス / 59.0×72.4cm

-
6. カミーユ・コロー《オンフルールのトゥータン農場》/ 1845年頃 / 油彩・カンヴァス / 44.4×63.8cm
 7. ポール・ゴガン《ボン=タヴェン付近の風景》/ 1888年 / 油彩・カンヴァス / 72.9×92.2cm
 8. エミール・ベルナール《ボン=タヴェンにて》/ 1888年 / 水彩・紙 / 20.1×26.3cm
 9. ポール・ゴガン《乾草》/ 1889年 / 油彩・カンヴァス / 55.4×46.2cm
 10. 黒田清輝《ブレハの少女》/ 1891年 / 油彩・カンヴァス / 80.6×54.6cm
 11. アンリ・マティス《コリウール》/ 1905年 / 油彩・厚紙 / 24.5×32.4cm

[第2室]

コーナー「近代のスポーツとレジャー」

構成=宮崎克己

1. オノレ・ドーミエ《魚釣り》(全7点)/ 1840年 / リトグラフ
「非情なる釣り人」/ 22.8×17.3cm
「パリの釣り人は市場で釣りをする」/ 22.8×16.7cm
「頑固な釣り人」/ 22.2×16.3cm
「釣り人が釣り上げられる」/ 20.8×16.2cm
「河蒸気の水路でとんだ災難！」/ 22.6×16.3cm
「熱中は危ない」/ 24.7×16.3cm
「ここに醍醐味あり！」/ 24.3×16.4cm
2. ウジェーヌ・ブーダン《トルヴィル近郊の浜》/ 1865年頃 / 油彩・板 / 35.7×57.7cm
3. ポール・セザンヌ《水辺の人物たち》/ 1877年頃 / 鉛筆, 水彩・紙 / 12.7×21.8cm
4. アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《騎手》/ 1899年 / リトグラフ / 51.6×36.3cm
5. ポール・シニャック《ラ・ロシェル》/ 水彩, 鉛筆・紙 / 20.8×27.0cm
6. ビエール・ボナール《海岸》/ 1920年 / 油彩・カンヴァス / 30.1×45.1cm
7. アンドレ・ロート《海浜》/ 1922年頃 / 油彩・カンヴァス / 50.0×72.9cm
8. ラウル・デュフィ《ドーヴィルの突堤》/ 油彩・カンヴァス / 54.3×80.9cm
9. ラウル・デュフィ《ボワレの服を着たモデルたち, 1923年の競馬場》/ 1943年 / 油彩・カンヴァス / 45.6×109.8cm

コーナー「友情のかたち—物語るポートレート」

構成=福満葉子

1. エドゥワール・マネ《メリー・ローラン》/ 1882年 / パステル・カンヴァス / 41.6×37.1cm
2. オーギュスト・ロダン《カミーユ・クローデル》/ 1889年 / ブロンズ / H.24.5cm
3. エドガー・ドガ《マチルド・サル》/ 1892年 / ブロンズ / H.23.0cm
4. アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック『レスタンプ・オリジナル』第1年次のための表紙 / 1893年 / リトグラフ / 56.3×64.3cm
5. アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《マルセル・ランデル嬢》/ 1895年 / リトグラフ / 32.6×24.2cm
6. ジャン・デュビュッフエ《スカーフを巻くエディット・ボワソナス》/ 1947年 / 油彩・紙 / 48.6×32.3cm
7. エドガー・ドガ《レオポール・ルヴェールの肖像》/ 1874年頃 / 油彩・カンヴァス / 65.0×54.0cm
8. シャルル・モラン《トゥールーズ=ロートレックの肖像》/ 1893年頃 / エッチング, アクアチント / 22.8×13.7cm
9. ウィリアム・ローテンスタイン《ウォルター・クレイン》/ 1896年頃 / リトグラフ / 27.5×23.8cm
10. フェリックス・ヴァロットン《R.シューマンの肖像》/ 1893年 / 木版 / 15.2×12.2cm
11. オーギュスト・ロダン《アンリ・バックの肖像》/ 1883-87年頃 / ドライポイント / 15.9×20.4cm
12. ウジェーヌ・ドラートル《ユイスマンズの肖像》/ 1894年頃 / エッチング, アクアチント, ルーレット / 32.2×24.2cm
13. アンデルス・ソルン《ポール・ヴェルレーヌ》/ 1896年頃 / エッチング, アクアチント / 23.7×16.0cm
14. イッポリット・プティジャン《モーリス・メーテルリンク》/ 1897年頃 / リトグラフ / 25.6×21.0cm
15. テオ・ヴァン・レイセルベルヘ《アンリ・ド・レニエ》/ 1898年頃 / リトグラフ / 21.8×16.8cm
16. ハンス・オルデ《フリードリヒ・ニーチェ》/ 1899年頃 / エッチング, アクアチント / 16.9×12.5cm
17. エミール=アントワヌ・ブールデル《アナトール・フランス》/ 1920年 / ブロンズ / H.62.0cm
18. レンブラント・ファン・レイン《版画商クレメント・デ・ヨンゲ》/ 1651年 / エッチング, ドライポイント, ビュラ

ン / 21.0×16.3cm

19. ピエール=オーギュスト・ルノワール《すわるジョルジュ・シャルパンティエ嬢》/ 1876年 / 油彩・カンヴァス / 97.8×70.8cm
20. フィンセント・ファン・ゴッホ《ガッシュの肖像》/ 1890年 / エッチング / 18.2×14.9cm
21. 岡田三郎助《婦人像》/ 1907年 / 油彩・カンヴァス / 73.3×61.5cm
22. 安井曾太郎《F夫人像》/ 1939年 / 油彩・カンヴァス / 88×66cm / 個人蔵

[第3室]

1. 《女の胸像》/ シュメール / 前24世紀 / 閃緑岩 / H.55.0cm
2. 《セクメト神像》/ エジプト / 前14世紀 / 黒花崗岩 / H.177.0cm
3. レリーフ断片「柘榴と葡萄」/ エジプト / 前1360年頃 / 石灰石に彩色 / 22.5×36.0cm
4. レリーフ断片「神牛」/ エジプト / 前1300-前1200年 / 石 / 29.0×30.2cm
5. レリーフ断片「アヌビス神礼拝図」/ エジプト / 前13世紀 / 砂岩 / 66.0×58.0cm
6. 《ホルス神浮彫》/ エジプト / 前1000-前350年 / 大理石 / 26.0×28.0cm
7. 《聖猫》/ エジプト / 前950-前660年 / ブロンズ / H.48.2cm
8. 《人物像》/ バルミユラ / 1-2世紀 / 石灰石 / H.55.3cm
9. 建築装飾フリーズ部分「泉水に向う二頭の馬」/ エトルリア / 前550-前540年 / テラコッタに彩色 / 48.5×50.7cm
10. 《獅子頭部》/ ギリシア / 前5世紀 / 大理石 / H.42.0cm
11. 《ヴィーナス》/ ギリシア / ヘレニズム期(前3-前1世紀) / 大理石 / H.139.0cm
12. 《哲人の顔》/ ギリシア / 前4世紀 / 大理石 / H.29.4cm
13. 《アテナ頭部》/ グレコ=ローマン / 大理石 / H.37.0cm
14. 《ヴィーナスの頭部》/ ローマ / 大理石 / H.29.0cm
15. モザイク断片「牧神頭部」/ ローマ / 1世紀 / 47.0×43.5cm
16. 壁画断片「ディオニュソス」/ ヘルクラネウム / 1世紀 / 20.5×54.5cm

コーナー「赤と黒—ギリシア陶器の世界」

構成=中村るい氏(大妻女子大学講師)

1. コリント式アリュパロス「鷺と鶏」/ 前610-前590年 / H.10.8cm
2. アッティカ黒像式オイノコエ「ディオニュソスとマイナス」/ 前500年頃 / H.23.0cm
3. アッティカ黒像式アンフォラ「ヘラクレスとケルペロス」/ 前520-前510年 / H.35.2cm
4. アッティカ黒像式レキュトス「ディオニュソスとアリアドネ」/ 前490-前480年 / H.19.2cm
5. アッティカ黒像式レキュトス「ディオニュソス、サテュロスとマイナス」/ 前490-前480年 / H.15.0cm
6. アッティカ黒像式レキュトス「ディオニュソスとマイナス」/ 前490-前480年 / H.19.2cm
7. アッティカ白地レキュトス「墓参図」/ 前425-前400年頃 / H.29.7cm
8. アッティカ赤像式レベス・ガミコス「ニケと女性」/ 前400-前375年頃 / H.16.5cm
9. アッティカ赤像式キュリクス「サテュロス」/ 前5世紀中頃 / H.7.3cm
10. アッティカ赤像式ペリケ「男女」/ 前500-前475年頃 / H.33.2cm
11. カンパニア赤像式ヒュドリア「ディオスクーロイ」/ 前350年頃 / H.32.5cm
12. カンパニア赤像式ヒュドリア「エロス」/ 前350-前325年頃 / H.23.5cm
13. カンパニア赤像式魚文皿 / 前375-前350年頃 / H.6.0cm

[第4室]

1. カミュー・コロー《イタリアの女》/ 1826-28年 / 油彩・カンヴァス / 33.4×21.3cm
2. カミュー・コロー《森の中の若い女》/ 1865年 / 油彩・板 / 54.7×38.9cm
3. オノレ・ドーミエ《山中のドン・キホーテ》/ 1850年頃 / 油彩・板 / 39.6×31.2cm
4. シャルル=フランソワ・ドービニー《レ・サーブル=ドロンヌ》/ 油彩・板 / 39.1×67.1cm
5. アドルフ・モンティセリ《庭園の貴婦人》/ 1870-80年 / 油彩・板 / 42.2×55.9cm
6. カミュー・ピサロ《ブージュヴァルのセーヌ河》/ 1870年 / 油彩・カンヴァス / 51.4×82.2cm
7. カミュー・ピサロ《菜園》/ 1878年 / 油彩・カンヴァス / 55.2×45.9cm

-
8. クロード・モネ《アルジャントウイユの洪水》/1872-73年 / 油彩・カンヴァス / 54.4×73.3cm
 9. アルフレッド・シスレー《サン=メメス 六月の朝》/1884年 / 油彩・カンヴァス / 54.6×73.4cm
 10. エドガー・ドガ《右足で立ち、右手を地面にのばしたアラベスク》/1882-95年 / ブロンズ / H.27.5cm

ミニコーナー「都市生活の「黒」」

1. エドゥワール・マネ《自画像》/1878-79年 / 油彩・カンヴァス / 95.4×63.4cm
2. エドゥワール・マネ《オランピア》/1867年 / エッチング, アクアチント / 8.8×17.8cm
3. エドゥワール・マネ《オペラ座の仮装舞踏会》/1873年 / 油彩・カンヴァス / 46.7×38.2cm
4. コンスタンタン・ギース《酒場》/ 水彩・紙 / 18.4×21.3cm
5. アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《カーニバル》/1894年 / リトグラフ / 25.6×16.6cm
6. アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《『シルベリク』でボレロを踊るランデル》/1895年 / リトグラフ / 37.2×26.5cm
7. アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《エグランティエヌ嬢一座》/1896年 / リトグラフ / 61.6×79.3cm
8. リシャール・ランフト《使い走りの娘たち》/1894年頃 / エッチング, アクアチント / 40.0×25.9cm
9. エルマン=ポール《帽子屋の女たち》/1894年頃 / リトグラフ / 24.7×35.6cm
10. オイゲン・キルヒナー《11月》/1896年頃 / エッチング, アクアチント / 31.2×19.0cm
11. アルベール・マルケ《ハンプルクの四輪馬車》/1906年 / 墨・紙 / 20.5×26.7cm
12. オーギュスト=ルイ・ルベール《洗濯女》/1893年頃 / ソフトグラウンド・エッチング, アクアチント, ルーレット / 39.4×22.8cm
13. フェリックス・ヴァロトン《街頭デモ》/1893年頃 / 木版 / 20.4×32.1cm
14. アンリ=ガブリエル・イベルス《舗装工事の男たち》/1894年頃 / エッチング / 27.4×15.4cm

[第5室]

1. フィンセント・ファン・ゴッホ《モンマルトルの風車》/1886年 / 油彩・カンヴァス / 48.2×39.5cm
2. アルフレッド・シスレー《レディーーズ・コーヴ, ウェールズ》/1897年 / 油彩・カンヴァス / 54.3×65.3cm
3. クロード・モネ《睡蓮の池》/1907年 / 油彩・カンヴァス / 100.6×73.5cm
4. ピエール=オーギュスト・ルノワール《カーニユのテラス》/1905年 / 油彩・カンヴァス / 46.3×55.0cm
5. ピエール=オーギュスト・ルノワール《水浴の女》/1907年頃 / 油彩・カンヴァス / 35.4×27.0cm
6. ポール・セザンヌ《帽子をかぶった自画像》/1890-94年頃 / 油彩・カンヴァス / 61.2×50.1cm
7. ポール・セザンヌ《サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール》/1904-06年頃 / 油彩・カンヴァス / 66.2×82.1cm

ミニコーナー「ジャポニズム」

1. ピエール・ボナール《家族の情景》/1893年 / リトグラフ / 31.3×17.8cm
2. エドゥワール・ヴエイヤール《室内》/1893年頃 / リトグラフ / 27.9×22.8cm
3. ケル=グザヴィエ・ルーセル《雪の中で》/1893年頃 / リトグラフ / 33.0×19.5cm
4. アンリ・ラシュエ《装飾パネル》/1893年頃 / リトグラフ / 48.5×29.8cm
5. アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《アンバサドゥールにて》/1894年頃 / リトグラフ / 30.4×24.6cm
6. シャルル=ルイ・ウダール《蛙》/1894年頃 / アクアチント / 26.1×40.0cm
7. フェリックス・ヴァロトン《信頼する人》1895年 / 木版 / 17.9×22.3cm
8. オットー・エックマン《アイリス》/1895年頃 / 木版 / 22.0×12.5cm
9. オットー・エックマン《五位鷲》/1896年頃 / 木版 / 13.3×24.7cm
10. アルトゥール・イリス《月の出》/1897年頃 / エッチング, アクアチント / 18.3×14.7cm
11. ヴァルター・ライスティコウ《鶴》/1898年頃 / リトグラフ / 21.9×28.1cm
12. ポール・ゴーガン《馬の頭部のある静物》/1886年 / 油彩・カンヴァス / 49.0×38.5cm
13. クロード・モネ《睡蓮》/1903年 / 油彩・カンヴァス / 81.5×100.5cm

[第6室]

1. アンリ・マティス《画室の裸婦》/1899年 / 油彩・厚紙 / 66.2×50.5cm

-
2. アンリ・ルソー《イヴリー河岸》/ 1907年頃 / 油彩・カンヴァス / 46.1×55.0cm
 3. アンリ・ルソー《牧場》/ 1910年 / 油彩・カンヴァス / 46.0×55.3cm
 4. ボール・シニャック《コンカルノー港》/ 1925年 / 油彩・カンヴァス / 73.4×53.9cm
 5. ピエール・ボナール《ヴェルノン付近の風景》/ 1929年 / 油彩・カンヴァス / 63.4×62.4cm

ミニコーナー「幻想への眼差し」

1. ピエール・ボナール《灯下》/ 1899年 / 油彩・紙 / 42.5×50.4cm
2. ギュスターヴ・モロー《化粧》/ 1885-90年頃 / グワッシュ、水彩・紙 / 33.0×19.3cm
3. オディロン・ルドン《耳の細胞》/ 1893年頃 / リトグラフ / 26.8×25.0cm
4. オディロン・ルドン《仏陀》/ 1895年 / リトグラフ / 31.5×24.9cm
5. オディロン・ルドン / ステファン・マラルメ著『骰子一擲』のための挿絵 / 1900年 / リトグラフ / 30.0×24.5cm
6. オディロン・ルドン《供物》/ 油彩・厚紙 / 33.2×13.7cm
7. オディロン・ルドン《神秘の語らい》/ 油彩・カンヴァス / 52.1×31.5cm
8. エドヴァルト・ムンク《病める少女》/ 1894年 / ドライポイント、ルーレット / 36.0×27.1cm

[第7室]

1. モーリス・ド・ヴラマンク《運河船》/ 1905-06年 / 油彩・カンヴァス / 60.2×73.0cm
2. アンリ・マティス《縞ジャケット》/ 1914年 / 油彩・カンヴァス / 123.6×68.4cm
3. アンリ・マティス《両腕をあげたオダリスク》/ 1921年 / 油彩・カンヴァス / 45.9×38.2cm
4. アンリ・マティス《青い胴着の女》/ 1935年 / 油彩・カンヴァス / 46.0×33.0cm
5. ラウル・デュフィ《静物》/ 1915-20年頃 / 油彩・カンヴァス / 38.2×45.9cm
6. ジョルジュ・ルオー《郊外のキリスト》/ 1920-24年 / 油彩・紙 / 92.0×73.6cm
7. ジョルジュ・ルオー《ピエロ》/ 1925年 / 油彩・紙 / 75.2×51.2cm

[第8室]

1. パブロ・ピカソ《生木と枯木のある風景》/ 1919年 / 油彩・カンヴァス / 49.4×65.4cm
2. パブロ・ピカソ《腕を組んでするサルタンバンク》/ 1923年 / 油彩・カンヴァス / 130.8×98.0cm
3. パブロ・ピカソ《女の顔》/ 1923年 / 油彩、砂・カンヴァス / 46.1×38.1cm
4. パウル・クレー《ホフマン風物語の情景》/ 1921年 / リトグラフ / 31.7×23.0cm
5. パウル・クレー《冬》/ 1932年 / 水彩・紙 / 48.0×42.0cm / 個人蔵
6. パブロ・ピカソ《道化師》/ 1905年 / ブロンズ / H.40.6cm
7. アルベルト・ジャコメッティ《ディエゴの胸像》/ 1954-55年 / ブロンズ / H.55.0cm

コーナー「抽象と具象のはざま」

構成＝宮崎克己

1. ビート・モンドリアン《砂丘》/ 1909年 / 油彩、鉛筆・厚紙 / 29.6×39.1cm
2. パブロ・ピカソ《ブルゴーニュのマール瓶、グラス、新聞紙》/ 1913年 / 油彩、砂、新聞紙・カンヴァス / 46.3×38.4cm
3. ジョアン・ミロ《抽象》/ 1927年 / 油彩・カンヴァス / 24.1×33.0cm
4. パウル・クレー《鳥》/ 1932年 / 油彩、砂を混ぜた石膏・板 / 55.2×85.2cm
5. ジャン・フォートリエ《人質の頭部》/ 1945年 / 油彩・カンヴァスに貼った紙 / 34.2×26.4cm
6. ジャン・フォートリエ《旋回する線》/ 1963年 / 油彩・カンヴァスに貼った紙 / 59.9×73.1cm
7. ジャン・デュビュッフエ《スカーフを巻くエディット・ボワソナス》/ 1947年 / 油彩・紙 / 48.6×32.3cm
*作品は第2室に展示
8. ジャン・デュビュッフエ《暴動》/ 1961年 / 油彩・カンヴァス / 100.0×80.8cm

[第9室]

1. 青木繁《海景(布良の海)》/ 1904年 / 油彩・カンヴァス / 36.6×73.0cm
 2. 青木繁《天平時代》/ 1904年 / 油彩・カンヴァス / 45.3×75.5cm
-

3. 中村彝《自画像》／1909年／油彩・カンヴァス／80.6×61.0cm
4. 梅原龍三郎《林檎園》／1909年／油彩・カンヴァス／29.4×36.2cm
5. 岸田劉生《裸婦》／1913年／油彩・カンヴァス／60.7×45.4cm
6. 岸田劉生《南瓜を持てる女》／1914年／油彩・カンヴァス／80.0×60.2cm
7. 山下新太郎《供物》／1915年／油彩・カンヴァス／55.2×46.1cm
8. 関根正二《子供》／1919年／油彩・カンヴァス／60.9×45.7cm

ミニコーナー「出会い—日本人画家とヨーロッパ」

1. 岡田三郎助《臥裸婦》／1901年／油彩・カンヴァス／45.2×91.9cm
2. 浅井忠《縫物》／1902年／油彩・カンヴァス／60.7×45.5cm
3. 藤島武二《ルツェルン》／1908年／油彩・板／23.5×32.8cm
4. 藤島武二《糸杉(ヴィラ・ファルコニエリ)》／1908-09年／油彩・カンヴァス／39.5×36.6cm
5. 藤島武二《黒扇》／1908-09年／油彩・カンヴァス／63.7×42.4cm
6. 藤島武二《ローマの寺院》／1908-09年／油彩・カンヴァス／33.1×26.6cm
7. 藤島武二《ローマの遺跡》／1908-09年／油彩・板／35.1×26.2cm
8. 藤島武二《半裸婦人像》／1908-09年／油彩・紙／30.5×28.5cm
9. 藤田嗣治《巴里風景》／1918年／油彩・カンヴァス／46.0×55.2cm
10. 山下新太郎《読書》／1908年／油彩・カンヴァス／100.0×73.1cm

[第10室]

1. 国吉康雄《夢》／1922年／油彩・カンヴァス／51.5×76.7cm
2. 国吉康雄《横たわる女》／1929年／油彩・カンヴァス／41.3×76.4cm
3. 小出楢重《帽子をかぶった自画像》／1924年／油彩・カンヴァス／126.0×91.3cm
4. 小出楢重《横たわる裸身》／1930年／油彩・カンヴァス／50.0×72.9cm
5. 佐伯祐三《テラスの広告》／1927年／油彩・カンヴァス／54.2×65.4cm
6. 佐伯祐三《ガラージュ》／1927-28年／油彩・カンヴァス／60.6×73.6cm
7. 藤島武二《淡路島遠望》／1929年／油彩・カンヴァス／53.0×72.9cm
8. 藤島武二《東海旭光》／1932年／油彩・カンヴァス／65.2×90.9cm
9. 安井曾太郎《薔薇》／1932年／油彩・カンヴァス／63.0×51.9cm
10. 梅原龍三郎《ノートルダム》／1965年／油彩・羊皮紙／42.6×35.0cm
11. 藤田嗣治《猫のいる静物》／1939-40年／油彩・カンヴァス／80.6×99.9cm
12. 藤田嗣治《ドルドーニュの家》／1940年／油彩・カンヴァス／45.5×53.3cm
13. 岡鹿之助《雪の発電所》／1956年／油彩・カンヴァス／72.8×90.9cm

Ⅱ. オムニバス〈想〉

会期：2001年9月15日(土)－11月4日(日)

出品内容：油彩95点、水彩など紙作品18点、版画61点、彫刻20点、ガラス2点、古代の作品29点
計225点

入場者総数：7,132人(1日平均 166人)



Ⅱ. オムニバス〈想〉
アドカード

出品目録:

[彫刻ギャラリーⅠ]

1. アリステイド・マイヨール《欲望》/ 1905-08年 / ブロンズ / 119.5×114.4cm
2. コンスタンティン・ブランクーシ《接吻》/ 1907-10年 / 石膏 / H.28.0cm
3. アレキサンダー・アーキベンコ《ゴンドラの船頭》/ 1914年 / ブロンズ / H.83.0cm
4. オシップ・ザツキン《母子》/ 1919年 / 着色されたセメント / H.48.6cm
5. オシップ・ザツキン《ボモナ(トルソ)》/ 1951年 / 黒檀 / H.131.0cm
6. マリノ・マリーニ《騎手》/ 1952年 / ブロンズ / H.58.0cm
7. ヘンリー・ムア《横たわる人体》/ 1976年 / ブロンズ / H.39.8cm

[彫刻ギャラリーⅡ]

1. オーギュスト・ロダン《青銅時代》/ 原型1876-77年(1904年に縮小鑄造されたもの) / ブロンズ / H.63.5cm
2. オーギュスト・ロダン《考える人》/ 原型1880年(1902年頃に縮小鑄造されたもの) / ブロンズ / H.37.7cm

コーナー「紙上の彫刻家」(1)

構成=坂本恭子

1. オーギュスト・ロダン《立てるフォーネス》/ 1884年頃 / 大理石 / H.71.0cm
2. オーギュスト・ロダン《裸婦》/ 鉛筆, 淡彩・紙 / 17.8×11.5cm
3. オーギュスト・ロダン《裸婦》/ 鉛筆, 淡彩・紙 / 31.0×17.6cm
4. エミール=アントワヌ・ブールデル《風の中のベートーヴェン》/ 1904-08年 / ブロンズ / H.124.8cm
5. エミール=アントワヌ・ブールデル《クロノス》/ 1921年 / グワッシュ, ペン, インク・紙 / 16.4×20.9cm
6. エミール=アントワヌ・ブールデル《弓をひくヘラクレス》/ 1909年 / ブロンズ / H.78.5cm
7. エミール=アントワヌ・ブールデル《傷つける精を運ぶケンタウロス》/ 水彩, ペン, インク・紙 / 15.7×20.2cm
8. エミール=アントワヌ・ブールデル《ペネロープ》/ 1909年 / ブロンズ / H.118.8cm
9. エミール=アントワヌ・ブールデル《レダと白鳥》/ 水彩, ペン, インク・厚紙 / 18.2×13.1cm
10. エミール=アントワヌ・ブールデル《裸婦》/ ペン, インク・紙 / 20.0×30.8cm

[第2室]

コーナー「紙上の彫刻家」(2)

11. ヘンリー・ムア「横たわる人体」のための習作 / 1949年 / 鉛筆, ワックスクレヨン, チョーク, クレヨン, 水彩・紙 / 40.1×56.6cm
12. ヘンリー・ムア「ファミリー・グループ」のための習作 / 1949年 / 鉛筆, クレヨン, 水彩, チョーク, グワッシュ, ペン, インク・紙 / 29.2×24.1cm
13. ヘンリー・ムア《鳩を持つ女》/ 1976年 / リトグラフ / 28.1×20.4cm
14. ヘンリー・ムア《ストーンヘンジ C》/ 1972年 / エッチング, アクアチント, ドライポイント, ビュラン / 25.4×19.1cm
15. ヘンリー・ムア《手を握りしめる女》/ 1976年 / リトグラフ / 14.2×17.9cm
16. ヘンリー・ムア《プロメテウスの頭部》/ 1949年 / 鉛筆, ワックスクレヨン, 水彩, クレヨン, チョーク, グワッシュ, ペン, インク・紙 / 35.0×27.4cm
17. マリノ・マリーニ《室内にて》/ 1943年 / リトグラフ / 38.6×29.5cm
18. マリノ・マリーニ「ボモナ」のための習作 / 1943年 / リトグラフ / 38.5×29.5cm
19. マリノ・マリーニ「ボモナ」のための習作 / 1943年 / リトグラフ / 39.4×29.7cm
20. オシップ・ザツキン《三美神》/ 1950年 / ブロンズ / H.76.7cm
21. オシップ・ザツキン《三人の女》/ 1938年 / グワッシュ・紙 / 61.9×45.7cm
22. オシップ・ザツキン《三つの冒険》/ 1951年 / グワッシュ・紙 / 65.2×49.7cm
23. マリノ・マリーニ《騎手のための構想》/ 1955年 / ブロンズ / H.55.8cm
24. マリノ・マリーニ《緑の背景の騎手》/ 1957年 / リトグラフ / 60.7×43.8cm
25. マリノ・マリーニ《馬と騎手》/ 1954年 / テンペラ・紙 / 61.7×42.8cm

-
26. ヘンリー・ムア《母と子(ルーベンス風)》/ 1979年 / ブロンズ / H.15.5cm
 27. ヘンリー・ムア《波を背景にした母と子Ⅰ(ハードグレー)》/ 1976年 / リトグラフ / 17.6×26.6cm
 28. ヘンリー・ムア《波を背景にした母と子Ⅱ(イエロー)》/ 1976年 / リトグラフ / 17.6×26.6cm
 29. ヘンリー・ムア《波を背景にした母と子Ⅲ(ソフトグレー)》/ 1976年 / リトグラフ / 17.6×26.6cm
 30. マリノ・マリニ《騎手》/ 1955年 / リトグラフ / 64.7×45.3cm
 31. マリノ・マリニ《赤と黒の騎手》/ 1955年 / リトグラフ / 66.6×50.4cm
 32. マリノ・マリニ《騎手と馬, オレンジの縁》/ 1955年 / リトグラフ / 62.0×45.7cm
 33. マリノ・マリニ《待機》/ 1965年 / リトグラフ / 73.6×51.0cm
 34. マリノ・マリニ《コンポジション》/ 1957年 / リトグラフ / 65.2×48.4cm
 35. マリノ・マリニ《馬》/ 1955年 / リトグラフ / 33.2×56.6cm
 36. マリノ・マリニ《黒い背景の騎手》/ 1956年 / リトグラフ / 34.9×50.8cm
 37. マリノ・マリニ《コンポジション》/ 1955年 / リトグラフ / 64.0×42.9cm
 38. ヘンリー・ムア『ヘルメット・ヘッド・リトグラフ』(全5点) / 1975年刊行 / リトグラフ
《黙視》/ 1974年 / 33.1×35.0cm
《直視》/ 1974年 / 30.8×31.6cm
《隠視》/ 1974年 / 32.5×37.5cm
《優越視》/ 1974年 / 32.2×38.4cm
《狂視》/ 1974年 / 32.4×37.3cm

コーナー「曲線は踊る—アール・ヌーヴォーの版画」

構成=坂本恭子

1. カール・ケッピング《ケッピングの装飾ガラス》/ 1896年頃 / エッチング, アクアチント / 25.0×15.0cm
2. フェリックス・ヴァロットン《入浴》/ 1894年頃 / 木版 / 18.2×22.5cm
3. モーリス・ドニ《慈愛》/ 1893年頃 / リトグラフ / 30.1×25.2cm
4. ボール=エリー・ランソン《密林の虎》/ 1893年 / リトグラフ / 36.7×28.5cm
5. アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド / トロポン社の広告 / 1898年頃 / リトグラフ / 30.9×19.9cm
6. ウォルター・クレイン《シンバルを持つ踊り子》/ 1894年 / リトグラフ / 43.5×30.7cm
7. ヴィルヘルム・フォルツ《ニンフの行進と踊り》/ 1898年頃 / リトグラフ / 10.8×21.0cm
8. アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《マルセル・ランデール嬢》/ 1895年 / リトグラフ / 32.6×24.2cm
9. テオフィル=アレクサンドル・スタンラン / フェルナン・ヴァンデレム著『アッシュ』の表紙 / 1895年頃 / リトグラフ / 20.5×26.5cm
10. ヤーコブ・ヘラルト・フェルトヘール《小さな町の風景》/ 1896年頃 / 木口木版 / 27.9×20.6cm
11. モーリス・デュモン《サッフォー》/ 1895年頃 / グリユブトグラフ / 12.2×19.2cm
12. ベーター・ペーレンス《冬景色》/ 1900年頃 / 木版 / 26.6×21.2cm
13. ボール・シニャック《サン=トロベ》/ 1894年 / リトグラフ / 27.6×36.8cm
14. シャルル・ギュー《洪水》/ 1893年頃 / リトグラフ / 20.9×29.1cm
15. チャールズ・リケッツ《大洪水》/ 1894年頃 / 木口木版 / 8.7×9.5cm
16. アンリ=ギュスターヴ・ジョソ《波》/ 1894年頃 / リトグラフ / 53.1×35.5cm
17. ジョルジュ・ド・フル《悪の泉》/ 1894年頃 / リトグラフ / 34.9×25.1cm
18. アンリ・エラン《戯れる人魚》/ 1898年頃 / 木版, リトグラフ / 29.1×20.6cm
19. ヴィルヘルム・フォルツ《サロメ》/ 1896年頃 / リトグラフ / 27.3×18.7cm
20. ウジェーヌ・グラッセ《硫酸魔》/ 1894年頃 / 写真凸版, ステンシルによる手彩色 / 40.0×27.6cm
21. ベーター・ペーレンス《接吻する二つの頭部》/ 1898年頃 / 木版 / 27.4×21.7cm

参考出品

1. エミール・ガレ《蜻蛉草花文花瓶》/ 1880-1900年頃 / ガラス / H.27.9cm
2. ガレ工房《クレマチス文耳付花瓶》/ ガラス / H.27.6cm

[第1室]

コーナー「ひそやかな冒険—近現代の静物画」

構成＝福満葉子

1. ポール・セザンヌ《鉢と牛乳入れ》/ 1873-77年頃 / 油彩・カンヴァス / 20.0×18.1cm
2. ジョルジュ・ブラック《パル(テーブルの上のバス・ビールの瓶とグラス)》/ 1911年 / エッチング / 45.8×32.9cm
3. パブロ・ピカソ《ブルゴーニュのマール瓶, グラス, 新聞紙》/ 1913年 / 油彩, 砂, 新聞紙・カンヴァス / 46.3×38.4cm
4. パブロ・ピカソ《カップとスプーン》/ 1922年 / 油彩・カンヴァス / 16.0×27.2cm
5. パブロ・ピカソ《茄子》/ 1946年 / 油彩, グワッシュ・紙 / 51.1×66.2cm
6. ラウル・デュフィ《静物》/ 1915-20年頃 / 油彩・カンヴァス / 38.2×45.9cm
7. アンリ・マティス《石膏のある静物》/ 1927年 / 油彩・カンヴァス / 52×64cm / 個人蔵
8. ピエール・ボナール《桃》/ 1920年 / 油彩・カンヴァス / 36.0×38.1cm
9. 安井曾太郎《ギリシャの壺と林檎》/ 1949年 / 墨, 鉛筆・紙 / 30.8×23.5cm / 個人蔵
10. 安井曾太郎《燈下》/ 1950年 / 水彩, コラージュ・紙 / 14.4×14.8cm / 個人蔵
11. 安井曾太郎《桃》/ 1950年 / グワッシュ, 鉛筆・紙 / 15.3×15.9cm / 個人蔵
12. 安井曾太郎《金魚》/ 1951年 / 油彩・紙 / 16.8×16.6cm / 個人蔵
13. 安井曾太郎《饅頭》/ 1953年 / 油彩・紙 / 15.7×15.6cm / 個人蔵
14. 安井曾太郎《ベルシャの壺》/ 1955年 / 油彩・紙 / 15.0×15.5cm / 個人蔵
15. 安井曾太郎《蜜柑》/ 1950年 / 水彩, 色鉛筆, 鉛筆, コラージュ・紙 / 21.9×32.0cm / 個人蔵
16. 浜口陽三『hamaguchi's six original color mezzotints』(全6点) / 1978年 / メゾチント
《てんとう虫》/ 11.6×11.6cm
《毛糸の玉》/ 11.6×11.6cm
《さくらんぼ》/ 11.5×11.5cm
《ぶどう》/ 11.6×11.5cm
《ごくら》/ 11.6×11.5cm
《アスバラガス》/ 11.6×11.6cm
17. 藤田嗣治《インク壺の静物》/ 1926年 / 油彩・カンヴァス / 22.0×26.9cm
18. 藤田嗣治《猫のいる静物》/ 1939-40年 / 油彩・カンヴァス / 80.6×99.9cm

[第3室]

*展示作品はI. オムニバス〈写〉と同じ

[第4室]

1. カミーユ・コロセ《ヴィル・ダヴレー》/ 1835-40年 / 油彩・カンヴァス / 51.1×46.6cm
2. オノレ・ドーミエ《山中のドン・キホーテ》/ 1850年頃 / 油彩・板 / 39.6×31.2cm
3. ギュスターヴ・クールベ《雪の中を駆ける鹿》/ 1856-57年頃 / 油彩・カンヴァス / 93.5×148.8cm
4. ウジェーヌ・ブーダン《トルーヴィル近郊の浜》/ 1865年頃 / 油彩・板 / 35.7×57.7cm
5. カミーユ・ピサロ《ブージヴァルのセヌ河》/ 1870年 / 油彩・カンヴァス / 51.4×82.2cm
6. カミーユ・ピサロ《菜園》/ 1878年 / 油彩・カンヴァス / 55.2×45.9cm
7. エドガー・ドガ《レオポール・ルヴエールの肖像》/ 1874年頃 / 油彩・カンヴァス / 65.0×54.0cm
8. ピエール＝オーギュスト・ルノワール《すわるジョルジュ・シャルパンティエ嬢》/ 1876年 / 油彩・カンヴァス / 97.8×70.8cm
9. エドゥワール・マネ《自画像》/ 1878-79年 / 油彩・カンヴァス / 95.4×63.4cm
10. アルフレッド・シスレー《サン＝マメス 六月の朝》/ 1884年 / 油彩・カンヴァス / 54.6×73.4cm
11. エドガー・ドガ《右足で立ち, 右手を地面にのばしたアラベスク》/ 1882-95年 / ブロンズ / H.27.5cm

ミニコーナー「ルノワールと日本人」

1. ピエール＝オーギュスト・ルノワール《カーニユのテラス》/ 1905年 / 油彩・カンヴァス / 46.3×55.0cm
2. ピエール＝オーギュスト・ルノワール《水浴の女》/ 1907年頃 / 油彩・カンヴァス / 35.4×27.0cm

3. ビエール=オーギュスト・ルノワール《すわる水浴の女》/ 1914年 / 油彩・カンヴァス / 55.0×44.2cm
4. ビエール=オーギュスト・ルノワール《花のついた帽子の女》/ 1917年 / 油彩・カンヴァス / 40.6×50.2cm
5. 山下新太郎《供物》/ 1915年 / 油彩・カンヴァス / 55.2×46.1cm
6. 梅原龍三郎《林檎園》/ 1909年 / 油彩・カンヴァス / 29.4×36.2cm
7. 梅原龍三郎《ナポリよりソレントを望む》/ 1921年 / 油彩・カンヴァス / 45.5×60.7cm

[第5室]

1. クロード・モネ《アルジャントウイユの洪水》/ 1872-73年 / 油彩・カンヴァス / 54.4×73.3cm
2. クロード・モネ《睡蓮》/ 1903年 / 油彩・カンヴァス / 81.5×100.5cm
3. クロード・モネ《睡蓮の池》/ 1907年 / 油彩・カンヴァス / 100.6×73.5cm
4. アルフレッド・シスレー《レディーズ・コーヴ, ウェールズ》/ 1897年 / 油彩・カンヴァス / 54.3×65.3cm
5. フィンセント・ファン・ゴッホ《モンマルトルの風車》/ 1886年 / 油彩・カンヴァス / 48.2×39.5cm
6. ポール・ゴーガン《ボン=タヴェン付近の風景》/ 1888年 / 油彩・カンヴァス / 72.9×92.2cm
7. ポール・ゴーガン《乾草》/ 1889年 / 油彩・カンヴァス / 55.4×46.2cm
8. ポール・セザンヌ《帽子をかぶった自画像》/ 1890-94年頃 / 油彩・カンヴァス / 61.2×50.1cm
9. ポール・セザンヌ《サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール》/ 1904-06年頃 / 油彩・カンヴァス / 66.2×82.1cm
10. アンリ・ルソー《イヴリー河岸》/ 1907年頃 / 油彩・カンヴァス / 46.1×55.0cm
11. アンリ・ルソー《牧場》/ 1910年 / 油彩・カンヴァス / 46.0×55.3cm
12. ビエール・ボナール《ヴェルノン付近の風景》/ 1929年 / 油彩・カンヴァス / 63.4×62.4cm

[第6室]

1. オーギュスト・ロダン《カミーユ・クローデル》/ 1889年 / ブロンズ / H.24.5cm

コーナー「忘れられた画家たち」

構成=宮崎克己

1. ジョージ・スミス《婦人像》/ 1866年 / 油彩・板 / 56.0×40.1cm
2. ルイ=アントワース・ルククレク《風景》/ 油彩・カンヴァス / 60.6×73.5cm
3. ビエール・ラブラード《横たわる女》/ 油彩・紙 / 38.4×55.1cm
4. ビエール・ラブラード《サン・ペール風景》/ 油彩・カンヴァス / 64.8×54.0cm
5. アーノルト・フィードラー《静物》/ 1950年 / 油彩・カンヴァス / 71.1×50.7cm
6. クリスティアン・ベラル《緑の坐像》/ 1928年 / 油彩・カンヴァス / 100.3×81.0cm
7. クリスティアン・ベラル《人物》/ 1928年 / 油彩・カンヴァス / 92×60cm / 個人蔵
8. クリスティアン・ベラル《坐婦》/ 1928年 / 油彩・カンヴァス / 55×33cm / 個人蔵
9. トーマス・ジョージ《夜の映像》/ 1956年 / 油彩・カンヴァス / 72.2×60.1cm
10. カズヤ・サカイ《作品 no.80》/ 1962年 / 油彩・カンヴァス / 88.0×116.0cm

[第7室]

ミニコーナー「祈りのかたち—近代の宗教画」

1. ギュスターヴ・モロー《化粧》/ 1885-90年頃 / グワッシュ、水彩・紙 / 33.0×19.3cm
2. オディロン・ルドン《神秘の語らい》/ 油彩・カンヴァス / 52.1×31.5cm
3. ルートヴィヒ・フォン・ホフマン《うらかな日》/ 1898年頃 / リトグラフ / 17.1×28.9cm
4. カルロス・シュヴァーブ《受胎告知》/ 1893年 / リトグラフ / 25.9×36.5cm
5. アンドレ・ドラン《聖母子》/ 1913年頃 / 油彩・板 / 27.0×21.6cm
6. モーリス・ドニ《母と子》/ 1897年頃 / リトグラフ / 24.6×17.5cm
7. ジョルジュ・ルオー《郊外のキリスト》/ 1920-24年 / 油彩・紙 / 92.0×73.6cm
8. ジョルジュ・ルオー《ピエロ》/ 1925年 / 油彩・紙 / 75.2×51.2cm
9. ジョルジュ・ルオー《キリスト》/ 1926-27年 / インタリオ(凹版) / 35.1×25.2cm
10. マルク・シャガール《モーセ》/ 1956年 / リトグラフ / 35.7×26.7cm

[第8室]

1. アンリ・マティス《画室の裸婦》/ 1899年 / 油彩・厚紙 / 66.2×50.5cm
2. アンリ・マティス《縞ジャケット》/ 1914年 / 油彩・カンヴァス / 123.6×68.4cm
3. アンリ・マティス《青い胴着の女》1935年 / 油彩・カンヴァス / 46.0×33.0cm
4. ビート・モンドリアン《砂丘》/ 1909年 / 油彩、鉛筆・厚紙 / 29.6×39.1cm
5. パブロ・ピカソ《生木と枯木のある風景》/ 1919年 / 油彩・カンヴァス / 49.4×65.4cm
6. パブロ・ピカソ《腕を組んですわるサルタンパンク》/ 1923年 / 油彩・カンヴァス / 130.8×98.0cm
7. パブロ・ピカソ《女の顔》/ 1923年 / 油彩、砂・カンヴァス / 46.1×38.1cm
8. アンドレ・ドラン《自画像》/ 油彩・カンヴァス / 37.2×25.3cm / 個人蔵
9. ゲオルゲ・グロス《プロムナード》/ 1926年 / 油彩・カンヴァス / 100.3×125.7cm
10. ジョアン・ミロ《抽象》/ 1927年 / 油彩・カンヴァス / 24.1×33.0cm
11. ジョルジョ・デ・キリコ《吟遊詩人》/ 油彩・カンヴァス / 62.4×49.8cm
12. パウル・クレー《島》/ 1932年 / 油彩、砂を混ぜた石膏・板 / 55.2×85.2cm
13. パブロ・ピカソ《道化師》/ 1905年 / ブロンズ / H.40.6cm
14. アルベルト・ジャコメッティ《ディエゴの胸像》/ 1954-55年 / ブロンズ / H.55.0cm

[第9室]

1. 浅井忠《グレーの洗濯場》/ 1901年 / 油彩・カンヴァス / 33.3×45.5cm
2. 浅井忠《縫物》/ 1902年 / 油彩・カンヴァス / 60.7×45.5cm
3. 藤島武二《スイス風景》/ 1908年 / 油彩・板 / 23.6×32.8cm
4. 藤島武二《糸杉(ヴィラ・ファルコニエリ)》/ 1908-09年 / 油彩・カンヴァス / 39.5×36.6cm
5. 藤島武二《黒扇》/ 1908-09年 / 油彩・カンヴァス / 63.7×42.4cm
6. 藤島武二《半裸婦人像》/ 1908-09年 / 油彩・紙 / 30.5×28.5cm
7. 黒田清輝《杣》/ 1912年頃 / 油彩・カンヴァス / 80.4×60.5cm

コーナー「^{ベザント}農婦の図像学」

構成＝宮崎克己

1. カミーユ・コロエ《イタリアの女》/ 1826-28年 / 油彩・カンヴァス / 33.4×21.3cm
2. カミーユ・コロエ《森の中の若い女》/ 1865年 / 油彩・板 / 54.7×38.9cm
3. ジャン＝フランソワ・ミレー《乳しぼりの女》/ 1854-60年 / 油彩・カンヴァス / 59.0×72.4cm
4. アルフレッド・シスレー《森へ行く女たち》/ 1866年 / 油彩・カンヴァス / 65.2×92.2cm
5. ギュスターヴ・クールベ《石切り場の雪景色》/ 1870年頃 / 油彩・カンヴァス / 43.0×60.2cm
6. マックス・リーパーマン《イタリアの少女》/ 1878年 / 油彩・カンヴァス / 95.9×76.0cm
7. マックス・リーパーマン《薪を集める女たち》/ 1900年頃 / リトグラフ / 16.8×29.0cm
8. エミール・ベルナール《ボン＝タヴェンにて》/ 1888年 / 水彩・紙 / 20.1×26.3cm
9. 黒田清輝《ブレハの少女》/ 1891年 / 油彩・カンヴァス / 80.6×54.6cm
10. アルマン・セガン《風景》/ 1894年頃 / エッチング、アクアチント、ルーレット / 23.0×22.7cm
11. フェリシアン・ロップス《老いたるカーテ》/ 1895年頃 / ソフトグランドエッチング、エッチング、アクアチント / 20.7×14.6cm
12. フェリシアン・ロップス《柴を集める女》/ 1874年 / エッチング、ドライポイント / 27.3×17.0cm
13. エミール・オルリック《畑にて》/ 1897年頃 / エッチング、アクアチント / 7.0×13.0cm

[第10室]

1. 関根正二《子供》/ 1919年 / 油彩・カンヴァス / 60.9×45.7cm
2. 国吉康雄《夢》/ 1922年 / 油彩・カンヴァス / 51.5×76.7cm
3. 国吉康雄《横たわる女》/ 1929年 / 油彩・カンヴァス / 41.3×76.4cm
4. 小出裕重《帽子をかぶった自画像》/ 1924年 / 油彩・カンヴァス / 126.0×91.3cm
5. 佐伯祐三《テラスの広告》/ 1927年 / 油彩・カンヴァス / 54.2×65.4cm
6. 藤島武二《淡路島遠望》/ 1929年 / 油彩・カンヴァス / 53.0×72.9cm

7. 安井曾太郎《薔薇》/ 1932年 / 油彩・カンヴァス / 63.0×51.9cm
8. 藤田嗣治《ドルドーニュの家》/ 1940年 / 油彩・カンヴァス / 45.5×53.3cm

ミニコーナー「憧れと創造—ヨーロッパと日本人画家」

1. 青木繁《天平時代》/ 1904年 / 油彩・カンヴァス / 45.3×75.5cm
2. 青木繁《海景(布良の海)》/ 1904年 / 油彩・カンヴァス / 36.6×73.0cm
3. 中村彝《自画像》/ 1909年 / 油彩・カンヴァス / 80.6×61.0cm
4. 岸田劉生《街道(銀座風景)》/ 1911年頃 / 油彩・カンヴァス / 33.5×45.9cm
5. 岸田劉生《南瓜を持てる女》/ 1914年 / 油彩・カンヴァス / 80.0×60.2cm
6. 古賀春江《涯なき逃避》/ 1930年 / 油彩・カンヴァス / 116.6×91.2cm

Ⅲ. オムニバス〈彩〉

会期：2001年11月8日(木)－12月24日(月・祝)

出品内容：油彩78点、パステル10点、水彩など紙作品7点、版画30点、
彫刻19点、挿絵本6件、古代の作品29点 計173点+6件

入場者総数：7,218人(1日平均 176人)



Ⅲ. オムニバス〈彩〉アドカード

出品目録：

[彫刻ギャラリーⅠ]

1. アリストテイド・マイヨール《欲望》/ 1905-08年 / ブロンズ / 119.5×114.4cm
2. アレキサンダー・アーキベンコ《ゴンドラの船頭》/ 1914年 / ブロンズ / H.83.0cm
3. オシップ・ザツキン《母子》/ 1919年 / 着色されたセメント / H.48.6cm
4. オシップ・ザツキン《三美神》/ 1950年 / ブロンズ / H.76.7cm
5. オシップ・ザツキン《ボモナ(トルソ)》/ 1951年 / 黒檀 / H.131.0cm
6. マリノ・マリーニ《騎手》/ 1952年 / ブロンズ / H.58.0cm
7. マリノ・マリーニ《騎手のための構想》/ 1955年 / ブロンズ / H.55.8cm
8. ヘンリー・ムア《横たわる人体》/ 1976年 / ブロンズ / H.39.8cm

[彫刻ギャラリーⅡ]

1. オーギュスト・ロダン《青銅時代》/ 原型1876-77年(1904年に縮小鑄造されたもの) / ブロンズ / H.63.5cm
2. オーギュスト・ロダン《考える人》/ 原型1880年(1902年頃に縮小鑄造されたもの) / ブロンズ / H.37.7cm
3. オーギュスト・ロダン《立てるフォーネス》/ 1884年頃 / 大理石 / H.71.0cm
4. エミール=アントワヌ・ブールデル《風の中のベートーヴェン》/ 1904-08年 / ブロンズ / H.124.8cm
5. エミール=アントワヌ・ブールデル《弓をひくヘラクレス》/ 1909年 / ブロンズ / H.78.5cm
6. エミール=アントワヌ・ブールデル《ペネロープ》/ 1909年 / ブロンズ / H.118.8cm

[第1室]

コーナー「マティスの『ジャズ』」

構成＝福満葉子

アンリ・マティス『ジャズ』/パリ, テリアード出版 / 1947年刊行 / ステンシル / 42.2×65.5cm

1. 《道化師》
2. 《サーカス》
3. 《ロワイヤル氏》
4. 《白象の悪夢》
5. 《馬, 曲馬師, 道化師》
6. 《狼》
7. 《ハート》
8. 《イカルス》
9. 《形体》
10. 《ピエロの葬式》
11. 《コドマ兄弟》
12. 《水槽を泳ぐ女》
13. 《剣を呑み込む男》
14. 《カウボーイ》
15. 《ナイフ投げの男》
16. 《運命》
17. 《渴》
18. 《渴》
19. 《渴》
20. 《^{そり}檻》

[第2室]

コーナー 「「不定形」のかたち—戦後美術断章」

構成=坂本恭子

1. ジャン・フォートリエ《人質の頭部》/ 1945年 / 油彩・カンヴァスに貼った紙 / 34.2×26.4cm
2. ジャン・デュビュッフェ《スカーフを巻くエディット・ボワソナス》/ 1947年 / 油彩・紙 / 48.6×32.3cm
3. ジョルジュ・ブラック《顔》/ 1950年 / エッチング / 36.4×29.6cm
4. アルベルト・ジャコメッティ《アネットの顔》/ 1955年 / エッチング / 20.8×6.0cm
5. ジョアン・ミロ《砕ける波》/ 1958年 / アクアチント / 13.4×9.3cm
6. ジョアン・ミロ《砕ける波》/ 1958年 / アクアチント / 13.4×9.3cm
7. ジョアン・ミロ《記号と流星》/ 1958年 / リトグラフ / 42.5×47.7cm
8. アンドレ・マッソン《木の葉の上の男女》/ 1954年 / エッチング / 30.8×25.8cm
9. ザオ・ウーキー《21. Sep. 50》/ 1950年 / 油彩・カンヴァスボード / 37.8×46.0cm
10. ザオ・ウーキー《サヴァンナ(草原)》/ 1952年 / 水彩, ペン, インク・紙 / 33.2×37.4cm
11. ザオ・ウーキー《海岸》/ 1950年 / エッチング / 29.8×29.8cm
12. ザオ・ウーキー《鳥の飛翔》/ 1954年 / リトグラフ / 58.0×44.9cm
13. ピエール・アレシンスキー《木の根》/ 1954年 / 水彩, ペン, インク・紙 / 31.8×47.9cm
14. ピエール・アレシンスキー《田園の一隅》/ 1951年 / 油彩・カンヴァス / 99.5×80.3cm
15. ジャン・フォートリエ《巡回する線》/ 1963年 / 油彩・カンヴァスに貼った紙 / 59.9×73.1cm

コーナー 「画家たちの挑戦—挿絵本の世界」

構成=中村節子

1. パブロ・ピカソ『ボエム・エ・リトグラフィ [詩とリトグラフ]』/ 詩: パブロ・ピカソ / パリ, ルイーズ・レリス画廊 / 1954年刊行(1949年制作) / リトグラフ14点 / 64.5×48.5cm / 限定50部のNo.38
2. ジョルジュ・ブラック『アン・アヴァンチュール・メトディク [秩序だった冒険]』/ テキスト: ピエール・ルヴェルディ / パリ, マーグ出版; フェルナン・ムルロ工房 / 1950年刊行 / リトグラフ26点, 口絵1点 / 44.2×33.5cm / 限定250部のNo.212
3. ル・コルビュジエ『ボエム・ド・ラングル・ドロワ [直角の詩]』/ 詩: ル・コルビュジエ / パリ, テリアード出版 /

- 1955年刊行(1947-53年制作) / リトグラフ91点 / 42.5×33cm / 限定250部のNo.159
4. アントニ・クラベ『ガルガンチュア』 / テキスト: フランソワ・ラブレー / パリ, プロヴァンス愛書家協会 / 1955年刊行(1950-54年制作) / リトグラフ61点, 木版による飾り頭文字・章末飾り(カット)61点 / 38.5×28.5cm / 限定200部のNo.94
 5. ジャン・リュルサ『ドメヌ [領分]』 / 詩: ジャン・リュルサ / パリ, ピエール・ド・タルタ出版 / 1957年刊行 / リトグラフ33点 / 37.3×28cm / 限定110部のNo.46
 6. マリノ・マリーニ『イデア・エ・スパーツィオ [着想と空間]』 / 詩: エグレ・マリーニ / パリ, フランスおよびアメリカの愛書家100人会 / 1963年刊行 / エッチング12点 / 51×38.5cm / 限定100部のNo.66

[第3室]

*展示作品はI. オムニバス〈写〉に同じ

[第4室]

1. カミーユ・コロー《ヴィル・ダヴレー》 / 1835-40年 / 油彩・カンヴァス / 51.1×46.6cm
2. オノレ・ドーミエ《山中のドン・キホーテ》 / 1850年頃 / 油彩・板 / 39.6×31.2cm
3. ギュスターヴ・クールベ《雪の中を駆ける鹿》 / 1856-57年頃 / 油彩・カンヴァス / 93.5×148.8cm
4. アルフレッド・シスレー《森へ行く女たち》 / 1866年 / 油彩・カンヴァス / 65.2×92.2cm
5. カミーユ・ピサロ《ブーヅヴァルのセース河》 / 1870年 / 油彩・カンヴァス / 51.4×82.2cm
6. クロード・モネ《アルジャントゥイユの洪水》 / 1872-73年 / 油彩・カンヴァス / 54.4×73.3cm
7. クロード・モネ《雨のベリール》 / 1886年 / 油彩・カンヴァス / 60.5×73.7cm
8. エドゥワール・マネ《オペラ座の仮装舞踏会》 / 1873年 / 油彩・カンヴァス / 46.7×38.2cm
9. エドゥワール・マネ《自画像》 / 1878-79年 / 油彩・カンヴァス / 95.4×63.4cm
10. エドガー・ドガ《レオポール・ルヴェールの肖像》 / 1874年頃 / 油彩・カンヴァス / 65.0×54.0cm
11. ピエール=オーギュスト・ルノワール《すわるジョルジェット・シャルバンティエ嬢》 / 1876年 / 油彩・カンヴァス / 97.8×70.8cm
12. フィンセント・ファン・ゴッホ《モンマルトルの風車》 / 1886年 / 油彩・カンヴァス / 48.2×39.5cm
13. ポール・ゴーガン《乾草》 / 1889年 / 油彩・カンヴァス / 55.4×46.2cm
14. ポール・セザンヌ《帽子をかぶった自画像》 / 1890-94年頃 / 油彩・カンヴァス / 61.2×50.1cm
15. ポール・セザンヌ《サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール》 / 1904-06年頃 / 油彩・カンヴァス / 66.2×82.1cm
16. エドガー・ドガ《右足で立ち, 右手を地面にのばしたアラベスク》 / 1882-95年 / ブロンズ / H.27.5cm

[第5室]

ミニコーナー「水の風景」

1. ピエール・ボナール《ヴェルノン付近の風景》 / 1929年 / 油彩・カンヴァス / 63.4×62.4cm
2. クロード・モネ《睡蓮の池》 / 1907年 / 油彩・カンヴァス / 100.6×73.5cm
3. アルフレッド・シスレー《サン=メメス 六月の朝》 / 1884年 / 油彩・カンヴァス / 54.6×73.4cm
4. モーリス・ド・ヴラマンク《運河船》 / 1905-06年 / 油彩・カンヴァス / 60.2×73.0cm
5. アンリ・ルソー《イヴリール河岸》 / 1907年頃 / 油彩・カンヴァス / 46.1×55.0cm
6. 藤島武二《糸杉(ヴィラ・ファルコニエリ)》 / 1908-09年 / 油彩・カンヴァス / 39.5×36.6cm
7. クロード・モネ《黄昏, ヴェネツィア》 / 1908年頃 / 油彩・カンヴァス / 73.0×92.5cm
8. ジャン=バティスト・パテル《水浴》 / 油彩・カンヴァス / 56.7×65.5cm
9. ピエール=オーギュスト・ルノワール《すわる水浴の女》 / 1914年 / 油彩・カンヴァス / 55.0×44.2cm
10. ウジェーヌ・ブーダン《トルーヴィル近郊の浜》 / 1865年頃 / 油彩・板 / 35.7×57.7cm
11. ポール・セザンヌ《三人の水浴の女たち》 / 1874-78年頃 / 鉛筆・紙 / 16.2×14.7cm
12. ポール・セザンヌ《休息する水浴の男たち》 / 1875-77年頃 / ペン, インク, 水彩・紙 / 13.0×21.7cm
13. ポール・セザンヌ《水浴群像》 / 1897-1900年頃 / 鉛筆, 水彩・紙 / 12.6×21.0cm
14. 青木繁《天平時代》 / 1904年 / 油彩・カンヴァス / 45.3×75.5cm

[第6室]

1. オーギュスト・ロダン 《カミーユ・クロデル》 / 1889年 / ブロンズ / H.24.5cm

コーナー「パステルの魅力」

構成=宮崎克己

1. エドゥアール・マネ 《メリー・ローラン》 / 1882年 / パステル・カンヴァス / 41.6×37.1cm
2. ピエール=オーギュスト・ルノワール 《少女》 / 1887年 / パステル・紙 / 60.8×46.0cm
3. エドガー・ドガ 《踊りの稽古場にて》 / 1895-98年 / パステル・紙 / 45.9×89.8cm
4. エドガー・ドガ 《浴後》 / 1900年頃 / パステル・紙 / 62.7×68.5cm
5. クロード・モネ 《霧のテームズ河》 / 1899-1901年 / パステル・紙 / 31.1×48.0cm
6. オディロン・ルドン 《裸婦》 / パステル、鉛筆・紙 / 59.8×68.0cm
7. エドゥアール・ヴューヤール 《鏡の前》 / パステル・紙 / 32.9×24.9cm
8. モーリス・ユトリロ 《ムーラン・ド・ラ・ギャレット》 / 1933年 / 鉛筆、パステル・紙 / 26.4×30.0cm
9. 香月泰男 《えさやり》 / 墨、パステル、鉛筆・紙 / 52.5×31.9cm
10. 藤島武二 《朝の海》 / パステル・紙 / 27.2×35.7cm

[第7室]

コーナー「点の絵画」

構成=坂本恭子

1. カミーユ・ピサロ 《菜園》 / 1878年 / 油彩・カンヴァス / 55.2×45.9cm
2. ポール・ゴーガン 《馬の頭部のある静物》 / 1886年 / 油彩・カンヴァス / 49.0×38.5cm
3. ポール・シニャック 《コンカルノー港》 / 1925年 / 油彩・カンヴァス / 73.4×53.9cm
4. ポール・シニャック 《夕暮れ》 / 1898年頃 / リトグラフ / 20.3×26.2cm
5. アンリ=エドモン・クロス 《シャンゼリゼで》 / 1898年頃 / リトグラフ / 20.3×26.2cm
6. アンリ・マティス 《画室の裸婦》 / 1899年 / 油彩・厚紙 / 66.2×50.5cm
7. ピート・モンドリアン 《砂丘》 / 1909年 / 油彩、鉛筆・厚紙 / 29.6×39.1cm
8. パウル・クレー 《島》 / 1932年 / 油彩、砂を混ぜた石膏・板 / 55.2×85.2cm

[第8室]

1. アンリ・マティス 《静物》 / 1903年 / 油彩・カンヴァス / 7×9cm / 個人蔵
2. アンリ・マティス 《コリウール》 / 1905年 / 油彩・厚紙 / 24.5×32.4cm
3. アンリ・マティス 《縞ジャケット》 / 1914年 / 油彩・カンヴァス / 123.6×68.4cm
4. アンリ・マティス 《横たわる裸婦》 / 1919年 / 油彩・カンヴァス / 32.9×40.8cm
5. アンリ・マティス 《両腕をあげたオダリスク》 / 1921年 / 油彩・カンヴァス / 45.9×38.2cm
6. アンリ・マティス 《石膏のある静物》 / 1927年 / 油彩・カンヴァス / 52×64cm / 個人蔵
7. アンリ・マティス 《リュリユと犬》 / 1931年 / ペン、インク・紙 / 55.4×44.8cm
8. アンリ・マティス 《青い胴着の女》 / 1935年 / 油彩・カンヴァス / 46.0×33.0cm
9. パブロ・ピカソ 《ブルゴーニュのマルル瓶、グラス、新聞紙》 / 1913年 / 油彩、砂、新聞紙・カンヴァス / 46.3×38.4cm
10. パブロ・ピカソ 《生木と枯木のある風景》 / 1919年 / 油彩・カンヴァス / 49.4×65.4cm
11. パブロ・ピカソ 《腕を組んですわるサルタンバンク》 / 1923年 / 油彩・カンヴァス / 130.8×98.0cm
12. パブロ・ピカソ 《女の顔》 / 1923年 / 油彩、砂・カンヴァス / 46.1×38.1cm
13. ジョルジュ・ルオー 《郊外のキリスト》 / 1920-24年 / 油彩・紙 / 92.0×73.6cm
14. ジョルジュ・ルオー 《ピエロ》 / 1925年 / 油彩・紙 / 75.2×51.2cm
15. パブロ・ピカソ 《道化師》 / 1905年 / ブロンズ / H.40.6cm
16. アルベルト・ジャコメッティ 《ディエゴの胸像》 / 1954-55年 / ブロンズ / H.55.0cm

[第9室]

1. 浅井忠 《グレーの洗濯場》 / 1901年 / 油彩・カンヴァス / 33.3×45.5cm
-

-
2. 黒田清輝《ブレハの少女》/ 1891年 / 油彩・カンヴァス / 80.6×54.6cm
 3. 青木繁《海景(布良の海)》/ 1904年 / 油彩・カンヴァス / 36.6×73.0cm
 4. 藤島武二《黒扇》/ 1908-09年 / 油彩・カンヴァス / 63.7×42.4cm
 5. 岸田劉生《街道(銀座風景)》/ 1911年頃 / 油彩・カンヴァス / 33.5×45.9cm
 6. 岸田劉生《裸婦》/ 1913年 / 油彩・カンヴァス / 60.7×45.4cm
 7. 関根正二《子供》/ 1919年 / 油彩・カンヴァス / 60.9×45.7cm

ミニコーナー「パリが咲かせた個性たち」

1. モーリス・ユトリロ《サン=ドニ運河》/ 1906-08年 / 油彩・紙 / 53.4×74.5cm
2. マリー・ローランサン《二人の少女》/ 1923年 / 油彩・カンヴァス / 64.9×54.2cm
3. ケース・ヴァン・ドンゲン《シャンゼリゼ大通り》/ 1924-25年 / 油彩・カンヴァス / 68.0×52.2cm
4. カイム・スーティン《大きな樹のある南仏風景》/ 1924年 / 油彩・紙 / 49.8×60.6cm
5. アメデオ・モディリアーニ《若い農夫》/ 1918年頃 / 油彩・カンヴァス / 73.4×50.3cm
6. マルク・シャガール《ヴァンスの新月》/ 1955-56年 / グワッシュ・紙 / 64.9×50.1cm
7. 国吉康雄《横たわる女》/ 1929年 / 油彩・カンヴァス / 41.3×76.4cm
8. 藤田嗣治《猫のいる静物》/ 1939-40年 / 油彩・カンヴァス / 80.6×99.9cm
9. 藤田嗣治《ドルドーニュの家》/ 1940年 / 油彩・カンヴァス / 45.5×53.3cm
10. コンスタンティン・ブランクーシ《接吻》/ 1907-10年 / 石膏 / H.28.0cm

[第10室]

1. 国吉康雄《夢》/ 1922年 / 油彩・カンヴァス / 51.5×76.7cm
2. 小出檐重《帽子をかぶった自画像》/ 1924年 / 油彩・カンヴァス / 126.0×91.3cm
3. 小出檐重《横たわる裸身》/ 1930年 / 油彩・カンヴァス / 50.0×72.9cm
4. 佐伯祐三《テラスの広告》/ 1927年 / 油彩・カンヴァス / 54.2×65.4cm
5. 藤島武二《淡路島遠望》/ 1929年 / 油彩・カンヴァス / 53.0×72.9cm
6. 藤島武二《東海旭光》/ 1932年 / 油彩・カンヴァス / 65.2×90.9cm
7. 古賀春江《涯しなき逃避》/ 1930年 / 油彩・カンヴァス / 116.6×91.2cm
8. 古賀春江《感傷の静脈》/ 1931年 / 油彩・カンヴァス / 116.7×90.8cm
9. 安井曾太郎《F夫人像》/ 1939年 / 油彩・カンヴァス / 88×66cm / 個人蔵
10. 安井曾太郎《薔薇》/ 1932年 / 油彩・カンヴァス / 63.0×51.9cm
11. 牛島憲之《タンクの道》/ 1955年 / 油彩・カンヴァス / 60.9×91.2cm
12. 岡鹿之助《雪の発電所》/ 1956年 / 油彩・カンヴァス / 72.8×90.9cm
13. 岡鹿之助《望楼》/ 1960年 / 油彩・カンヴァス / 37.8×45.4cm

*所蔵の標記のない作品は、すべてブリヂストン美術館蔵。

〈特集展示〉

新収蔵・移管 名作選

会期：2001年1月23日(火)－4月22日(日)

会場：石橋美術館第7室, 第8室

主催：石橋財団石橋美術館

後援：久留米市 / 財団法人久留米文化振興会

出品内容：1998年から2000年にかけての購入作品4点, 寄贈受入作品13点, プリヂェストン美術館よりの移管作品25点
計42点

入場者総数：7,213人(1日平均92人)

担当＝植野健造

*館報49号(2000年度) p.25-26参照。同号記載の入場者総数6,700人を7,213人に訂正します。

関連事業：

石橋美術館の名作と俳句の出会い

会期中の2001年1月23日から2月20日まで, 展示作品から受けた印象をもとに詠まれた俳句を募集, 105名, 777句の応募があり, 選考委員によって24名, 47句が選ばれた(以上は館報49号に既出)。2001年4月3日から4月22日の期間, 入選者名を会場に掲示するとともに入選句を掲載したリーフレット(→p.89)を配布した。

担当＝田内正宏, 後藤純子

オリエントのガラスと陶器

会期：2001年4月27日(金)－7月8日(日)

会場：石橋美術館別館

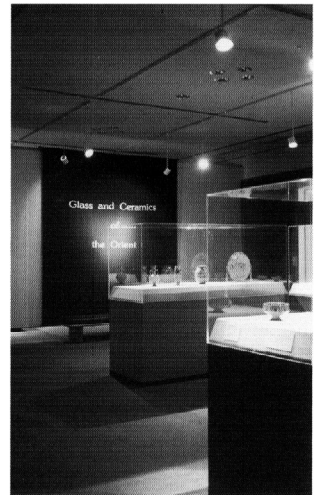
主催：石橋財団石橋美術館 / 石橋財団プリヂェストン美術館

後援：久留米市 / 財団法人久留米文化振興会

出品内容：土器3点, ガラス14点, 陶器41点 計58点

入場者総数：5,545人(1日平均88人)

担当＝平間理香



展示会場風景

出品目録：

I. 土器

1. 《幾何文台付鉢》 / イラン(テベ・シアルク) / 紀元前4千年紀(シアルクⅢ期) / H.17.9cm, D.16.2cm / cat.no.15
2. 《嘴形注口把手付壺》 / イラン(イラン北部) / 紀元前1千年紀(シアルクⅥ期) / H.9.1cm, W.19.2cm / cat.no.16
3. 《動物幾何文嘴形注口把手付壺》 / イラン / 紀元前1千年紀(シアルクⅥ期) / H.19.4cm, W.24.2cm / cat.no.17

II. ガラス

4. 《梨形長頸瓶》 / シリア・パレスチナまたはキプロス / 1世紀中葉(ローマ帝国) / H.22.4cm, W.14.2cm / cat.no.1
5. 《梨形瓶》 / シリア・パレスチナまたはキプロス / 1世紀後半(ローマ帝国) / H.12.8cm, W.9.4cm / cat.no.2
6. 《球形長頸瓶》 / シリア・パレスチナ / 2世紀中葉後半(ローマ帝国) / H.19.9cm, W.14.7cm / cat.no.3
7. 《貼付幾何文長杯》 / イラン(イラン北部) / 2-3世紀(パルティア朝またはサーサーン朝) / H.22.7cm, W.9.5cm / cat.no.4
8. 《突起文瓶》 / シリア・パレスチナ / 3世紀(ローマ帝国) / H.11.2cm, W.7.3cm / cat.no.5
9. 《突起文括碗》 / シリア・パレスチナ / 3世紀中葉後半(ローマ帝国) / H.8.6cm, W.11.7cm / cat.no.6
10. 《貼付紐文広口瓶》 / シリア・パレスチナ / 4世紀前半(ローマ帝国) / H.11.3cm, W.8.7cm / cat.no.7
11. 《貼付紐文広口瓶》 / シリア・パレスチナ / 4世紀前半(ローマ帝国) / H.7.8cm, W.7.3cm / cat.no.8
12. 《脚台把手付瓶》 / シリア・パレスチナ / 4世紀(ローマ帝国) / H.44.3cm, W.17.7cm / cat.no.9
13. 《円筒形把手付瓶》 / シリア・パレスチナ / 4世紀初頭-中葉(ローマ帝国) / H.24.8cm, W.10.4cm / cat.no.10
14. 《大皿》 / エジプト / 4世紀 / H.5.8cm, D.34.8cm / cat.no.11
15. 《円形切子碗》 / イラク / 6世紀前半(サーサーン朝) / H.8.8cm, D.11.8cm / cat.no.12
16. 《貼付線文鼓形把手付瓶》 / イラン(イラン北部) / 10世紀末(ガズニ朝) / H.19.2cm, W.14.1cm / cat.no.13
17. 《五角小瓶》 / エジプトまたはシリア? / 紀元前後?(ローマ帝国?) / H.8.1cm, W.2.4cm / cat.no.14

III. 陶器

18. 《青緑釉耳付壺》 / イラクまたはイラン / 5-7世紀(サーサーン朝) / H.17.5cm, W.22.4cm / cat.no.18
19. 《青緑釉耳付壺》 / シリア / 7世紀? / H.26.4cm, W.21.1cm / cat.no.19
20. 《白地多彩鳥文鉢》 / イラン(サーサーン朝) / 10-11世紀 / H.6.8cm, D.18.1cm / cat.no.22
21. 《白搔落象文鉢》 / イラン(ガルス) / 11-12世紀(セルジューク朝) / H.12.0cm, D.28.5cm / cat.no.23
22. 《青釉刻線文輪花鉢》 / イラン / 11世紀後半-12世紀(セルジューク朝) / H.9.1cm, D.20.0cm / cat.no.24
23. 《紫釉螢手刻線文鉢》 / イラン / 12世紀(セルジューク朝) / H.7.8cm, D.19.0cm / cat.no.25
24. 《青緑釉文字文鉢》 / イラン / 12-13世紀(セルジューク朝) / H.8.6cm, D.22.8cm / cat.no.27
25. 《青緑釉黒搔落花文鉢》 / イラン / 12-13世紀 / H.8.4cm, D.19.7cm / cat.no.28
26. 《多彩釉刻線花文台付鉢》 / 東地中海地方 / 12-13世紀?(ビザンツ帝国?) / H.9.2cm, D.14.5cm / cat.no.29
27. 《ラスター彩人物文鉢》 / イラン / 13世紀 / H.6.5cm, D.17.4cm / cat.no.30
28. 《ラスター彩幾何文鉢》 / イラン / 13世紀 / H.6.8cm, D.15.5cm / cat.no.31
29. 《ラスター彩草花文輪花鉢》 / イラン / 13世紀後半(イル・ハーン朝) / H.9.5cm, D.15.3cm / cat.no.32
30. 《白地藍黒彩花文鉢》 / イラン / 13世紀 / H.8.8cm, D.20.5cm / cat.no.34
31. 《白地多彩人物文鉢》 / イラン / 13世紀 / H.7.1cm, D.16.9cm / cat.no.36
32. 《青緑釉黒彩花文把手付壺》 / シリア(ラッカ?) / 13世紀 / H.16.1cm, W.13.1cm / cat.no.37
33. 《青緑釉黒彩壺》 / イランまたはシリア / 13-14世紀 / H.24.3cm, W.17.5cm / cat.no.38
34. 《青緑釉藍黒彩花文瓶》 / イラン / 13世紀(セルジューク朝) / H.31.4cm, W.18.6cm / cat.no.39
35. 《青緑釉ランプ》 / エジプト / 13-14世紀(マムルーク朝) / H.8.5cm, W.12.6cm / cat.no.40
36. 《青緑釉ランプ》 / エジプト / 13-14世紀(マムルーク朝) / H.8.1cm, W.11.1cm / cat.no.41
37. 《青緑釉把手付壺》 / シリア / 13-14世紀 / H.12.9cm, W.13.9cm / cat.no.42
38. 《青緑釉黒彩蔓草文八耳壺》 / イランまたはシリア / 13-14世紀 / H.18.1cm, W.22.8cm / cat.no.43
39. 《白盛上花鳥文鉢》 / イラン(スルターナバード) / 13-14世紀(イル・ハーン朝) / H.8.2cm, W.15.9cm / cat.no.44
40. 《藍釉黒彩魚文鉢》 / イラン(スルターナバード) / 13世紀後半-14世紀前半(イル・ハーン朝) / H.10.7cm, D.21.6cm / cat.no.45
41. 《白地藍緑彩花文鉢》 / イラン(スルターナバード) / 13世紀後半-14世紀前半(イル・ハーン朝) / H.11.2cm, D.21.6cm / cat.no.46
42. 《青釉黒彩花文鉢》 / イラン(スルターナバード) / 13世紀後半-14世紀前半(イル・ハーン朝) / H.10.4cm, D.21.3cm / cat.no.47
43. 《青釉文字文鉢》 / イラン / 13世紀後半-14世紀前半(イル・ハーン朝) / H.8.9cm, D.16.0cm / cat.no.48
44. 《青緑釉黒彩花文皿》 / シリア / 15-16世紀 / H.7.0cm, D.26.5cm / cat.no.50
45. 《白地藍彩花鳥文鉢》 / イラン / 17世紀(サファヴィー朝) / H.5.6cm, D.11.4cm / cat.no.51

-
46. 《白地藍彩花蔓草文壺》 / イランまたはトルコ / 17世紀 / H.12.2cm, W.11.4cm / cat.no.52
47. 《白釉多彩花文瓶》 / トルコ(キュタフィア) / 17世紀 / H.17.1cm, W.8.2cm / cat.no.53
48. 《白釉瑩手花文鉢》 / イラン / 18世紀(サファビー朝～カージャール朝) / H.6.5cm, D.19.2cm / cat.no.54
49. 《白釉刻線文鉢》 / イラン / 18世紀(サファビー朝～カージャール朝) / H.5.4cm, D.12.8cm / cat.no.55
51. 《白地多彩狩獵文柑子口瓶》 / イラン / 19世紀(カージャール朝) / H.17.5cm, D.13.5cm / cat.no.58
52. 《白地多彩人物草花文タイル》 / イラン / 19世紀(カージャール朝) / 26.3×35.1cm / cat.no.59
53. 《白地多彩人物花鳥文タイル》 / イラン / 19-20世紀?(カージャール朝?) / 54.0×36.2cm / cat.no.62
54. 《白地多彩騎馬人物文角瓶》 / イラン / 20世紀初頭(カージャール朝) / 11.7×6.9×27.1cm / cat.no.63
55. 《ラスター彩草花文皿》 / スペイン / 16世紀?(イスパニア王国?) / H.6.0cm, D.37.8cm / cat.no.参考1
56. 《ラスター彩草花文皿》 / スペイン / 16世紀?(イスパニア王国?) / H.6.9cm, D.32.7cm / cat.no.参考2
57. 《ラスター彩蔓草文瓶》 / スペイン / 17世紀?(イスパニア王国?) / H.22.8cm, W.9.0cm / cat.no.参考9
58. 《ラスター彩蔓草鳥文把手付瓶》 / スペイン / 17世紀?(イスパニア王国?) / H.24.1cm, W.13.1cm / cat.no.参考10

※寸法は、H.は高さを、W.は幅を、D.は径を表す。

関連事業：

開催記念美術講座 → p.41

広報記録：

新聞・雑誌

「西方の美しき青 オリエントのガラスと陶器」『朝日新聞』2001年4月24日
「オリエントのガラスと陶器展 きょうから」『西日本新聞』2001年4月27日(筑後版)
「中東のガラスや陶器」『読売新聞』2001年4月27日(筑後版)
「オリエント文明 ガラスと陶器 石橋財団は初めて公開」『朝日新聞』2001年5月6日
「本日限定」『西日本新聞』2001年5月9日
「展覧会案内」『広報きたの』2001年6月号
「美術館見学」『久留米教育クラブ月報』2001年 5月号

テレビ：

「知っとお福岡」NHK福岡放送局, 2001年5月29日放送

古賀春江 創作の原点—作品と資料でさぐる

2001年7月7日(土)～9月2日(日)

会場：石橋美術館第6室～第8室

主催：石橋財団石橋美術館 / 石橋財団ブリヂストン美術館

後援：久留米市 / 財団法人久留米文化振興会

出品内容：油彩・水彩25点, スケッチ21点,

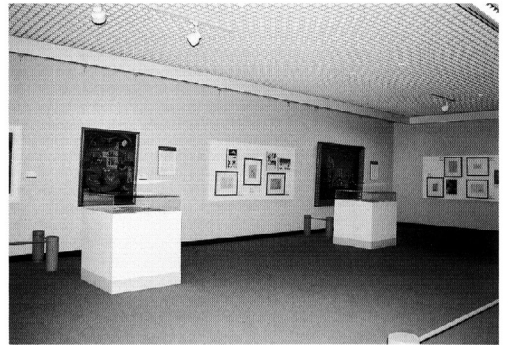
スケッチブック17点, ノート6点,

松田諦晶資料(書簡, スケッチブックなど) 7点,

参考資料 5点 計81点

入場者総数：5,263人(1日平均 105人)

担当＝森山秀子



展示会場風景

出品目録：

＊ブリヂストン美術館の項(p.6-8)参照。

関連事業：

開催記念美術講座 → p.41

広報記録：

新聞・雑誌：

「前衛画家『古賀春江展』開催へ」『西日本新聞』2001年6月27日

「出番」『西日本新聞』2001年7月6日

「『古賀春江の世界』を紹介」『読売新聞』2001年7月8日(筑後版)

「古賀春江の創作原点探る」『朝日新聞』2001年7月11日(筑後版)

米本浩二「美術—古賀春江展」『毎日新聞』2001年7月27日 夕刊

〈コーナー展示〉

作品探検―絵の裏側お見せします

2001年9月5日(水)－11月25日(日)

会場：石橋美術館第8室

出品内容：裏面にも絵が描かれている作品、画家自身による書込のある作品12点を裏面の写真とともに展示

入場者総数：6,009人(1日平均85人)

担当＝森山秀子

出品目録：

1. 藤島武二《唐様三部作》／1914年頃／左：水彩、油彩・紙；中央：水彩、油彩、パステル、木炭、チョーク・紙；右：水彩、油彩・紙／左：77.1×29.6cm；中央：75.6×64.2cm；右：77.1×29.3cm
2. 藤島武二《朝鮮婦人二題》／1914年頃／左：油彩、パステル・紙；右：油彩・紙／左：77.9×29.2cm；右：78.2×29.0cm
3. 青木繁《秋の夜》／1902年／鉛筆、淡彩・紙／14.7×19.5cm
裏面：《越後獅子》／鉛筆、淡彩
4. 青木繁《車中風景》／1902年／鉛筆、淡彩・紙／14.9×19.0cm×2枚
裏面：鉛筆によるデッサン
5. 青木繁《狂女》／1906年／鉛筆、水彩・紙／29.1×15.5cm
裏面：木炭によるデッサン
6. 小出楢重《裸婦素描》／1926年／コンテ・紙／51.2×34.5cm
裏面：コンテによる裸婦デッサン
7. 満谷国四郎《坐婦》／1913年／油彩・カンヴァス／64.8×54.8cm
カンヴァス裏面の書込(修復前)：一九十三／二月／チリツブ
8. 山下新太郎《ブルターニュの女》／1908年／油彩・板／44.0×32.2cm
板裏面の書込：ブルターニュ少女像／千九百八年作於巴里／山下新太郎「印」
9. 山下新太郎《ノラ・ファルク嬢》／1908年／油彩・カンヴァス／46.0×38.0cm
木枠中棧の書込：露国女流彫塑家NORA FALKノ像／巴里千九百零八年山下新太郎作
木枠に貼られた紙テープの書込：ノラ、ファルク嬢ハ／ロダン翁ノ高足門下ナリ
10. 坂本繁二郎《母の像》／1927年／油彩・カンヴァス／52.9×45.8cm
カンヴァス裏面上段の書込：わかゑかく／ははのしろかみ／ははのみて／かくをいしかと／いいしさみしさ
カンヴァス裏面下段の書込：画像未だ成らざるに／母は湍焉として逝く／時昭和二年十二月二十五日
たらちねのいまは夢なる／この歳をたへぬき給ふ／痛ましきをいの姿／母と云ふこのよの生命／そのは、も今は
いまさず／面影を半ばのこして／そのをまかげをなかばのこして
11. 林倭衛《フランス風景》／1924-25年頃／油彩・カンヴァス／44.6×53.7cm
カンヴァス裏面に書込：在仏／林倭衛作／小出楢重N
12. 小出楢重《裸婦》／1925年／油彩・カンヴァス／70.0×46.0cm
カンヴァス裏面の書込：裸婦NU／大正十四年二月／小出楢重／Fevrier 1925 N. Koide

〈土曜講座〉

土曜日 14:00~16:00 ホール

通算回数 月日 講座題目 講師

《地中海学会春期連続講演会 地中海世界の歴史：中世から現代へ》

企画＝高山 博氏（地中海学会、東京大学助教授）

1895	2001年 4月28日	ノルマンと地中海世界	高山 博氏
1896	5月12日	ルネサンスと地中海世界	徳橋 曜氏（富山大学助教授）
1897	5月19日	オスマン帝国と地中海世界	鈴木 董氏（東京大学教授）
1898	5月26日	地中海文明：過去と現在	樺山紘一氏（東京大学教授）

《古賀春江を解剖する》

企画＝貝塚 健

1899	6月 2日	古賀春江と1920年代の絵画	田中 淳氏（東京文化財研究所美術部）
1900	6月 9日	古賀春江の超現実主義絵画	速水 豊氏（兵庫県立近代美術館学芸員）
1901	6月16日	古賀春江：作品と資料	森山 秀子
1902	6月23日	日本近代絵画史の中の古賀春江	富山 秀男

《ジャポニズムの新世紀》

企画＝宮崎 克己

1903	6月30日	ジャポニズムとは何か	高階 秀爾氏（東京大学名誉教授）
1904	7月 7日	フランスのジャポニズム	三浦 篤氏（東京大学助教授）
1905	7月14日	モードのジャポニズム	深井 晃子氏（京都服飾文化研究財団 チーフキュレーター）
1906	7月21日	ウィーンのジャポニズム	馬淵 明子氏（日本女子大学教授）
1907	7月28日	写真とジャポニズム	横江 文憲氏（東京都庭園美術館学芸員）

《絵の中の天使たち》

企画＝塚田 美香子

1908	9月15日	ルネサンスの天使	佐々木 英也氏（東京芸術大学名誉教授）
1909	9月22日	イスラームの天使とバルシアの精霊・妖精の系譜	小林 一枝氏（早稲田大学国際部非常勤講師）
1910	9月29日	黙示録の天使—スペイン中世の天使像をめぐる—	安發 和彰氏（東北芸術工科大学助教授）
1911	10月 6日	シャガールの天使	島田 紀夫氏（実践女子大学教授、 山梨県立美術館館長）
1912	10月13日	19世紀の翼の想像力 —ギュスターヴ・モローの作品を中心に—	喜多崎 親氏（一橋大学助教授）

《地中海学会秋期連続講演会 地中海遊歴Ⅱ》

企画＝大高保二郎氏（地中海学会、早稲田大学教授）

1913	10月20日	ロマン派の地中海—スタンダール、ドラクロワ、 ジェリコー、ミュッセなど—	高階 秀爾氏
1914	10月27日	ベラスケスとイタリア遊学—古代への感興—	大高保二郎氏
1915	11月 3日	太陽を慕う者—イタリアを旅した日本人—	末永 航氏（広島女学院大学助教授）

1916	11月10日	レヴァントの虜たち —19世紀初め英仏人4人の人間模様 —————	黒木英充 氏 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教授)
1917	11月17日	ユートピアとしてのギリシャ —————	中山典夫 氏 (筑波大学教授)

《美しい書物：装幀芸術の世界》

企画＝中村節子

1918	11月24日	現代装幀の系譜と出版文化 —————	白田捷治 氏 (ジャーナリスト、 印刷文化研究者)
1919	12月 1日	装幀の現場から —————	鈴木成一 氏 (グラフィック・デザイナー)
1920	12月 8日	本は、宇宙。 —————	杉浦康平 氏 (神戸芸術工科大学教授、 グラフィック・デザイナー)
1921	12月15日	日本近代装幀史 —————	西野嘉章 氏 (東京大学総合研究博物館教授)

《美術をめぐる50年》

企画＝宮崎克己

1922	2002年 1月19日	戦後草創期の美術館—レンブラントからマティスへ —	嘉門安雄 氏 (元ブリヂストン美術館館長) 聞き手：富山秀男
1923	1月26日	私の会ったアーティストたち —ティンゲリー、オルデンバーグ、クリストなど —	中原佑介 氏 (美術評論家)
1924	2月 2日	カルチャー・アーキテクチャー —久留米から世界へ —————	菊竹清訓 氏 (建築家)
1925	2月 9日	美術館をめぐるヒロインたち —————	太田治子 氏 (作家)
1926	2月16日	回想の美術館—マネ、セザンヌ、ピカソ —————	島田紀夫 氏

《見る音楽・聴く絵画—音楽と美術をめぐる4楽章》

企画＝福満葉子

1927	2月23日	シューベルトからモンドリアンへ —近代音楽と美術のパラレルな関係？ —————	有川治男 氏 (学習院大学教授)
1928	3月 2日	神なき時代の偶像 —19世紀末におけるベートーヴェン崇拝 —————	坂本恭子
1929	3月 9日	水の精と音楽 —オンディースとメリザンドをめぐる —————	青柳いづみこ 氏 (ピアニスト、 ドビュッシー研究家)
1930	3月16日	岡鹿之助と音楽 —————	田辺 徹 氏 (成安造形大学名誉教授、前学長)

〈日曜レクチャー〉

【入門編】	日曜日	11：00～11：45
【応用編】	日曜日	14：00～14：45
【午 前】	日曜日	11：00～11：45
【午 後】	日曜日	14：00～14：45

月日	タイトル	講師	場所
2001年 5月13日	【入門編】 古賀春江ってどんな人？ —————	貝塚 健	展示室

	【応用編】古賀春江の絵の作り方	貝塚 健	展示室
5月27日	【入門編】古賀春江ってどんな人?	貝塚 健	展示室
	【応用編】古賀春江の絵の作り方	貝塚 健	展示室
6月10日	【入門編】古賀春江ってどんな人?	貝塚 健	展示室
	【応用編】古賀春江の絵の作り方	貝塚 健	展示室
6月24日	【入門編】古賀春江ってどんな人?	貝塚 健	展示室
	【応用編】古賀春江の絵の作り方	貝塚 健	展示室
7月 8日	【入門編】絵画の見方	宮崎克己	ホール
	【応用編】近代のレジャーとスポーツ	宮崎克己	ホール
7月22日	【入門編】ギリシア陶器の基本	中村るい 氏 (大妻女子大学講師)	展示室
	【応用編】ギリシア陶器を楽しむ	中村るい 氏	ホール
8月12日	【入門編】ギリシア陶器の基本	中村るい 氏	展示室
	【応用編】ギリシア陶器を楽しむ	中村るい 氏	ホール
8月26日	【入門編】絵画の見方	宮崎克己	ホール
	【応用編】写生旅行と芸術家コロニー	宮崎克己	ホール
9月23日	【入門編】アール・ヌーヴォー散策	坂本恭子	ホール
	【応用編】平面と立体—紙の上の彫刻家—	坂本恭子	展示室
10月14日	【入門編】1886年の画家たち	宮崎克己	ホール
	【応用編】農婦の図像学	宮崎克己	ホール
10月28日	【入門編】ロダンをめぐる人たち	福満葉子	ホール
	【応用編】近代彫刻を楽しむ	福満葉子	展示室
11月11日	【入門編】かたちの力—世紀末の「接吻」—	坂本恭子	ホール
	【応用編】点の絵画	坂本恭子	展示室
11月25日	【入門編】マティスの「ジャズ」について	福満葉子	展示室
	【応用編】マティスをじっくり見る	福満葉子	展示室
12月 9日	【入門編】かたちの力—世紀末の「接吻」—	坂本恭子	ホール
	【応用編】点の絵画	坂本恭子	展示室
12月23日	【入門編】マティスの『ジャズ』について	福満葉子	展示室
	【応用編】マティスをじっくり見る	福満葉子	ホール
2002年 1月20日	【午前】コレクター石橋正二郎—青木繁、坂本繁二郎との出会い—	宮崎克己	ホール
	【午後】コレクター石橋正二郎—青木繁、坂本繁二郎との出会い—	宮崎克己	ホール
1月27日	【午前】コレクター石橋正二郎—美術館への情熱—	宮崎克己	ホール
	【午後】コレクター石橋正二郎—美術館への情熱—	宮崎克己	ホール
2月10日	【午前】岡鹿之助《雪の発電所》	貝塚 健	展示室
	【午後】青木繁が描いた神話	貝塚 健	展示室
2月24日	【午前】技法から見た絵画	山口百合 (ブリヂストン美術館インターン)	展示室
	【午後】古代人の食と美	菅野美和 (ブリヂストン美術館インターン)	展示室
3月10日	【午前】日本人とヨーロッパ絵画	藤井さやか (ブリヂストン美術館インターン)	展示室
	【午後】ライオンの話	香村美樹 (ブリヂストン美術館インターン)	展示室

〈見学解説〉

2001年	5月 8日 (火)	新島村立式根島中学校	3年生7人
		大妻女子大学	15人
	5月 9日 (水)	文教大学付属高校	64人
	5月11日 (金)	横浜美術短期大学	2人
	5月13日 (日)	名古屋市立弥富中学校	3年生54人
	5月17日 (木)	中央区立月島第一小学校	5年生30人
	5月18日 (金)	安城市立桜井中学校	3年生2人
	5月22日 (火)	大館市立東中学校	3年生3人
	6月12日 (火)	名古屋市立宝神中学校	3年生2人
	6月14日 (木)	桐朋学園小学校	6年生77人
	6月20日 (水)	聖心女子学院初等科	6年生81人
	6月28日 (木)	中央区立中央小学校	4年生12人・5年生8人
	7月10日 (火)	中央区立阪本小学校	3・4年生約40人
	7月18日 (水)	NHK多摩カレッジ	約20人
	7月24日 (火)	武蔵野東小学校	6年生34人
	7月26日 (木)	日本女子大学「博物館概論」受講生	29人
	8月15日 (水)	東京国立近代美術館実習生	4人
	9月19日 (水)	長崎国際大学人間社会学部観光文化学科	18人
	10月12日 (金)	雙葉小学校	6年生84人
	10月13日 (土)	三鷹市芸術文化センター「ミュージアムたんけん」	小学生42人
	10月20日 (土)	江東区立深川第三中学校	25人
	11月18日 (日)	聖徳大学児童学科	8人
	11月20日 (火)	共立女子学園中学校	1年生141人
		桜蔭高校	1年生40人
	11月21日 (水)	多摩信用金庫宇津木台支店	190人
		共立女子中学校	1年生141人
	11月22日 (木)	共立女子中学校	1年生93人
	11月29日 (木)	東京女子大学同窓会横浜支部「美術館探訪の会」	31人
	12月20日 (木)	千葉市ことぶき大学校	28人
2002年	1月25日 (金)	家庭裁判所調査官研修(養成部第47期合同研修)	50人
	2月19日 (火)	中央区立阪本小学校	5年生12人
	3月 1日 (金)	慶應義塾婦人三田会	15人
	3月 3日 (日)	ユネスコギャラリートツアー	
	3月14日 (木)	台北駐日経済文化代表処	14人
	3月17日 (日)	台東区立東浅草小学校(児童とPTA)	10人
	3月21日 (木)	テンプル大学	18人

〈ファミリー・プログラム〉

本年度から、ファミリー・プログラム「親と子で楽しむブリヂストン美術館」を始めた。対象は、原則として小学生を含む家族とし、申込制により、参加者の人数や年齢構成にあわせたプログラムを事前準備し、インターン生を含めたチームで実施した。実施日は毎月第一日曜日とし、常設展示を用いたプログラムとしている。

【午前】10：30～12：30

【午後】14：00～16：00

2001年	7月 1日（日）	【午前】「働く人」	1家族 4人
		【午後】「働く人」	1家族 5人
	8月 5日（日）	【午前】「親子探し」	5家族15人
		【午後】「親子探し」	5家族17人
	9月 2日（日）	【午後】「オリエンテーリング」	2家族 6人
	10月 7日（日）	【午前】「オリエンテーリング2」	1家族 2人
		【午後】「オリエンテーリング2」	1家族 3人
	11月 4日（日）	【午前】「プレゼント」	1家族 3人
		【午後】「プレゼント」	2家族 6人
	12月 2日（日）	【午後】「クリスマス・プレゼント」	2家族 4人
2002年	2月 3日（日）	【午前】「不思議発見」	4家族13人
		【午後】「不思議発見」	1家族 3人
	3月 3日（日）	【午前】「なかとそと」	4家族10人
		【午後】「なかとそと」	7家族18人



プログラム「親子探し」(第3展示室にて)

〈博物館実習生の受入れ〉

学芸員資格取得のための博物館実習生を次のように受入れた。

期間：2001年7月25日～31日、8月1日～7日の各6日間

人数：実習生21名(19校)、インターン生3名 計24名

実習内容：

	10：00～11：00	11：15～12：00	13：30～15：00	15：30～17：00
第1日	オリエンテーション (塚田)	ブリヂストン美術館の沿革と現状 (富山)	美術館の運営 (宮崎)	作品収集について1 (福満)
	10：30～12：30		13：30～15：00	15：30～17：00
第2日	美術情報と文献の探索1(中村)		新カタログのこと (坂本)	実習ノート整理
第3日	展覧会企画について1(貝塚)		レジストレーション1-1 (中田)	レジストレーション1-2 (中田)
第4日	作品収集について2(福満)		講演会聴講 (坂本)	講演会聴講、感想レポート (坂本)
第5日	レジストレーション2(塚田)		保存修復 (石井)	美術情報と文献の探索2 (中村)
第6日	展覧会企画について2(貝塚)		展示デザイン (宮崎)	まとめ (宮崎)

教育普及：

土曜講座聴講, JMMA理論構築研究部会研究会聴講

保存修復：

「保存修復は保存か修復か」 石井 亨 氏(石井絵画保存修復工房)を講師として招いた。

その他：

作品返却見学：カミュー・コロー《ヴィル・ダヴレー》、ギュスターヴ・クールベ《石切場の雪景色》《雪の中を駆ける鹿》（山梨県立美術館）

〈インターンシップ〉

2001年4月1日から2002年3月31日まで、以下のようなインターンシップを行った。

このインターンシップは、原則として国内の大学院に在学し、今後美術館職員として働くことを志望している30歳以下の学生を対象にしている。本年度は教育普及部門において、館内の実務を体験しながら、美術館業務を学ぶプログラムを実施した。

インターン：

菅野美和	（東京学芸大学大学院 教育学研究科美術教育専攻修士課程）
香村美樹	（学習院大学大学院 人文科学研究科哲学専攻博士課程前期）
杉野 愛	（東京大学大学院 人文社会系研究科美術史学修士課程）
関根利奈	（成城大学大学院 文学研究科美学美術史専攻博士課程前期）
富岡進一	（成城大学大学院 文学研究科美学美術史専攻博士課程前期）
藤井さやか	（日本女子大学大学院 人間社会研究科相関文化論専攻修士課程）
山口百合	（女子美術大学大学院 美術研究科修士課程）
和田佐知子	（早稲田大学大学院 文学研究科美術史学専攻修士課程）

実習活動日：83日間

主な実習内容：美術館における教育普及活動の実務

担当者：貝塚 健, 坂本恭子

〈美術講座〉

土曜日 14:00~15:30

《特集展示「オリエントのガラスと陶器」開催記念美術講座》

- 2001年 5月12日 石橋美術館所蔵の古代ガラス ————— 谷一 尚 氏 (共立女子大学助教授)
6月 9日 ベルシア陶器の歴史 ————— 岡野智彦 氏 (財団法人中近東文化センター研究員)
*小ホール

《特集展示「古賀春江 創作の原点—作品と資料でさぐる」開催記念美術講座》

- 7月14日 古賀春江の資料を読む ————— 森山秀子
7月21日 古賀春江の芸術観 ————— 古川智次 氏 (福岡大学教授)
*集会室

《石橋美術館学芸員による美術講座1》

- 9月1日 屏風絵と秋の草花 ————— 平間理香
9月8日 明治期浪漫主義文芸と青木繁 ————— 田内正宏
*集会室

《宗達派扇面 保元平治物語絵をめぐる》

- 10月13日 保元平治物語扇面絵の修理について ————— 富永憲太郎 氏 (文化財保存修復家)
10月27日 琳派の精華 ————— 小林 忠 氏 (学習院大学教授)
*小ホール

《石橋美術館学芸員による美術講座2》

- 11月10日 富士山と日本の絵画 ————— 田内正宏
11月17日 絵画の裏側 ————— 森山秀子
*集会室

〈ギャラリートーク〉

石橋美術館：第1, 第3日曜日

石橋美術館別館：第2日曜日

各館展示室にてそれぞれ毎回テーマを替えて実施した。

時間：14:00~14:20

〈見学解説〉

- 2001年 4月11日 (日) NHK大分文化センター ————— 29人
4月29日 (日) 京都女子大学 ————— 30人
5月11日 (金) 久留米教育クラブ ————— 9人
5月18日 (金) 久留米ロータリークラブ ————— 29人
6月15日 (金) 久留米市立津福小学校 ————— 6年生116人
7月 3日 (火) 鹿児島県和泊小学校 ————— 71人
7月13日 (金) 久留米教育クラブ ————— 10人
8月28日 (火) 長崎税関三池税関支所 ————— 4人
9月 5日 (水) 福岡県立学校事務職員筑後地区研修会

9月21日（金）	久留米教育クラブ	9人
10月27日（土）	富山県立近代美術館友の会	47人
11月16日（金）	久留米教育クラブ	7人

〈学習における美術館の利用など〉

2001年	9月26日（水）	三輪町立三輪中学校3年生「トライやる三輪（職業体験学習）」	2人
	9月27日（木）		
	10月18日（木）	久留米市立南薫小学校1年生「文化センターヘレッツゴー」	
	11月14日（水）		
	10月24日（水）	久留米市小中養護学校教育研究会（美術部）	16人
	11月11日（日）	マナビイランド（久留米生涯学習フェスティバル2001）「美術館探訪」	88人（午前40人、午後48人）
	11月29日（木）	久留米市立青陵中学校1年生「一枚の絵（地域の美術作品）」	
	11月30日（金）		

2002年 1月23日（水） 久留米市立南薫小学校3年生（青木繁と古賀春江についての学習） 3人

*学校側などからの依頼により、見学解説だけでなく一歩踏み込んだ対応をしたもの、あるいは実際に出かけて対応したものがある。

〈博物館実習生の受入れ〉

学芸員資格取得のための博物館実習生を次のように受入れた。

期間：2001年8月1日～8月12日

人数：7校 8名

実習内容：

	午前（10：00～12：00）	午後（13：00～17：00）
8月 1日（水）	館長挨拶（喜多村館長） 組織と運営（郷原）	館内見学（植野、田内）
8月 2日（木）	作品の調査と調書の作成 （植野）	作品の調査と調書の作成 （植野）
8月 3日（金）	調書の整理 （白習）	作品の管理 （森山）
8月 4日（土）	企画展の開催 （森山）	企画展の開催 （森山）
8月 5日（日）	他館見学	他館見学、実習ノートの整理
8月 6日（月）	休館日 休み	
8月 7日（火）	写真の撮影 （田内）	作品の取り扱い （田内）
8月 8日（水）	作品の調査と調書の作成 （平間）	作品の調査と調書の作成 （平間）
8月 9日（木）	図書資料の整理保存 （後藤）	図書資料の整理保存 （後藤）
8月10日（金）	調書の整理 （白習）	写真の管理 （平間）
8月11日（土）	文献資料の収集 （森山）	文献資料の収集 （森山）
8月12日（日）	まとめ （植野）	実習ノートの整理、提出 （植野）

入場者数

ブリヂストン美術館

月	開館日数	有 料					無料	総計	一日平均
		一般	大・高生	中・小生	団体	合計			
4	16	66,522	5,558	3,139	253	75,472	16,796	92,268	5,767
5	26	4,705	723	426	364	6,218	142	6,360	245
6	26	5,820	1,061	186	610	7,677	466	8,143	313
7	24	3,725	941	307	299	5,272	121	5,393	225
8	27	4,591	741	1,030	413	6,775	108	6,883	255
9	16	2,323	267	78	158	2,826	124	2,950	184
10	26	2,909	291	33	460	3,693	245	3,938	151
11	24	2,929	408	135	943	4,415	245	4,660	194
12	21	2,489	424	28	180	3,121	180	3,301	157
1	21	4,778	453	87	256	5,574	424	5,998	286
2	24	9,180	589	153	344	10,266	879	11,145	464
3	18	6,862	564	111	326	7,863	1,759	9,622	535
合計	269	116,833	12,020	5,713	4,606	139,172	21,489	160,661	597

石橋美術館

月	開館日数	有 料					無料	総計	一日平均
		一般	大・高生	中・小生	団体	合計			
4	25	1,428	94	67	636	2,225	81	2,306	92
5	27	2,497	103	94	570	3,264	179	3,443	128
6	26	1,258	76	35	353	1,722	72	1,794	69
7	23	1,214	86	69	722	2,091	204	2,295	100
8	27	1,815	218	335	79	2,447	309	2,756	102
9	25	1,208	96	45	298	1,647	201	1,848	74
10	26	1,130	42	22	992	2,186	76	2,262	87
11	22	1,499	45	25	585	2,154	180	2,334	106
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	201	12,049	760	692	4,235	17,736	1,302	19,038	95

石橋美術館別館

月	開館日数	有 料					無料	総計	一日平均
		一般	大・高生	中・小生	団体	合計			
4	22	793	70	33	22	918	67	985	45
5	27	2,435	111	65	242	2,853	275	3,128	116
6	26	1,144	57	22	56	1,279	249	1,528	59
7	23	723	41	17	23	804	214	1,018	44
8	27	816	113	80	7	1,016	21	1,037	38
9	26	722	54	16	83	875	18	893	34
10	26	811	27	10	425	1,273	27	1,300	50
11	22	1,068	24	15	99	1,206	132	1,338	61
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	199	8,512	497	258	957	10,224	1,003	11,227	56

ジャコモッティ, アルベルト

GIACOMETTI, Alberto

1901-1966

アトリエ風景

鉛筆・紙

44.8×30.3cm

下部に献辞

The Studio

Pencil on paper

44.8×30.3cm

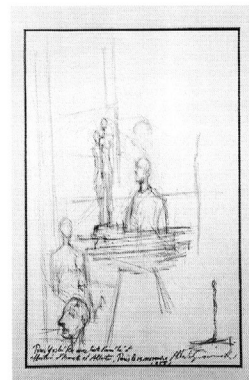
Dedicated at the bottom: *Pour Yoshiko avec toute l'amitié et/ affection d'Annette et Alberto. Paris le 13 novembre 1958, Alberto Giacometti.*

来歴：1958年, 石井好子, 東京, 作者より受贈; 2002年, 石橋財団

Prov.: 1958, ISHII Yoshiko, Tokyo, to whom given from the artist; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館(外洋204)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



歩く人

リトクレヨン(?)・紙

51.3×33.4cm

右下に署名

Walking Man

Lithographic crayon (?) on paper

51.3×33.4cm

Signed lower right: *Alberto Giacometti*

〈裏面〉

アトリエ風景

リトクレヨン(?)・紙

〈Verso〉

The Studio

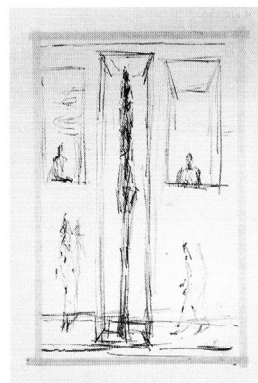
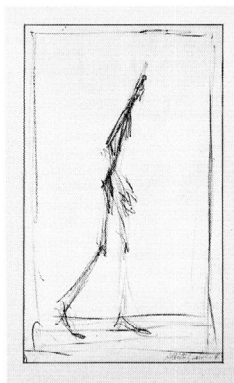
Lithographic crayon (?) on paper

来歴：1958年, 石井好子, 東京, 作者より受贈; 2002年, 石橋財団

Prov.: 1958, ISHII Yoshiko, Tokyo, to whom given from the artist; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館(外洋205)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



裏面 Verso

アネット

ペンとインク・紙

48.4×30.1cm

右下に署名

Annette

Pen and ink on paper

48.4×30.1cm

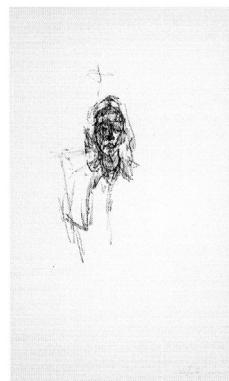
Signed lower right: *Alberto Giacometti*

来歴：1958年, 石井好子, 東京, 作者より受贈; 2002年, 石橋財団

Prov.: 1958, ISHII Yoshiko, Tokyo, to whom given from the artist; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館(外洋206)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



鈴木千久馬
SUZUKI Chikuma
1894－1980

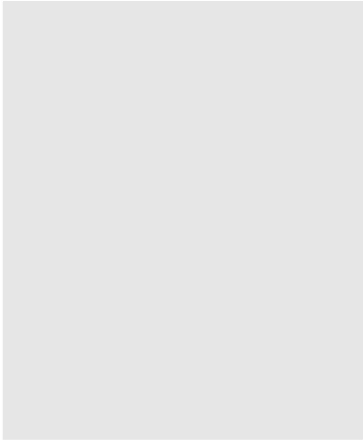
薔薇
1977年
油彩・カンヴァス
65.0×53.0cm

Roses
1977
Oil on canvas
65.0×53.0cm

来歴：石橋幹一郎; 1989, 石橋財団備品; 2001, 石橋財団美術品へ科目振替
Prov.: Ishibashi Kan'ichiro; 1989, Ishibashi Foundation; 2001, Reclassified as fine arts.

展覧会歴 Exh.: 1977, 東京都美術館「第14回太陽美術展」

保管：石橋美術館(日洋499)
Managed by the Ishibashi Museum of Art (Kurume)



豊福知徳
TOYOFUKU Tomonori
1925－

透過する立像(白)
1991年
木(マホガニー)に彩色
高さ216.0cm, 台座50.5×40.0cm

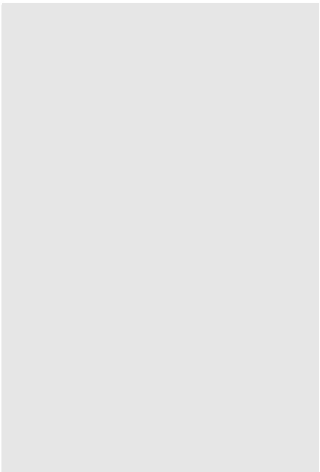
Transparent Statue, White
1991
Wood
H. 216.0cm

来歴：東京画廊; 2002, 石橋財団
Prov.: Tokyo Gallery; 2002, Ishibashi Foundation.

展覧会歴 Exh.: 1991, 久留米岩田屋新館「久留米が生んだ芸術家族 豊福知徳・和子・夏子展」

文献 Bibl.: 1997, 『豊福知徳 遙かなる漂流』 かりん文庫, 図版掲載

保管：石橋美術館(日彫19)
Managed by the Ishibashi Museum of Art (Kurume)



中村芳中

NAKAMURA Hochu

? - 1819

四季草花図扇面貼交

江戸時代

紙本着色, 二曲一双屏風

157.2×157.0cm(右隻) 157.2×157.0cm(左隻)

53.2cm(扇面(大)の幅) 40.4cm(扇面(小)の幅)

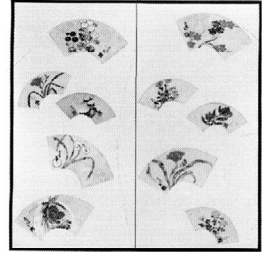
各扇面に落款・印章

Mounted Fans, Flowering Plants of Four Seasons

Color on paper ; Pair of two-fold screens

157.2×157.0cm (right screen) 157.2×157.0cm (left screen)

Signed and sealed on each screen

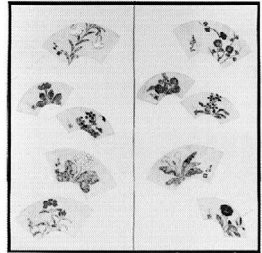


来歴：壺中居, 東京; 2001年, 石橋財団

Prov. : Kochukyo, Tokyo; 2001, Ishibashi Foundation.

保管：石橋美術館別館(日書105)

Managed by the Ishibashi Museum of Art, Asian Gallery (Kurume)



鈴木其一

SUZUKI Kiitsu

1795 - 1858

富士筑波山図

江戸時代

紙本金地墨画着色, 六曲一双屏風

128.3×274.2cm(右隻) 128.3×274.2cm(左隻)

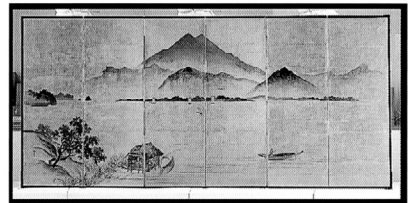
各隻に落款・印章

Mt. Fuji and Mt. Tsukuba

Sumi, color and gold-leaf on paper; Pair of six-fold screens

128.3×274.2cm (right screen) 128.3×274.2cm (left screen)

Signed and sealed on each screen

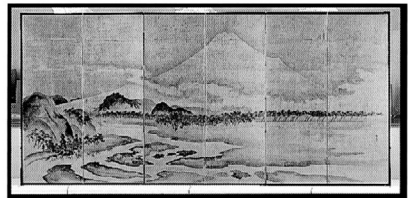


来歴：壺中居, 東京; 2001年, 石橋財団

Prov. : Kochukyo, Tokyo; 2001, Ishibashi Foundation.

保管：石橋美術館別館(日書106)

Managed by the Ishibashi Museum of Art, Asian Gallery (Kurume)



メリヨン, シャルル
MERYON, Charles
1821–1868

プチ・ボン
1850年以降
エッチング, エングレーヴィング

Petit Pont
1850 and later
Etching and engraving

24.5×18.8cm (image); 32.0×23.9cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版325)
Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



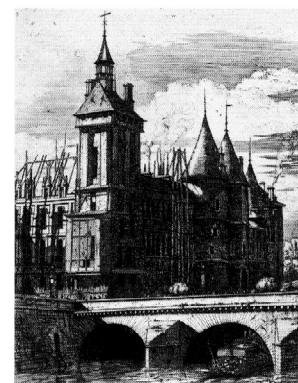
時計塔
1852年以降
エッチング, エングレーヴィング

The Clock Tower
1852 and later
Etching and engraving

24.6×18.1cm (image); 49.0×32.5cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版326)
Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



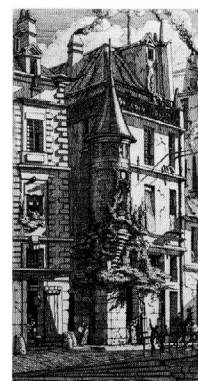
ティクセランドゥリ通りの小塔
エッチング

House with a Turret, rue de la Tixéranderie
Etching

24.8×13.0cm (image); 30.9×19.9cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版327)
Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



ノートルダムの揚水機

1852年以降

エッチング

Pompe Notre-Dame

1852 and later

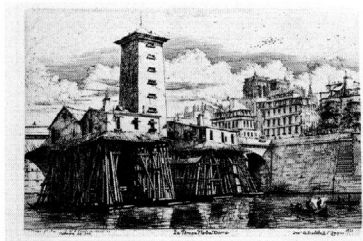
Etching

16.6×24.9cm (image); 22.6×30.3cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov. : Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版328)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



ポン=ト=シャンジュ

1854年

エッチング, ドライポイント

Pont-au-Change

1854

Etching and drypoint

14.4×32.9cm (image); 27.9×42.2cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov. : Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版329)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



屍体公示所

1854年

エッチング, ドライポイント

The Mortuary

1854

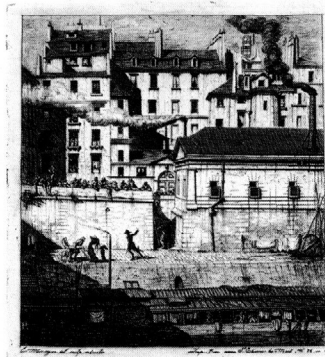
Etching and drypoint

21.3×19.0cm (image); 25.0×22.8cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov. : Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版330)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



ノートルダム寺院の後陣

1854年

エッチング、エングレーヴィング、ドライポイント

The Apse of Notre-Dame

1854

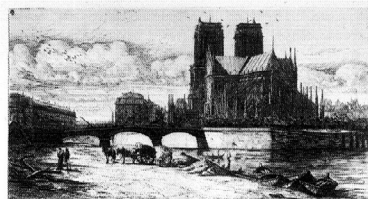
Etching, engraving, and drypoint

14.8×28.9cm (image); 27.9×40.3cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ、東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館(外版331)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



1621年の火災後のポン=ト=シャンジュの歩道橋 [デッラ・ベッラに基づく]

1860年

エッチング

The Footbridge Temporarily Replacing the Pont-au-Change, after the Fire of 1621 [after della Bella]

1860

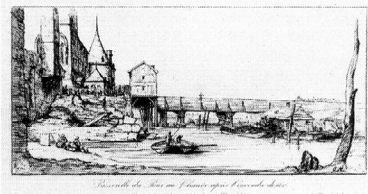
Etching

9.5×20.0cm (image); 18.7×27.9cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ、東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館(外版332)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



レコール・ド・メドゥシヌ通り22番地の小塔

1861年以降

エッチング、ドライポイント

House with a Turret, No.22, rue de l'Ecole de Médecine

1861 and later

Etching and drypoint

19.0×10.1cm (image); 50.4×33.8cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ、東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館(外版333)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



レ・シャントル通り

1862年
エッチング

Rue des Chantres

1862
Etching

28.8×12.1cm (image); 50.4×34.7cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov. : Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版334)
Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



アンリ四世校

1863-64年
エッチング
第5ステート

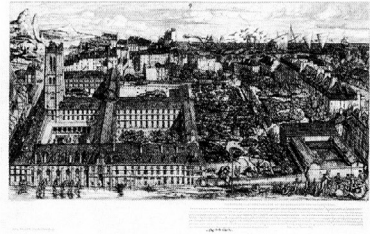
Collège Henri IV

1863-64
Etching
Fifth State

22.1×41.6cm (image); 41.6×49.7cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov. : Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版335)
Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



アンリ四世校

1863-64年
エッチング
第10ステート

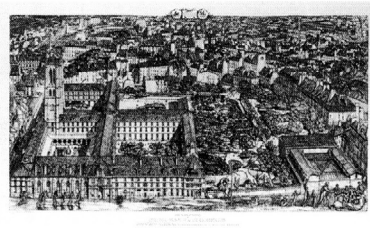
Collège Henri IV

1863-64
Etching
Tenth State

22.7×41.6cm (image); 35.5×52.0cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov. : Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版336)
Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



シュヴリエ水浴場

1864年

エッチング

Chevrier's Cold Bath Establishment

1864

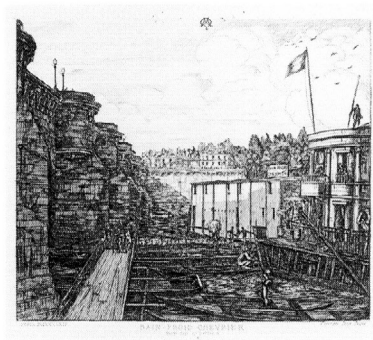
Etching

12.1×13.8cm (image); 25.0×32.9cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版337)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



海軍省

1865年

エッチング

The Admiralty

1865

Etching

14.0×12.8cm (image); 48.5×32.6cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版338)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



昔日のルーヴル [ゼーマンに基づく]

1865-66年

エッチング

The Old Louvre [after Zeeman]

1865-66

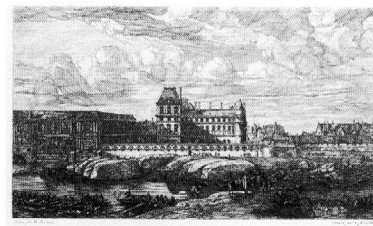
Etching

14.0×24.7cm (image); 22.1×28.1cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団
Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館 (外版339)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



シャルパンティエ, アレクサンドル

CHARPENTIER, Alexandre

1856 – 1909

ヴァイオリンを弾く少女

『レスタンプ・オリジナル』第7号(1894年)所収

リトグラフ, 空押し

The Girl with a Violin

L'Estampe originale, Album VII, 1894

Lithograph and embossing

26.0×39.6cm (image); 42.8×60.0cm (paper)

来歴：ガレリア・グラフィカ, 東京; 2002年, 石橋財団

Prov.: Galleria Grafica, Tokyo; 2002, Ishibashi Foundation.

保管：ブリヂストン美術館(外版421)

Managed by the Bridgestone Museum of Art (Tokyo)



〈寄贈〉

2002年3月25日, 吉田光男氏より, 下記の西洋の版画81点が石橋財団に寄贈された。これらの作品はブリヂストン美術館に保管される。

The following eighty-one European prints were donated by Mr. YOSHIDA Mitsuo to the Ishibashi Foundation on March 25, 2002. These prints are to be managed by the Bridgestone Museum of Art.

アルデグレーファー, ハインリッヒ
ALDEGREVER, Heinrich
1502 - c.1558

『ロトと娘たち』
1555年
エングレーヴィング

Lot and His Daughters
1555
Engraving

ソドムを去るロトとその家族

Lot and His Family Leaving Sodom

11.4×8.1cm

外版342



ロトと娘たち

Lot with His Daughters

11.5×8.2cm

外版343



天使を迎えるロト

Lot Welcomes the Angels

11.4×8.1cm

外版340



ブレスダン, ロドルフ
BRESLIN, Rodolphe
1822 - 1885

ソドムの人々の暴力を諫めるロト

Lot Prevents the Inhabitants of Sodom from Violence

11.6×8.2cm

外版341



死の喜劇

1854年

リトグラフ

The Comedy of Death

1854

Lithograph

21.2×15.1cm (image);
40.4×28.3cm (paper)

外版344



フランドルの室内

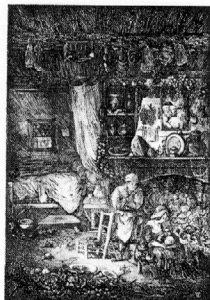
1856年
エッチング

Flemish Interior

1856
Etching

15.8×10.6cm (image);
32.1×24.6cm (paper)

外版345



溪谷の流れ

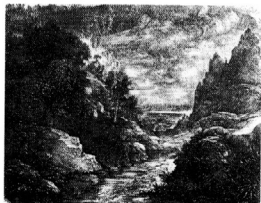
1871年
リトグラフ

The Stream in the Gorge

1871
Lithograph

11.1×14.7cm (image);
18.6×27.9cm (paper)

外版349



善きサマリア人

1861年
リトグラフ

The Good Samaritan

1861
Lithograph

56.7×44.5cm (image);
76.3×57.6cm (paper)

外版346



魔法の家

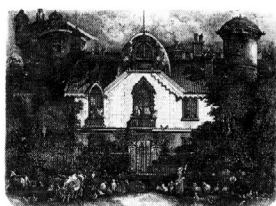
1871年
リトグラフ

The Enchanted House

1871
Lithograph

17.2×24.4cm (image);
30.1×43.5cm (paper)

外版350



『ラ・ルヴェ・ファンテジスト』
の口絵

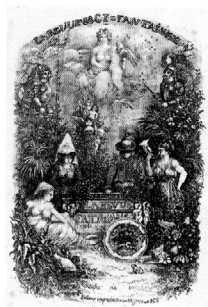
1861年
エッチング

Frontispiece of *La Revue
fantaisiste*

1861
Etching

19.5×12.2cm (image);
21.4×16.3cm (paper)

外版347



驢馬のいるエジプトへの
逃避途上の休息

1878年
エッチング

The Rest on the Flight into
Egypt with a Loaded Donkey

1878
Etching

22.9×20.0cm (image);
42.2×33.2cm (paper)

外版351



村の入り口

エッチング

Entrance to a Village

Etching

14.9×10.1cm (image);
21.3×13.8cm (paper)

外版348



カエサルと囚人たち

1878年
リトグラフ

Caesar and His
Prisoners

1878
Lithograph

15.8×21.6cm (image);
17.3×22.1cm (paper)

外版352



川の流れ
1880年
エッチング

The Stream
1880
Etching

13.7×21.0cm (image);
14.4×21.6cm (paper)

外版353



ジプシーの行進：
後衛部隊
(連作『ジプシー』より)
エッチング

The Bohemians
Marching: The Rear
Guard (from *The Gypsies*)
Etching

12.4×23.8cm

外版356

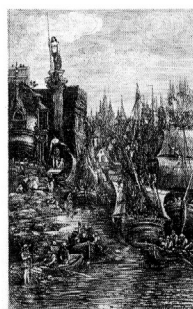


私の夢
1883年
エッチング

My Dream
1883
Etching

18.5×11.9cm (image);
37.5×26.0cm (paper)

外版354

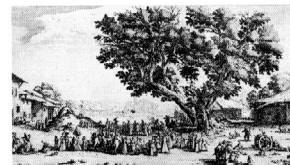


ゴンドルヴィルの市
エッチング

The Fair at
Gondreville
Etching

19.2×33.6cm (image);
20.6×35.1cm (paper)

外版357



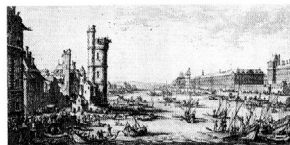
カロ、ジャック
CALLOT, Jacques
1592 - 1635

ルーヴル宮眺望
(『パリ二大景観』より)
エッチング

View of the Louvre
(from *The Two
Great Views of Paris*)
Etching

16.7×33.7cm (image); 22.0×39.4cm (paper)

外版358



大狩猟
エッチング

The Great Hunting
Etching

18.9×46.0cm

外版355

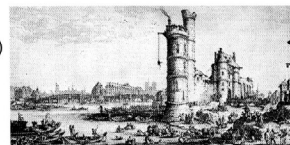


ボン・ヌフ眺望
(『パリ二大景観』より)
エッチング

View of Pont-Neuf
(from *The Two
Great Views of Paris*)
Etching

15.8×33.5cm (image); 18.3×35.5cm (paper)

外版359

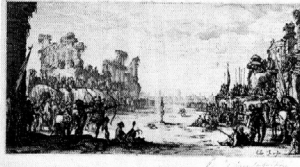


聖セバスティアヌスの殉教
エッチング

The Martyrdom of
Saint Sebastian
Etching

16.3×32.8cm (image); 20.8×36.8cm (paper)

外版360



カルピ, ウーゴ・ダ
CARPI, Ugo da
c.1480 – 1523

英雄と巫女 あるいは ラファエッロ
と愛人 [ラファエッロに基づく]
木版 (キアロスクーロ)

Hero and Sibyl or Raffaello and
His Mistress [after Raffaello]
Woodcut (chiaroscuro)

31.4×23.3cm

外版363



カルヴァート, エドワード
CALVERT, Edward
1799 – 1883

デューラー, アルブレヒト
DÜRER, Albrecht
1471 – 1528

三羽の兎のいる聖家族
1498年
木版

The Holy Family with
Three Hares
1498
Woodcut

39.3×28.6cm

外版364



林檎酒の祭り
1828年
木口木版

The Cider Feast
1828
Wood-engraving

7.6×12.8cm (image); 26.9×36.6cm (paper)

外版361



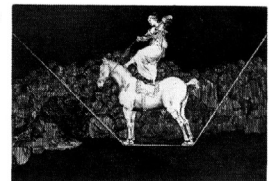
ゴヤ・イ・ルシエンテス,
フランシスコ・ホセ・デ
GOYA Y LUCIENTES,
Francisco José de
1746 – 1828

几帳面の妄 (『妄』より)
1815-24年頃
エッチング, アクアチント

Punctual Folly (from *Disparates*)
c.1815-24
Etching and aquatint

21.8×32.6cm (image); 30.0×41.8 cm (paper)

外版365

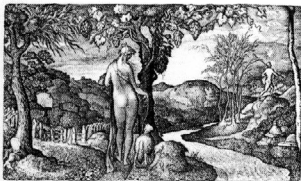


花嫁
木口木版

Bride
Wood-engraving

7.6×12.6cm (image);
21.3×27.3cm (paper)

外版362



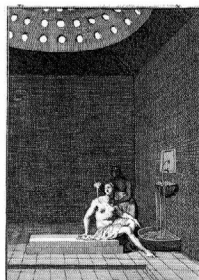
ホガース, ウィリアム
HOGARTH, William
1697 – 1764

トルコ風呂
エングレーヴィング

A Turkish Bath
Engraving

25.1×17.2cm (image);
26.0×18.2cm (paper)

外版366



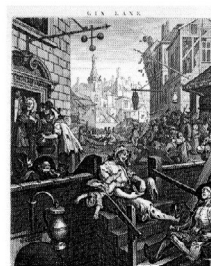
ジン横丁
(['ビール街とジン横丁']より)
1751年
エッチング、エングレーヴィング

Gin Lane
(from *Beer Street and
Gin Lane*)
1751

Etching and engraving

36.0×30.5cm (image); 64.0×49.0cm (paper)

外版370



居酒屋の情景
(['放蕩息子の生涯』第3図)
エッチング、
エングレーヴィング

The Tavern Scene
(from *The Rake's
Progress* Plate III)
Etching and engraving

31.7×39.1cm (image); 48.6×64.0cm (paper)

外版367



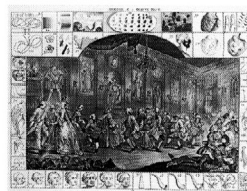
『美の分析』第2図
1753年
エッチング、
エングレーヴィング

The Analysis of Beauty
Plate II
1753

Etching and engraving

37.4×50.2cm (image); 48.7×63.9cm (paper)

外版371



昼(['一日の四時』より)
エッチング、エングレーヴィング

Noon (from *The Four Times
of the Day*)
Etching and engraving

45.4×38.1cm (image);
64.0×48.5cm (paper)

外版368



クリンガー、マックス
KLINGER, Max
1857 - 1920

『アモールとプシュケ』(作品V)
1880年刊

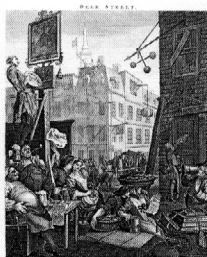
Cupid and Psyche (Opus V)
Published in 1880

ビール街
(['ビール街とジン横丁']より)
1750年
エッチング、エングレーヴィング

Beer Street (from *Beer
Street and Gin Lane*)
1750
Etching and engraving

36.0×30.2cm (image);
63.9×48.4cm (paper)

外版369



アモールの幼年時代
エッチング、アクアチント

The Young Cupid
Etching and aquatint

25.2×17.4cm (image);
42.7×31.5cm (paper)

外版372



アモールにプシュケを
指し示すヴィーナス
エッチング、アクアチント

Venus Indicating Psyche
Etching and aquatint

25.6×17.3cm (image);
35.8×26.4cm (paper)

外版373



ランプを持つプシュケ
エッチング、アクアチント

Psyche Holding a Lampe
Etching and aquatint

25.5×17.3cm (image);
35.8×26.7cm (paper)

外版377

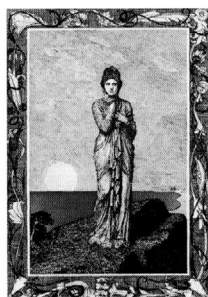


岸壁の上のプシュケ
エッチング、アクアチント

Psyche on the Cliff
Etching and aquatint

25.6×17.4cm (image);
36.0×25.8cm (paper)

外版374



置き去りにされたプシュケ
エッチング、アクアチント

Psyche Left Behind
Etching and aquatint

25.6×17.4cm (image);
35.8×25.9cm (paper)

外版378

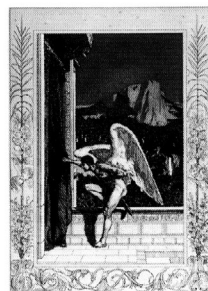


アモールの到着
エッチング、アクアチント

Cupid Coming
Etching and aquatint

25.8×17.6cm (image);
35.7×25.6cm (paper)

外版375

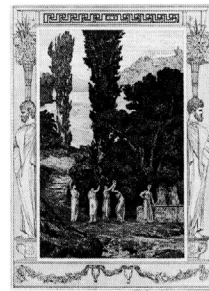


さまよえるプシュケ
エッチング、アクアチント

Psyche Wandering
Etching and aquatint

25.7×17.5cm (image);
35.9×26.1cm (paper)

外版379

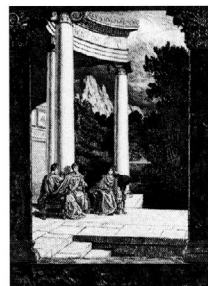


プシュケと姉たち
エッチング、アクアチント

Psyche and Her Sisters
Etching and aquatint

25.6×17.5 cm (image);
36.6×26.4cm (paper)

外版376

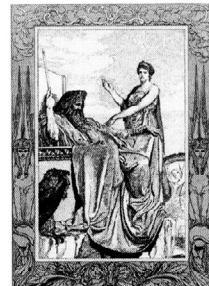


ユピテルとヴィーナス
エッチング、アクアチント

Jupiter and Venus
Etching and aquatint

25.6×17.4cm (image);
36.0×25.8cm (paper)

外版380



プシュケとヴィーナス
エッチング、アクアチント

Psyche and Venus
Etching and aquatint

25.9×17.4cm (image);
36.0×27.0cm (paper)

外版381



ユピテルとアモール
エッチング、アクアチント

Cupid by Jupiter
Etching and aquatint

25.7×17.4cm (image);
35.9×25.9cm (paper)

外版385

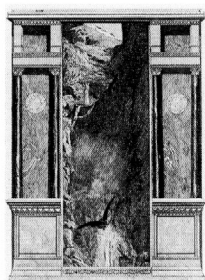


プシュケとユピテルの鷲
エッチング、ルーレット

Psyche and the Jupiter's Eagle
Etching and roulette

25.3×18.1cm (image);
35.8×26.0cm (paper)

外版382

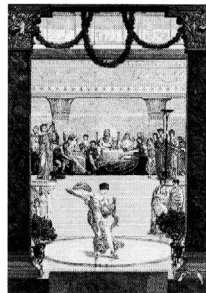


アモールとプシュケの
結婚の祝宴
エッチング、アクアチント

Wedding Feast of Cupid and
Psyche
Etching and aquatint

25.3×17.4cm (image);
35.8×26.8cm (paper)

外版386

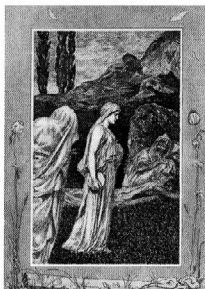


冥界のプシュケ
エッチング、ルーレット、
アクアチント

Psyche in Tartarus
Etching, roulette and aquatint

25.7×17.5cm (image);
36.0×25.9cm (paper)

外版383



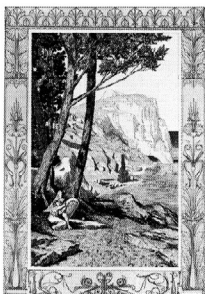
ラブルール、ジャン=エミール
LABOUREUR, Jean-Emile
1877-1943

プシュケを見つけるアモール
エッチング、アクアチント

Cupid Finding Psyche
Etching and aquatint

25.6×17.5cm (image);
36.8×25.8cm (paper)

外版384

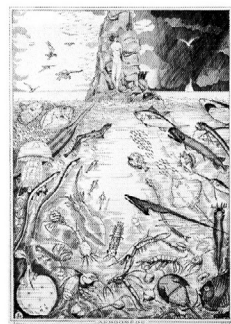


アンドロメダ
1935年
エングレーヴィング

Andromeda
1935
Engraving

48.1×33.0cm (image);
65.2×50.0cm (paper)

外版387



水浴の女と鷗
エッチング

Bather with Gulls
Etching

21.0×16.1cm (image);
32.6×25.0cm (paper)

外版388



神の裁き

The Judgement
of the Almighty

19.0×29.0cm (image);
29.6×43.2cm (paper)

外版391



マーチン, ジョン
MARTIN, John
1789 - 1854

『聖書』
1838年刊
メゾチント

The Bible
Published in 1838
Mezzotint

楽園追放

The Expulsion from
Paradise

19.6×29.1cm (image);
29.5×43.3cm (paper)

外版392



天地創造

The Creation

19.2×29.2cm (image);
29.5×43.3cm (paper)

外版389

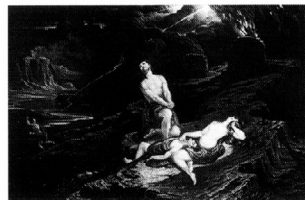


アベルの死

The Death of Abel

19.0×29.6cm (image);
29.5×43.2cm (paper)

外版393



人間の墮落

The Fall of Man

18.3×29.2cm (image);
29.6×43.2cm (paper)

外版390



大洪水

The Deluge

19.6×28.9cm (image);
29.5×43.0cm (paper)

外版394



ノアの燔祭

God's Covenant
with Noah

18.9×29.1cm (image);
29.5×43.1cm (paper)

外版395



第七の災い

The Seventh Plague

19.2×28.9cm (image);
29.5×43.2cm (paper)

外版399

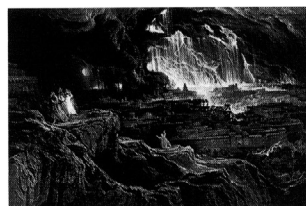


ソドムとゴモラの
滅亡

The Destruction of
Sodom and
Gomorrah

19.1×29.2cm (image);
29.5×43.1cm (paper)

外版396

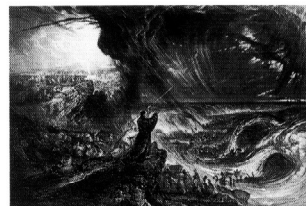


ファラオの軍勢の
殲滅

The Destruction of
Pharaoh's Host

18.9×28.4cm (image);
29.6×43.2cm (paper)

外版400



モーセを見つめる
ファラオの娘

The Daughter of
Pharaoh Finding
Moses

18.9×29.1cm (image);
29.6×43.2cm (paper)

外版397



十戒の石板を割る
モーセ

Moses Breaketh the
Tables

18.8×29.1cm (image);
29.5×43.3cm (paper)

外版401



モーセと燃える柴

Moses and the
Burning Bush

18.9×28.3cm (image);
29.6×43.2cm (paper)

外版398



エリコの城壁の陥落

Fall of the Walls of
Jericho

19.1×29.1cm (image);
29.6×43.2cm (paper)

外版402



太陽の運行をとめる
ヨシュア

Joshua Commanding
the Sun to Stand Still

19.2×29.1cm (image);
29.5×43.2cm (paper)



外版403

バビロンの滅亡

Fall of Babylon

19.1×29.1cm (image);
29.5×43.2cm (paper)

外版407



ハキラの丘でサウルを
見逃すダヴィデ

David Spareth
Saul at Hachilah

18.9×28.4cm (image);
29.5×43.2cm (paper)



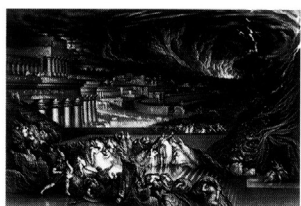
外版404

ニネヴェの滅亡

Fall of Nineveh

19.4×29.0cm (image);
29.5×43.2cm (paper)

外版408



イスラエルの囚われ人

The Captives
Israelites

18.7×28.9cm (image);
29.6×43.2cm (paper)



外版405

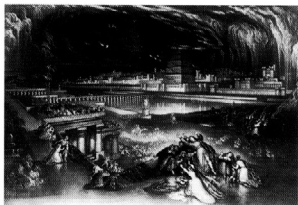
パーマー, サミュエル
PALMER, Samuel
1805 - 1881

ベルシャザルの酒宴

Belshazzar's Feast

19.0×28.9cm (image);
29.5×43.3cm (paper)

外版406



人生の朝
1860-61年
エッチング

Morning of Life
1860-61
Etching

14.7×21.6cm (image);
24.9×36.4cm (paper)

外版409



羊飼いの小屋 あるいは 日没
1850年
エッチング

Herdsmen's Cottage or Sunset
1850
Etching

9.7×7.7cm (image);
43.4×29.3cm (paper)

外版410

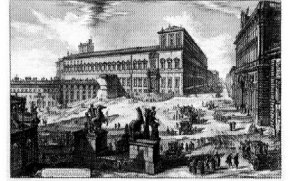


ピアッツァ・ディ・
モンテ・カヴァッロ
(『ローマの景観』より)
エッチング

View of the Piazza
di Monte Cavallo
(from *Views of Rome*)
Etching

47.0×70.0cm (image); 53.4×78.3cm (paper)

外版413



ピラネージ, ジョヴァンニ・バッティスタ
PIRANESI, Giovanni Battista
1720 – 1778

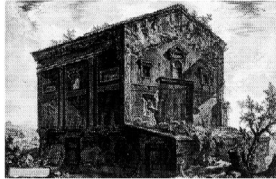
サーンレダム, ヤン・ピーテルス
SAENREDAM, Jan Pietersz
1565 – 1607

カメーネ神殿
(『ローマの景観』より)
エッチング

View of the
Tempio delle Camene
(from *Views of Rome*)
Etching

46.5×69.7cm (image); 47.6×70.9cm (paper)

外版411



ヴィーナス, クビド, 画家
[ホルツィウスに基づく]
エングレーヴィング

Venus, Cupid, and Painter
[after Goltzius]
Engraving

24.5×18.5cm (image);
26.5×20.1cm (paper)

外版414



ゼウス神殿
(『ローマの景観』より)
エッチング

View of the Tempio di
Giove Tonante
(from *Views of Rome*)
Etching

40.0×60.0cm (image); 53.4×78.1cm (paper)

外版412

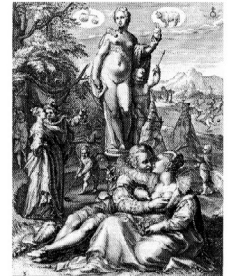


ヴィーナスの星
[ホルツィウスに基づく]
エングレーヴィング

The Planet-Venus
[after Goltzius]
Engraving

23.7×17.6cm

外版415



朝(『一日の四時』より)

[ホルツィウスに基づく]

1601年

エングレーヴィング

Morning (from *The Four Times of the Day*)

[after Goltzius]

1601

Engraving

21.2×15.0cm (image);

27.8×21.4cm (paper)

外版416



ティソ, ジェイムズ

TISSOT, James

1836-1902

もの思い

1881年

エッチング

Reverie

1881

Etching

22.6×11.4cm (image);

32.7×23.4cm (paper)

外版420



昼(『一日の四時』より)

[ホルツィウスに基づく]

1601年

エングレーヴィング

Noon (from *The Four Times of the Day*) [after Goltzius]

1601

Engraving

21.2×15.1cm (image);

27.8×21.7cm (paper)

外版417



夕べ(『一日の四時』より)

[ホルツィウスに基づく]

1601年

エングレーヴィング

Evening (from *The Four Times of the Day*)

[after Goltzius]

1601

Engraving

21.3×15.1cm (image);

21.6×15.3cm (paper)

外版418



夜(『一日の四時』より)

[ホルツィウスに基づく]

1601年

エングレーヴィング

Night (from *The Four Times of the Day*)

[after Goltzius]

1601

Engraving

21.2×15.1cm (image);

27.8×21.7cm (paper)

外版419



〈青木繁書簡等資料〉

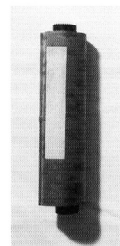
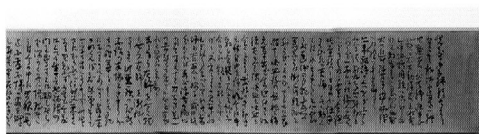
1. 青木繁書簡

明治43年11月22日付 青木鶴代、たよ子宛

紙本墨書, 卷子装

書簡部分：17.4×220.9cm

封筒部分：17.4×14.8cm



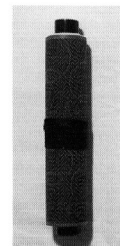
2. 青木まさを書簡

明治44年12月24日消印 福田豊吉宛

紙本墨書, 卷子装

書簡部分：18.5×303.4cm

封筒部分：18.5×16.0cm



3. 青木繁(幸彦を抱いた)写真

明治38年9月撮影

写真：9.0×5.9cm

台紙：12.5×8.4cm



4. 青木繁写真

明治40年頃撮影

写真：11.0×7.8cm

台紙：16.0×11.0cm

Materials of AOKI Shigeru

1. Letter paper by AOKI Shigeru dated November 22, 1910
2. Letter paper by AOKI Masao postmarked December 24, 1911
3. Photograph of AOKI Shigeru
4. Photograph of AOKI Shigeru

保管：石橋美術館

Managed by the Ishibashi Museum of Art (Kurume)

*本資料は図書費による購入。

新収図書

ブリヂストン美術館

	購入	寄贈	計
和書	128冊	38冊	166冊
洋書	131冊	39冊	170冊
計	259冊	77冊	336冊

(展覧会図録・逐次刊行物は含まない)

石橋美術館・石橋美術館別館

	購入		寄贈	計
	石橋美術館	石橋美術館別館		
和書	114冊	26冊	62冊	202冊
洋書	0冊	0冊	2冊	2冊
漢書	0冊	0冊	2冊	2冊
計	114冊	26冊	66冊	206冊

(展覧会図録・逐次刊行物は含まない)

*1995年度収蔵の谷口鉄雄(元・石橋美術館館長)記念文庫は整理を完了し，2002年3月内部資料用に目録を作成。
その内訳は以下のとおり。

和書	漢書	洋書	計
4,714	6,351	262	11,327

(単位：データ)

エジプト《彩色木棺》

紀元前13世紀

木に彩色

110.1cm(最大高さ)

42.6cm(最大幅)

17.1cm(最大厚さ)

ブリヂストン美術館

作品の構造

作品は彩色木棺の蓋。幅の狭い板材を継ぎ合わせてから彫刻し、表面に彩色が施されている。頭部などの厚い部分では二層に貼り合わされている。板材の接合には断面の丸い木釘が用いられている (fig.1, 2)。内側は削られているだけで彩色は無い。表側は、板材の継ぎ目や板目を消すためのドロ状の材料が塗り込まれているように観察される。彩色の下地にはほとんどの部分で白土様の白色地塗りが施されている。厚みは1mm前後。顔左右の髪部分は日干し煉瓦に似た質感の盛り上げがされている。ドロ状の粘土に木くずや麻繊維を練り込んで成形した物かもしれない。盛り上げはかなり厚く、頭部損傷部の観察によると厚い部分で12~13mmある。髪部分は荒い質感の盛り上げの上に白色下地が施され彩色されている。

彩色層の表面には香油が変質した物か、黄褐色に変色し、むらになった塗膜がある。

頭部裏面にはヒートンと細紐が残っており、以前は壁に立てて架けられ展示されていたと思われる。現状では、棺の蓋裏面の中央付近とやや下方の2ヶ所に、凹みに沿わせた当て木が付けられている。作品はこの当て木部分で台板(麻布を貼った9mm厚のラワン材)に固定され

(マイナスの木ネジで台板裏面からねじ留め)、展示ケースに横にされて収納されている (fig.3)。

損傷状態

彩色木棺蓋には、木部の収縮やそれに伴う接合部の割れ、外圧や冠水による損傷(打ち傷・擦り傷・圧迫痕・浮き上がり・剥落)などが随所に認められる。頭部付近には打ち傷など外圧による損傷が多い (fig.4)。損傷はかなり古い物と思われる。損傷部分表面には埃や汚れが付着し暗色化している。足下部分の損傷も目立つ。

冠水に起因する損傷は比較的新しいものであろう。垂れ跡の方向から推測すると冠水は作品が縦に保存されていた時期のものと思われる。損傷部分には水に溶けた白土様の白色地が下方に流れ出し彩色層表面を汚している。主に左の体側部など、冠水の多かったと推測される部分には黴あるいは結晶の析出も認められる。それらの部分には小さな点状の彩色層の損傷も認められる (fig.5, 6)。

彩色層の固着は弱く、随所で剥離・剥落している。剥落した絵具片は損傷部周辺に散乱している (fig.7)。埃汚れの付着も多い。

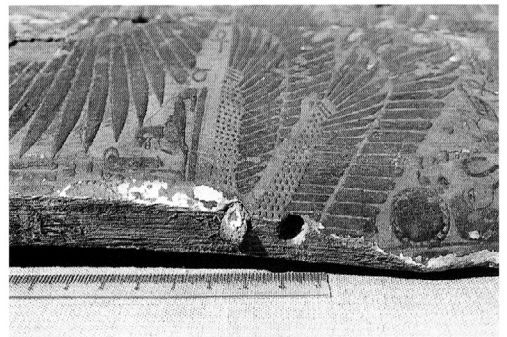


fig.2 板材接合のための木釘と穴

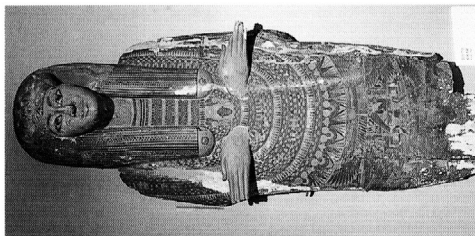


fig.1 修復前全図

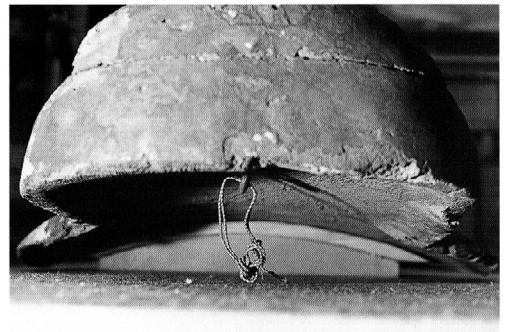


fig.3 頭部裏面のヒートンと紐・台板への取り付けのための当て木

裏面の板材継ぎ目部分は、以前に麻布を貼り付ける事で修理されている(近年の修理ではない)。

処置の目的と方針

剥離・剥落した彩色層が輸送時に失われないことを処置の目的とする。剥離部分(冠水部分や板材の割れ付近)の剥落留めをする。剥落し周囲に散乱した彩色層の断片を出来る限り当初の位置に戻す。

接着剤は濡れ色等の色調の変化を起こしにくいもので、黴の発生等の二次被害を起こさず、経年による変質・変色等の少ないメチルセルロースを主に使用する。後の分析調査などに影響の無いよう処置範囲は限定的で接着

剤の使用は極少量とする。処置範囲や用いた材料を詳細に記録する。

処置内容

- ・写真撮影および状態調査
- ・浮き上がり部分の接着と固定(メチルセルロースA4CとA15Cの2%水溶液・パラロイドB72 10%トルエン溶液)(fig.8)
- ・析出物や埃の除去(fig.9)
- ・処置後の写真撮影および報告書の作成

(小林絵画保存修復工房 小林嘉樹)

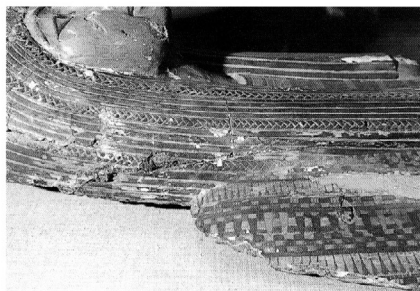


fig.4 顔付近の側面の損傷状態



fig.5 冠水部分の損傷
(絵具層の浮き上がり・剥落)



fig.6 同部分測光線図
(絵具層浮き上がりの様子)

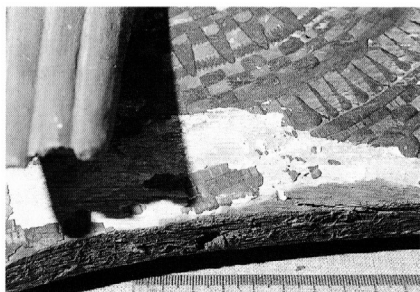


fig.7 剥落散乱した絵具片

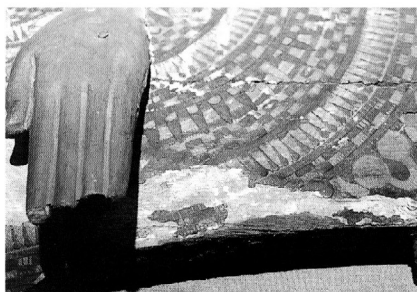


fig.8 剥落留め後(散乱した絵具片を当初の位置に戻し接着固定)

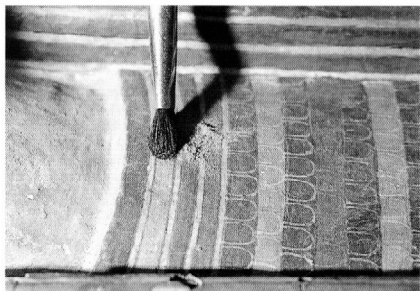
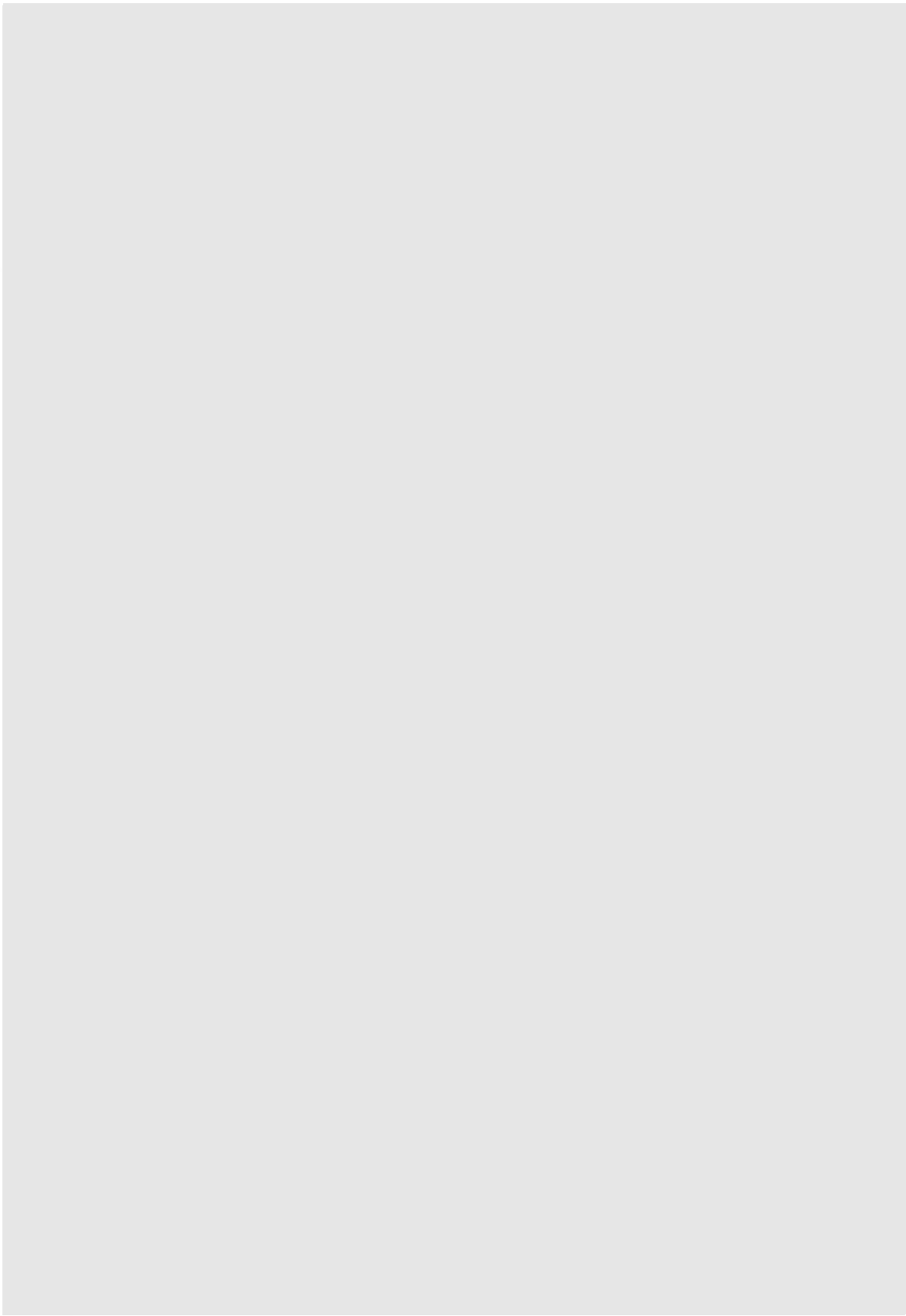
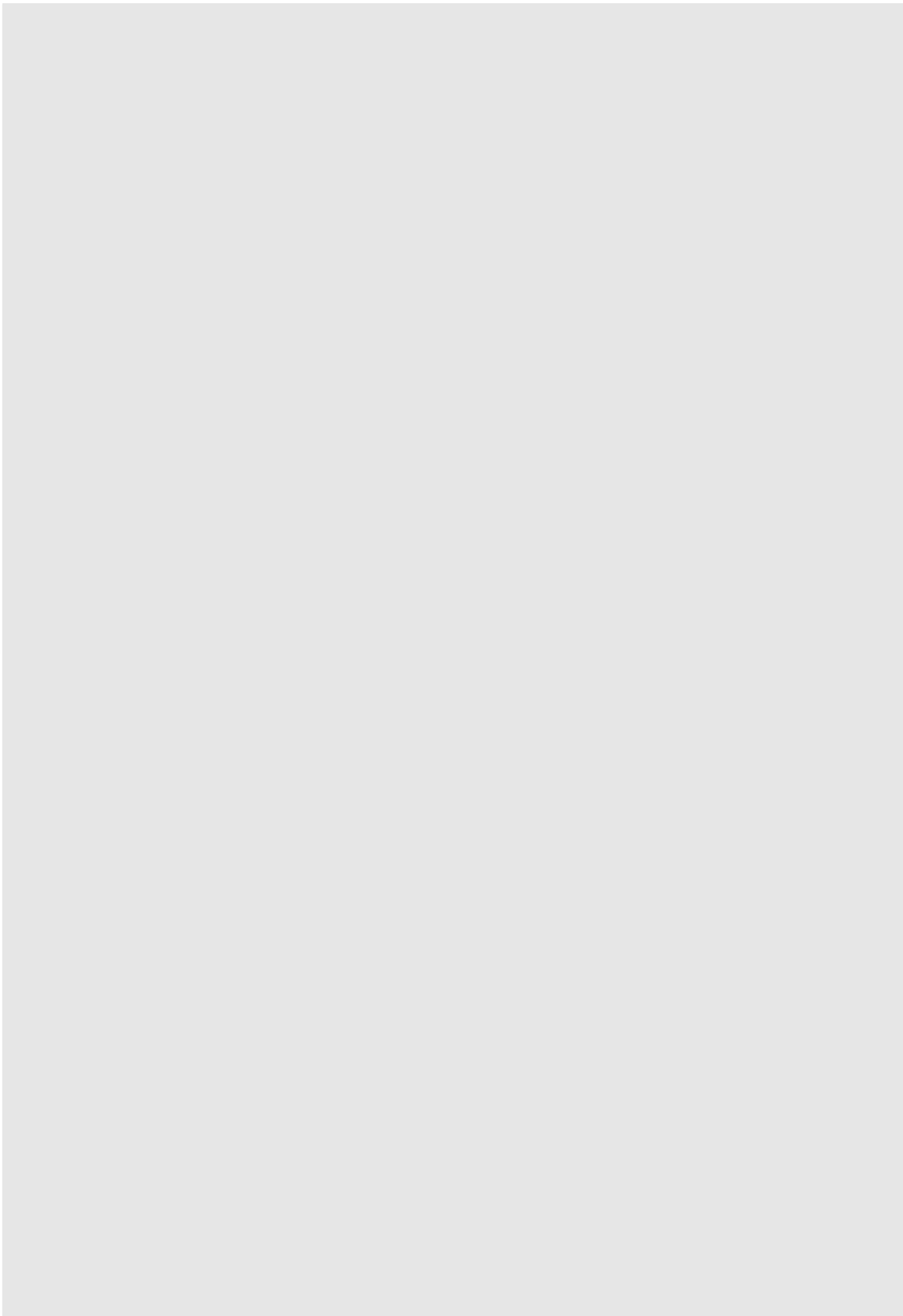
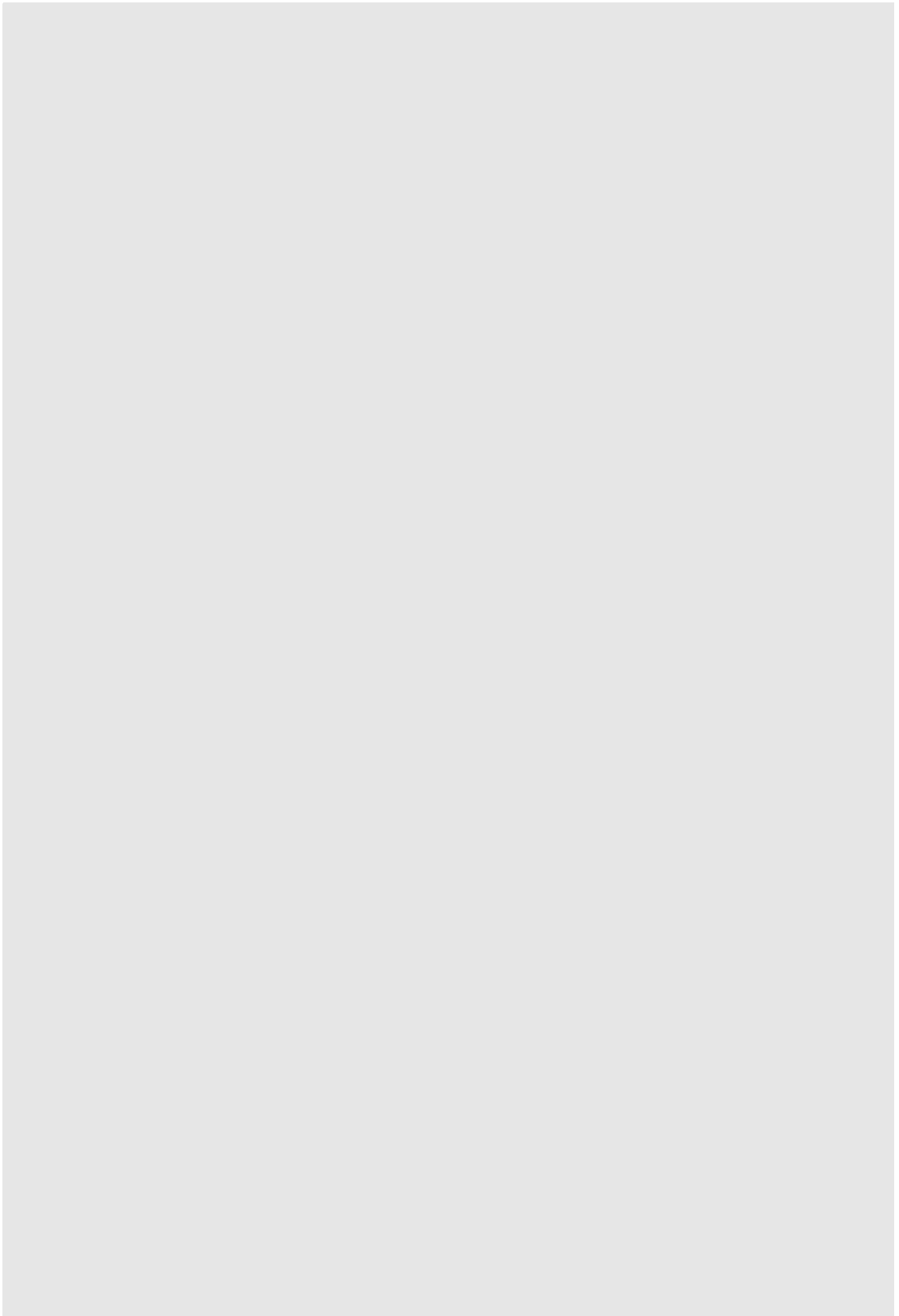


fig.9 埃汚れの除去(拡大図)







雪舟《四季山水図》

室町時代(15世紀)

絹本墨画淡彩

石橋美術館別館

修理前の状況 (fig.1~4)

寸法(本紙)	縦	70.6cm	横	44.2cm
	総縦	187.2cm	総横	59.3cm
表具形式	三段大和表装			
表装	一・風：納戸地唐花文金襴			
	中 縁：茶地雲文金襴			
	総 縁：藍褪地唐草文緞子			
	軸 首：象牙切軸(2.4cm)			
	中 箱：桐材面取屋郎箱(永真の墨書あり) (fig.5)			
	外 箱：桐材屋郎紐付			

損傷状態

4幅とも、湿気によるものと思われるシミ汚れが全体に及んでいる。特に表装裂地に関しては著しい。

料絹に欠失箇所・折損箇所が見られる。冬幅には画面中央下部に縦9cmに渡り欠失箇所が見られる。また、欠失箇所からは旧肌裏紙が観察できる。

夏幅には上下に2本の亀裂が見られる。1本は28cm、1

本は24cmに渡り走っていて危険な状態である (fig.6)。また、画面には引きつりが見られる。

表具は4幅とも糊が硬く、上巻絹の擦切れ損傷は甚だしく、全体的に表具が経年疲労を起こしている。

修理後の状況

寸法	春	縦	71.0cm	横	44.5cm
		総縦	186.4cm	総横	59.4cm
	夏	縦	71.1cm	横	44.5cm
		総縦	186.4cm	総横	59.8cm
	秋	縦	70.9cm	横	44.6cm
		総縦	186.4cm	総横	59.5cm
	冬	縦	71.0cm	横	44.6cm
		総縦	186.5cm	総横	59.4cm
表装	表具裂再使用				
	肌裏紙：薄美濃紙 (高知 井上稔夫製)				
	増裏紙：美栖紙(胡粉入) (奈良 上窪正一製)				
	総裏紙：宇陀紙(白土入) (奈良 福西弘行製)				
補修絹	電子線劣化絹 (京都 広信織物製)				
	経糸：31中 80枚 2 ッ入				
	緯糸：21×2中 140枚				
保存箱	桐材印籠箱(4 幅入) (京都 前田友斎製)				
	桐材太軸巻 (京都 前田友斎製)				
	桐材黒漆塗外箱 (京都 前田友斎製)				

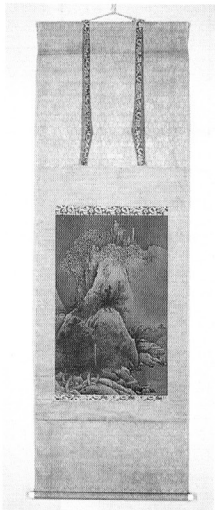


fig.1 冬(修理前)

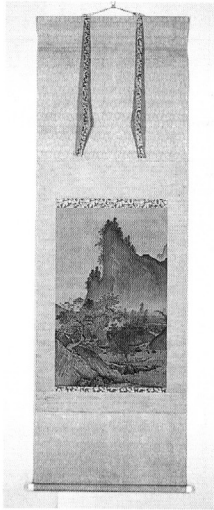


fig.2 秋(修理前)



fig.3 夏(修理前)

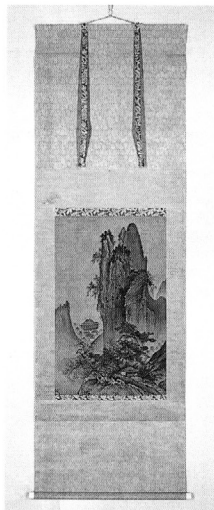


fig.4 春(修理前)

修理工程

1) 調査・記録

本紙の状態を調査し、損傷状態について写真撮影・記録を行った。

2) 表装の解装等

表具全体に適量の湿り気を与え、総裏紙を除去後、裂を取り外し解装した。

3) 裏打紙の除去

増裏紙を除去後、養生紙にて画面を保護し、少量の湿り気で肌裏紙の除去を行った。

夏幅の本紙には、部分的に裏彩色があり、肌裏紙を除去することにより、裏彩色が取り除かれることを考慮し、その部分のみ肌裏紙を薄く相剥ぎして残した (fig.7)。

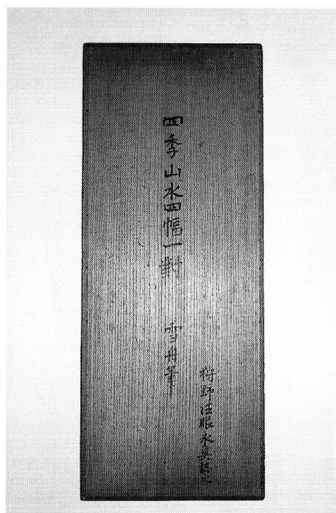


fig.5 中箱の墨書

4) 肌裏打

旧肌裏紙は墨の単色であったが、新肌裏紙は薄美濃紙を矢車と墨で染め、灰汁媒染後、水洗いを十分に行い、本紙の地色に近い肌裏紙を数種類作成し、検討を行った。その結果、旧肌裏紙より少し明るめの色調の肌裏紙を使用する事になった。

新糊で肌裏打を行った。

5) 本紙の修理、補修等

春・冬幅には彩色がある為、2%兎膠水溶液で表面から剥落止めを施した。

夏幅に関して、裏彩色がある箇所は旧肌裏紙を相剥ぎして薄く残したため、その部分のみ厚くなっているため、新肌裏紙を取り除き、薄美濃紙を施して厚さの調整を行った。次に増裏打後、裏彩色がある周辺に薄美濃紙を施し、料絹の引きつりの調整を行った。他の3幅については肌裏打後、薄美濃紙・古糊で増裏打を行った。

全幅共に絹地の欠失箇所に電子線劣化絹で画面表から補絹を施し、地色合わせの補彩を施した (fig.8)。

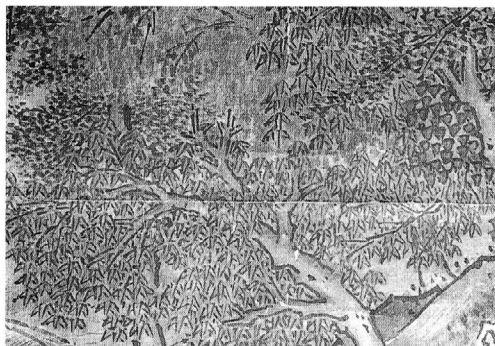


fig.6 夏幅下方の亀裂



fig.7 夏幅裏彩色部分 (肌裏紙を薄く相剥ぎして残す)

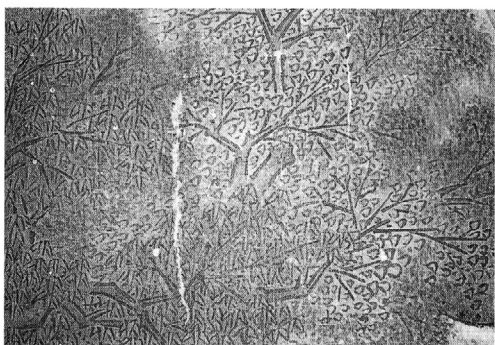


fig.8 冬幅欠失箇所への補絹と地色合わせの補彩

6) 折伏せ

増裏打・仮張後、斜光・透過光を用い、折損箇所・亀裂損傷箇所を調査し、折伏せを施し、補強補修を行った(fig.9)。

7) 表装裂の調整

肌裏紙を除去後、水洗いを行い、薄美濃紙にて肌裏打、美栖紙にて増裏打を行い、一時仮張りを行った。

8) 本紙と表装裂の付け廻し

本紙と裂地を仮張より外し、三段大和表装に付け廻しを行った。

今回、表装裂を再用したため、裂がもつ収縮具合により、2箇所縁裂に対し工房所蔵の似寄りの古裂を約0.6cm補った(fig.10)。

表装裂解体時に付け廻しの下部から、絵の続きが現れたが、検討した結果、絵を出すことは行わず、元の通りに付け廻しを行った。

宇陀紙にて総裏打を施し、表・裏2回の仮張、乾燥を行った。

9) 掛軸装に仕上げ

上巻絹、軸木(上下一組)紐、包裂等を新調した。

十分に乾燥後、仮張より外し、耳すき、軸木付け、紐鑽打ち、風帯付け、紐付け等仕上げを行った。

風帯の露糸については、紫根をベースに蘇芳・矢車で染色し、水洗い・媒染・水洗いを行い、復元した。媒染剤について、紫根には椿灰を蘇芳には明礬を矢車には木灰を用いた(fig.11, 12)。

10) 保存箱の新調

桐材印籠中箱(4幅入)、桐材太巻添軸、桐材黒漆塗台指外箱(絹紐付)を新調した。中箱には、錆納戸牡丹唐草緞子裂で覆いを作り、外箱の蓋に、柿洪染紙にて箱覆を新調した。

11) 完成写真撮影／報告書作成

今回の修理で得た事実

- ・夏幅の本紙に斜光を当て観察すると、画面の両脇に白く光る線が多数見られた。表具技術に、仕上げの工程で表具全体の調子を整えるために、数珠を使用して表具の裏を擦る、裏摺りという技術がある。この摺り跡は今回斜光で見られる白く光る線と良く似ている。よって推測ではあるが、画面の引きつりを調整するために、表側から裏摺りを施したものと思われる(fig.13, 14)。

- ・夏幅の本紙に見られる2本の亀裂は、総裏紙の裏打ちの継ぎと同じ箇所であった。また、継代は細い棒継ぎ状であった為、画面に負担がかかり折れが生じ、亀裂へと進行した可能性があると思われる。しかし、他の3幅には以上のような原因による損傷は見られなかった。

- ・付け廻しの下部から現れた絵の部分は、料絹が糊により変色していることもあり、絵を出さず、元の通りに付け廻しを行った。現れた絵については、資料として4×5ボジ・35mmネガで撮影し、記録を行った(fig.15～18)。

- ・旧裏打紙寸法については以下の通り。

肌裏紙：縦	23.0cm	横	36.5cm
増裏紙：	22.5cm		31.5cm
総裏紙：	27.4cm		39.5cm

(株)光影堂 水谷好夫)

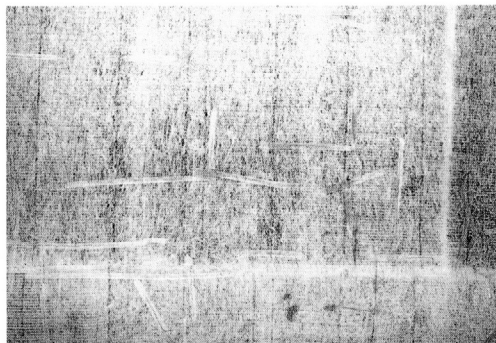


fig.9 折伏せを施す

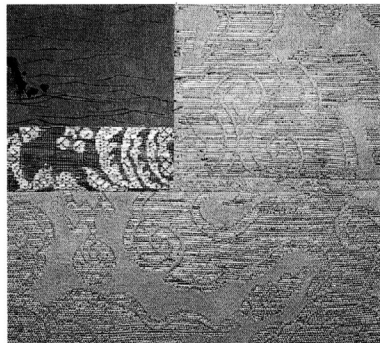


fig.10 古裂を補った箇所



fig.11 風帯(修理前)

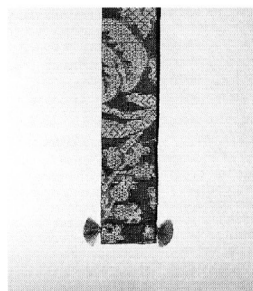


fig.12 風帯(露糸復元後)



fig.13 夏幅斜光線写真

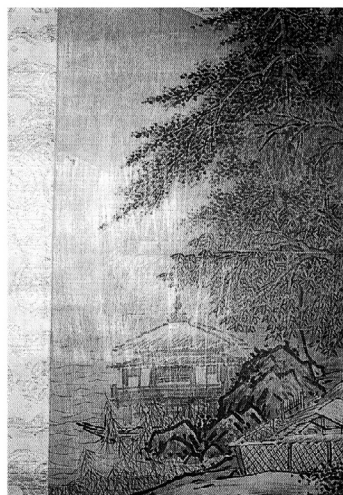


fig.14 同部分(裏摺り状の跡)



fig.15 春(表装裂解体時)



fig.16 夏(表装裂解体時)



fig.17 秋(表装裂解体時)

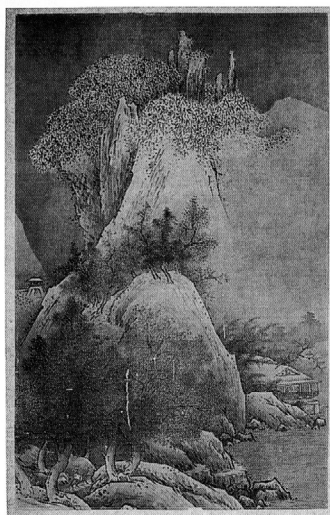


fig.18 冬(表装裂解体時)

宗達派《保元平治物語絵》6面(扇面)

江戸時代(17世紀)

紙本金地著色

石橋美術館別館

修理前の仕様(fig.1~6)

形状：台紙貼り[(口)のみ額装]

修理前本紙寸法：

(イ) 丈	18.2cm	最大幅	55.4cm
(ロ) 丈	18.0cm	最大幅	55.2cm
(ハ) 丈	18.0cm	最大幅	55.2cm
(ニ) 丈	18.4cm	最大幅	55.6cm
(ホ) 丈	18.2cm	最大幅	55.2cm
(ヘ) 丈	17.6cm	最大幅	55.0cm

修理後の仕様(fig.7~12)

形状：額装[蠟色古代朱艶消緑・大縁(金砂子振り・芯紙は中性紙)・小縁なし・樹脂板入り]

修理後本紙寸法：

(イ) 丈	18.3cm	最大幅	55.6cm
-------	--------	-----	--------

(ロ) 丈	18.0cm	最大幅	55.3cm
(ハ) 丈	17.7cm	最大幅	55.4cm
(ニ) 丈	18.7cm	最大幅	56.0cm
(ホ) 丈	18.5cm	最大幅	55.6cm
(ヘ) 丈	18.2cm	最大幅	55.2cm

作品の状態

本紙は屏風より切り取られ、扇(扇骨の部分は金箔地に墨で描いてある)にして台紙及び額下地に貼り込まれている。台紙に貼り込まれた本紙は波打ちしており、このまま保存および展示開陳を続けると、この波打ちが拡大する虞があり、さらに波打ちに伴い彩色層の擦れや剥離、剥落の可能性がある。

※ (ロ)の本紙のみ額装となっている。

修理方針

修理前後の状態を写真撮影し、記録する。また、作業中にも必要に応じて記録写真を撮影する。

彩色層全体に牛膠の1.5~2%水溶液を表面から塗布し剥落止めを数回行い充分に乾燥させる。台紙等より慎重に外し、相剥になり付着している台紙の除去を行う。旧裏打紙は修理専用養生紙(new paper no.20)を使用し間

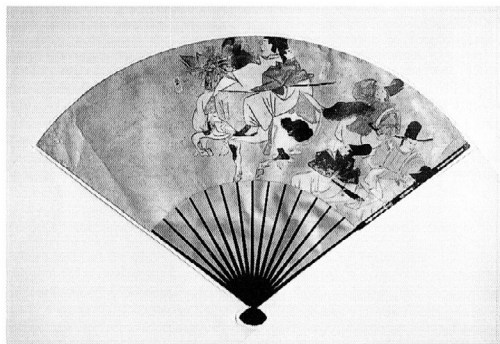


fig.1 (イ) 修理前

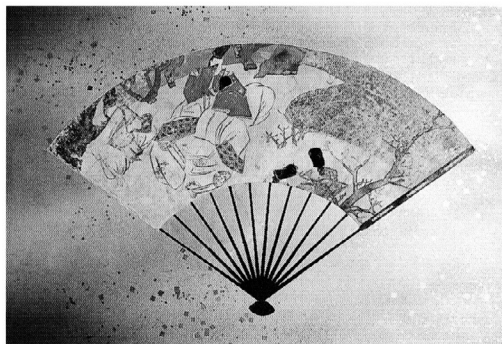


fig.2 (ロ) 修理前

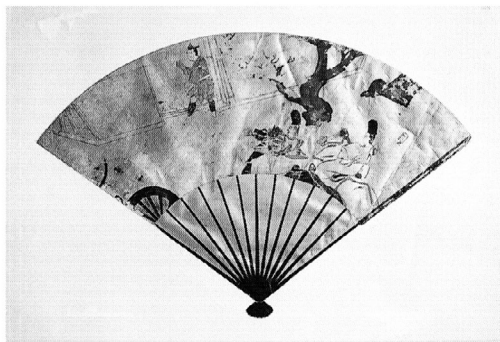


fig.3 (ハ) 修理前

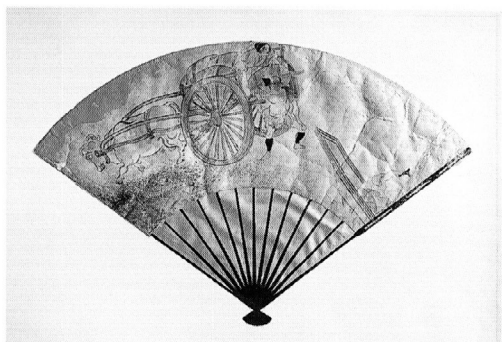


fig.4 (ニ) 修理前

接的に湿して除去する。この時、旧補修紙の除去も行う。虫損・欠失箇所は、似寄りの補修紙を調整し、補修を行う。扇(扇面と描かれた扇骨の部分は切り離さない)のまま和紙にて2回裏打ちを行う。本紙は約2ミリ厚の中性紙2枚に挟み、本紙(扇面)より少し大きく窓を開け、大縁は金砂子紙(混合紙を植物染料で染めて本金砂子を振った紙)を張る。

額(額縁は蠟色古代朱艶消縁とし、樹脂板を入れ、袋と紺綿布張り紙箱(芯が中性紙)付き)を新調し、その中に納め完成とする。

修理仕様

1) 修理前写真撮影・調査

修理前の写真撮影と、本紙の紙質と損傷の状態を調査した。また、赤外線ビジコンカメラによる赤外線画像を撮影し、ビデオテープに録画した。

2) 剥落止

牛膠の水溶液1.5～2%にて、絵具の剥落止めを数回行い充分に乾燥させた。

3) 本紙解装・解体

本紙を台紙より外し、本紙裏側の糊代に付着した台

紙を慎重に除去した。

4) 本紙旧裏打紙の除去

本紙を修理専用養生紙で覆い、湿気を間接的に与え、旧裏打紙の除去を行った。美濃紙と新糊にて仮裏打ちを行い、仮張乾燥させた。

※(ロ)の本紙は額装しており、その時に取り替えられた裏打紙を除去して、同じく美濃紙と新糊で仮裏打ちを行った。

5) 扇骨の墨画の修理

本紙の下部にある扇骨の墨画も本紙と分離して、旧裏打紙の除去を行い、美濃紙と新糊にて裏打ちを行い、仮張乾燥させた。

6) 補修紙調整

本紙に似寄りの紙(三桎紙)を調達し、絵具・墨等で染めて調整した。

7) 本紙修理・裏打ち

仮裏打紙の除去を行い、調整した補修紙にて本紙の虫損・欠失箇所を修理した。美濃紙と新糊にて肌裏打ちを行い、仮張乾燥させた。

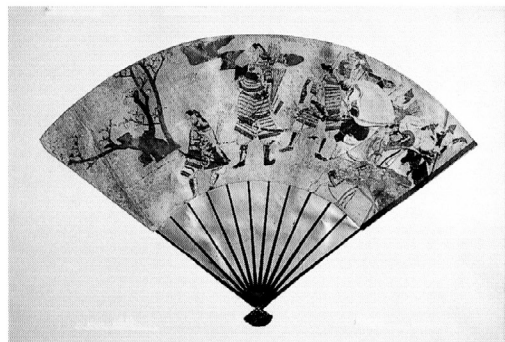


fig.5 (ホ) 修理前

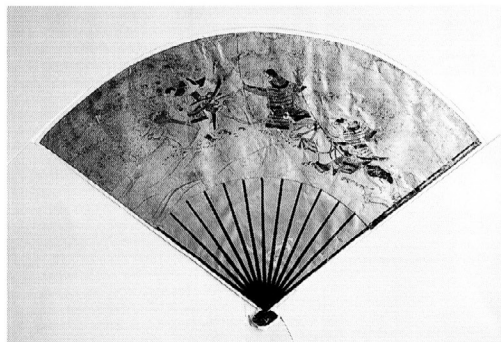


fig.6 (ヘ) 修理前

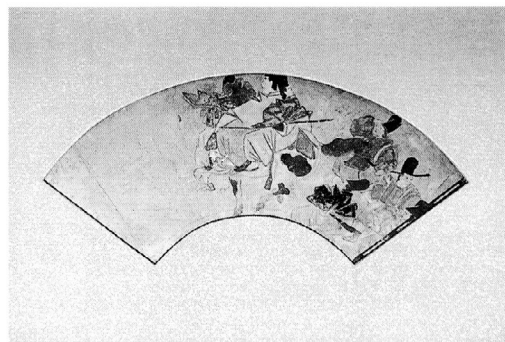


fig.7 (イ) 修理後

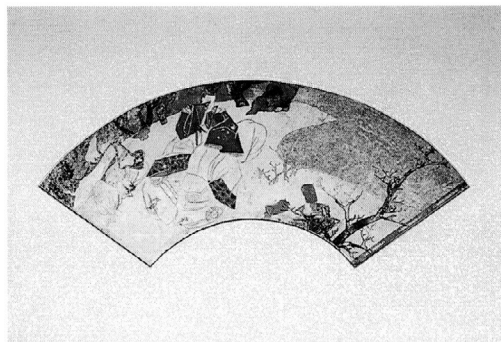


fig.8 (ロ) 修理後

8) 中性紙の調整

約2ミリ厚の中性紙を2枚1組として、6組12枚を元の台紙と同じ寸法に断った。この中性紙の半分(6枚)に、本紙より少し大きめに扇形の窓を削り抜き大縁とした。

9) 金砂子紙調整

大縁(扇形に削り抜いた中性紙)に貼るため、混合紙(雁皮8:楮2の割合)を植物染料にて染め、美濃紙にて肌裏打ちを行い、本金砂子を振って調整した。

10) 額下地の下張り

- | | |
|---------------|---------------|
| a. 骨縛り: 石州紙 | d. 蓑縛り: 石州紙 |
| b. 胴張り: 間似合紙 | e. 下泛け掛け: 石州紙 |
| c. 2枚蓑掛け: 石州紙 | f. 上泛け掛け: 石州紙 |

11) 額下地の上張り

下張りの済んだ額下地に、表に張る鳥之子紙と裏に張る京唐紙(丸龍に立涌文)の紙積りを行い、両面の上張りを新糊にて行い、乾燥させた。

※京唐紙は数回植物染料にて染め、落ち着きを与えた。

12) 金砂子紙張り

大縁の両面に、ベタ貼りにて、表に金砂子紙を、裏に無地の混合紙を貼り乾燥させた。

※反りを防ぐために両面に同じ紙を貼った。

13) 大縁と台紙の接合

大縁と台紙(約2ミリ厚の中性紙)を、屏風式の蝶番で接合を行った。

14) 本紙増裏打ち

本紙と扇骨の墨画を肌裏打ちの状態で継ぎ、元の形状に戻し、本紙の酸化を防ぐために美柄紙(胡粉を漉き込んだ表具用の楮紙)と新糊にて増裏打ちを行った。続けて石州紙(楮紙)と新糊にて2回目の増裏打ちを行い、仮張乾燥させた。

15) 本紙張り込み

本紙周りの裏打紙を10ミリ程残し、糊代として化粧断ちを行い、13)で接合した台紙に、ぐるり糊で貼った。

16) 墨書等の保存

今回の修理中に、当初または前回の修理時の屏風作

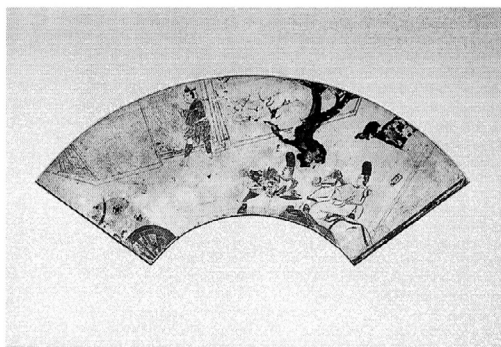


fig.9 (ハ) 修理後

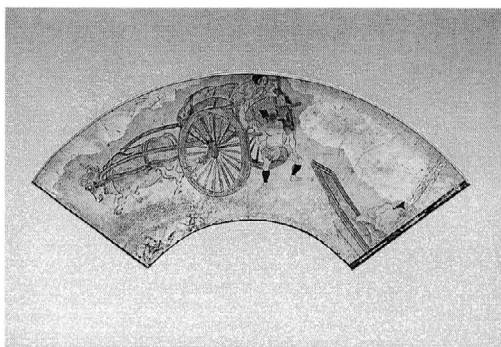


fig.10 (ニ) 修理後

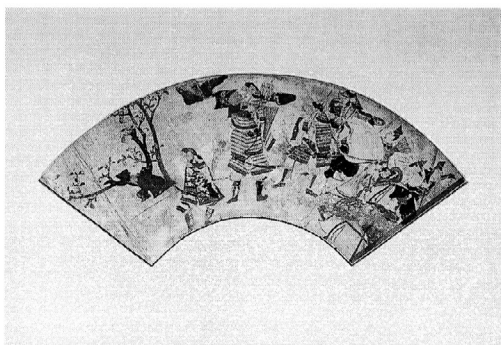


fig.11 (ホ) 修理後

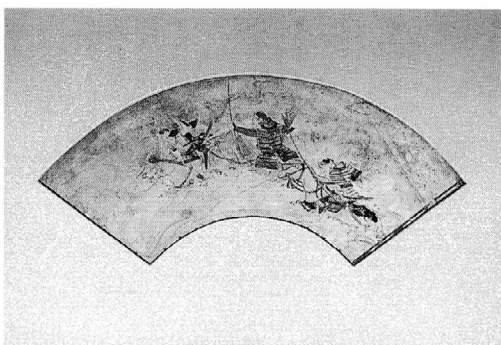


fig.12 (ヘ) 修理後

製過程に付けられたと思われる符号(仮名書きの墨書)が本紙側と屏風側から発見された。この墨書は切り抜き、別の1ミリ厚の中性紙に貼付けた。旧裏打紙は元の層状に戻し、同じ中性紙に貼り、額の中に入れて保存した(fig.13~18)。

※(ロ)の本紙は額装となっており、その時に旧裏打紙も取り替えられ、墨書等は発見出来なかった。

17) 額装仕上げ

アクリル板でグレーディングされた額縁の中に、本紙(中性紙に挟み込んだ状態)を入れ、二つ折りの中性

紙(今回の修理で発見された墨書と旧裏打紙が貼付けてある)を入れ、上張りの済んだ額下地を裏側に入れ、コロロ(サルコ)で固定し、紐と金具を付けて額装として仕上げた。

18) 修理後写真撮影

修理後の写真撮影及び赤外線写真撮影を行い、報告書を作成した。

19) 完成

中性紙を芯紙とした保存用紙箱に入れ完成とした。

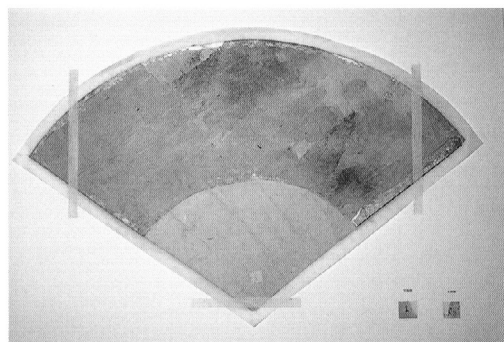


fig.13 (イ) 旧裏打紙と墨書

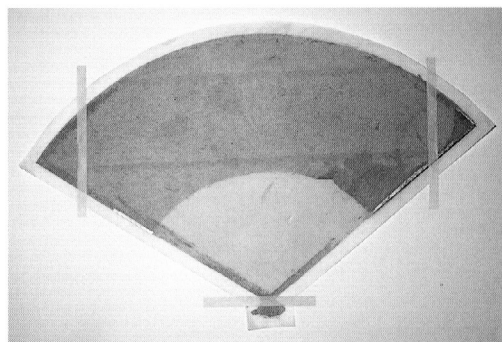


fig.14 (ロ) 旧裏打紙(前回額装時の裏打紙)

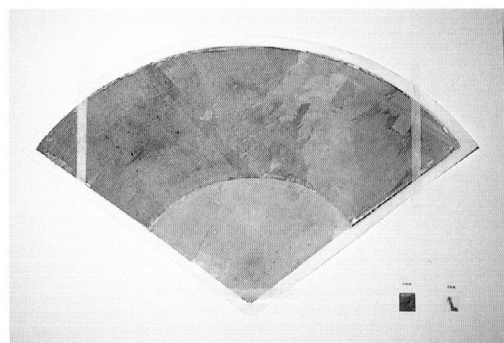


fig.15 (ハ) 旧裏打紙と墨書



fig.16 (ニ) 旧裏打紙と墨書

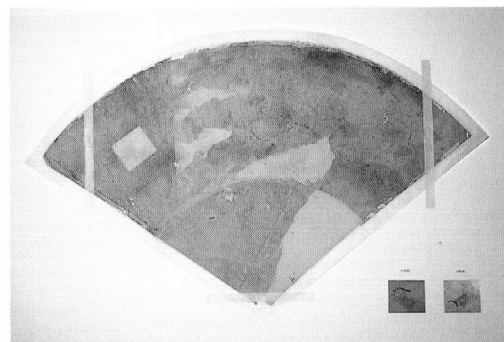


fig.17 (ホ) 旧裏打紙と墨書

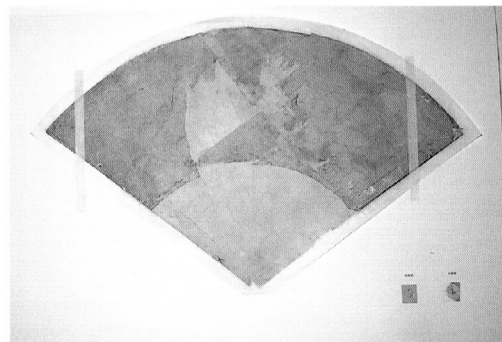


fig.18 (ヘ) 旧裏打紙と墨書

修理使用材料表

額装使用材料

形 式	額 装
大縁及び台紙等	混合紙(雁皮8割：楮2割) (近江 成子製) 美濃紙 (平成5年寒漉き 美濃 古田製) 芯紙：ビュア マット 1.7mm (特種製紙株式会社製) 台紙：AFボ－ド 2mm (特種製紙株式会社製)
墨書保存台紙	AFボ－ド 1 mm (特種製紙株式会社製)
縁	蠟色古代朱艶消縁 (京都 高田南勢堂製)
下地骨	杉白太 (京都 高田南勢堂製)
下張紙	石州紙 (島根 西田製)
胴張紙	間似合紙 (兵庫 谷徳製)
上張紙	鳥之子紙 (舞鳳3号紙)
裏張紙	京唐紙(丸龍に立涌文) (京都 唐長製)
保存用紙箱	箱帙 (京都 大入製) 紺綿布 芯紙：AFボ－ド 3mm・2mm (特種製紙株式会社製) 内張紙：鳥之子紙 (舞鳳3号紙)

尚、本金砂子振りは、弊店にて作成。裏張紙には、矢車附子(植物染料)を引き染めを施した。旧裏打紙と墨書は、裏打ちを行いAFボ－ド1mmに挟み、額の中に入れ保存した。

本紙修理使用材料

肌裏打紙	美濃紙 (平成5年寒漉き 美濃 古田製)
増裏打紙	美栖紙(表具用胡粉入り楮紙) (奈良 上窪製)
増裏打紙(2回目)	石州紙 (島根 西田製)
補修紙	三桎紙 (明治時代の扇面の一部を使用)
糊	小麦粉澱粉糊 (自家製)

(富永米山堂 富永憲太郎)

「マルク・シャガール展」

群馬県立近代美術館 / 2001年4月14日 - 5月20日

マルク・シャガール 《ヴァンスの新月》(外洋90)

「ルノワール展」

名古屋市美術館 / 2001年4月22日 - 6月24日

- 1) ピエール=オーギュスト・ルノワール 《すわるジョルジェット・シャルパンティエ嬢》(外洋169)
 - 2) ピエール=オーギュスト・ルノワール 《少女》(外洋165)
-

「ロダンと日本」

静岡県立美術館 / 2001年4月28日 - 6月10日

愛知県美術館 / 6月22日 - 8月19日

オーギュスト・ロダン 《立てるフォーネス》(外彫40)

「デ・キリコ展」

石川県立美術館 / 2001年6月1日 - 6月24日

大分市美術館 / 6月30日 - 7月29日

ジョルジョ・デ・キリコ 《吟遊詩人》(外洋91)

「バルビゾンの画家たち」

山梨県立美術館 / 2001年6月9日 - 7月22日

- 1) カミーユ・コロセ 《ヴィル・ダヴレー》(外洋7)
 - 2) ギュスターヴ・クールベ 《雪の中を駆ける鹿》(外洋170)
 - 3) ギュスターヴ・クールベ 《石切場の雪景色》(外洋11)
-

「クロード・モネ展」

山口県立美術館 / 2001年7月5日 - 9月30日

クロード・モネ 《黄昏, ヴェネツィア》(外洋24)

「マネ」

府中市美術館 / 2001年7月28日 - 9月16日

奈良県立美術館 / 9月23日 - 11月25日

- 1) エドガー・ドガ 《踊り子》(外彫37) *府中市美術館, 奈良県立美術館
 - 2) クロード・モネ 《アルジャントウイユ》(外洋180) *府中市美術館
 - 3) エドゥワール・マネ 《オペラ座の仮装舞踏会》(外洋14) *奈良県立美術館
-

Greek Gods and Heroes in the Age of Rubens and Rembrandt

National Gallery, Athens, September 28 – January 8, 2001

Dordrechts Museum, Dordrecht, February 3 – May 6

レンブラント・ファン・レイン 《ミネルヴァ》(寄託作品)

「真贋のはざま」

東京大学総合研究博物館 / 2001年10月20日 – 12月9日

- 1) ゴーガンの贋作《若い女の顔》(外洋36)
- 2) 《男子立像》(外彫3)
- 3) 《キリストの顔》(外彫30)

「自然と人間」

群馬県立館林美術館 / 2001年10月26日 – 11月25日

- 1) カミーユ・コロー 《オンフルールのトゥータン農場》(外洋8)
- 2) ギュスターヴ・クールベ 《石切場の雪景色》(外洋11)

「女性美の500年」

東京富士美術館 / 2001年11月1日 – 12月9日

福岡アジア美術館 / 12月15日 – 2002年1月26日

- 1) 岡田三郎助 《婦人像》(日洋60) *東京富士美術館
- 2) 山下新太郎 《読書》(日洋83) *福岡アジア美術館

「未完の世紀」

東京国立近代美術館 / 2002年1月16日 – 3月10日

アンリ・マティス 《石膏のある静物》(寄託作品)

「横山大観展」

三重県立美術館 / 2001年4月28日－6月3日

横山大観《糺の森 秋雨》(日書22)

「今よみがえる, 泰西名画展覧会」

郡山市立美術館 / 2001年9月15日－11月4日

- 1) 高田力蔵《ターナー〈雨・蒸気・速力〉模写》(日洋409)
- 2) 高田力蔵《アングル〈泉〉模写》(日洋407)
- 3) 高田力蔵《ミレー〈落穂拾い〉模写》(日洋408)
- 4) 伊原宇三郎《ティツィアーノ〈フローラ〉模写》(日洋393)
- 5) 和田英作《ピエロ・デラ・フランチェスカ〈キリストの洗礼〉模写》(日洋389)
- 6) 和田英作《コロロ〈カステル・ガンドルフォの思い出〉模写》(日洋390)
- 7) 鱸利彦《コロロ〈モルトフォンテースの思い出〉模写》(日洋394)
- 8) 島村三七雄《ティツィアーノ〈聖母子と聖ステパノ, 聖ヒエロニムス, 聖マウリティウス〉模写》(日洋410)
- 9) 島村三七雄《ルノワール〈ムーラン・ド・ラ・ギャレット〉模写》(日洋411)
- 10) 藤島武二《ボンベイ壁画模写》(日洋43)
- 11) 藤島武二《ボンベイ壁画模写》(日洋44)
- 12) 山下新太郎《ヴェラスケス〈マリアナ女王〉模写》(日洋392)
- 13) 山下新太郎《ヴェラスケス〈マルガリータ王女〉模写》(日洋391)
- 14) 勝間田武夫《ルノワール〈横たわる水浴の女たち〉模写》(日洋395)

「女性美の500年」

東京富士美術館 / 2001年11月1日－12月9日

岡田三郎助《水浴の前》(日洋63)

「福岡の近世やまと絵展」

福岡市美術館 / 2002年1月5日－2月24日

住吉広行《春秋(双幅)》(日書54)

「未完の世紀」

東京国立近代美術館 / 2002年1月16日－3月10日

藤島武二《天平の面影》(日洋11)

「東郷青児展」

ふくやま美術館 / 2002年2月9日－3月17日

古賀春江《素朴な月夜》(日洋161)

「没後五〇〇年 特別展『雪舟』」

京都国立博物館 / 2002年3月12日 - 4月7日 (展示期間: 2002年3月26日 - 4月7日)

東京国立博物館 / 4月23日 - 5月19日

雪舟《四季山水図》(日書1-4)

〈展覧会カタログ〉

「オリエントのガラスと陶器」(特集展示)

出品目録

土器 / ガラス / 陶器

図版(カラー12図)

発行：石橋美術館別館(2001年)

30×17cm 三つ折り

*カタログについては館報49号(2000年度)に記載。



「古賀春江 創作の原点—作品と資料でさぐる」(特集展示)

Koga Harue : exploring the origins of his art through
his works and materials

本文：

カタログ(作家・作品解説 / 森山秀子)

図版(カラー73図, モノクロ3図, 参考9図)

古賀春江年譜

出品リスト

古賀春江資料目録(282件のうちモノクロのコマ写真272図)

編集・執筆：森山秀子(石橋財団石橋美術館)

制作：瞬報社

発行：石橋財団ブリヂストン美術館, 石橋財団石橋美術館(2001年)

26×18.5cm 95p



「作品探検—絵の裏側お見せします」(コーナー展示)

出品目録

1. 裏面も見る
2. 制作の記録
3. 画家の想いを知る
4. 交友を知る

図版(カラー17図,モノクロ3図)

編集・発行:石橋財団石橋美術館(2001年)

30×21cm 6p



「オムニバス in オムニバス」(コーナー展示)

解説リーフレット

- I. Omnibus in omnibus 写
写生旅行と芸術家コロニー / 近代のスポーツとレジャー /
友情のかたち—物語るポートレート / 赤と黒—ギリシア
陶器の世界 / 抽象と具象のはざま
- II. Omnibus in omnibus 想
ひそやかな冒険—近現代の静物画 / 忘れられた画家たち /
紙の上の彫刻家 / 曲線は踊る—アール・ヌーヴォーの版画 /
農婦(ペザント)の図像学
- III. Omnibus in omnibus 彩
マティスの『ジャズ』 / 「不定形」のかたち—戦後美術断章 /
画家たちの挑戦—挿絵本の世界 / パステルの魅力 / 点の絵画

図版(カラー各1図)

出品作品リスト

編集・発行:石橋財団ブリヂストン美術館(2001年)

制作:コギト

12×12cm 二つ折りに差込1枚(全15組)



「ブリヂストン美術館開館50周年記念

コレクター石橋正二郎—青木繁、坂本繁二郎から西洋美術へ」(特集展示)

Ishibashi Shojiro, art collector : from Aoki Shigeru and
Sakamoto Hanjiro to Western art (Art in focus series)

本文：

ブリヂストン美術館開館式における挨拶 / 石橋正二郎 (p.9-13)

石橋正二郎コレクション形成史

—その1 草創期から終戦まで / 植野健造 (p.21-32)

—その2 終戦以後 / 宮崎克己 (p.33-45)

コレクション年表 / 宮崎克己編

石橋正二郎の建築 / 宮崎克己 (p.70-75)

石橋正二郎肖像画・肖像彫刻カタログ / 福満葉子編

石橋正二郎主要文献目録—美術関連記事を中心に / 中村節子, 後藤純子編

コレクション年表掲載作品リスト / 坂本恭子編

編集：石橋財団ブリヂストン美術館

制作：アイメックス・ファインアート

発行：石橋財団ブリヂストン美術館, 石橋財団石橋美術館 (2002年)

26×19cm 101p



〈常設展示カタログ〉

「2001年度石橋美術館別館常設展示作品目録」

出品目録

1期 近世の美術

2期 近代の美術

3期 所蔵名作選

図版(モノクロ3図)

発行：石橋財団石橋美術館別館 (2001年)

30×21cm 4p



〈その他の刊行物〉

「石橋美術館の名作と俳句の出会い」

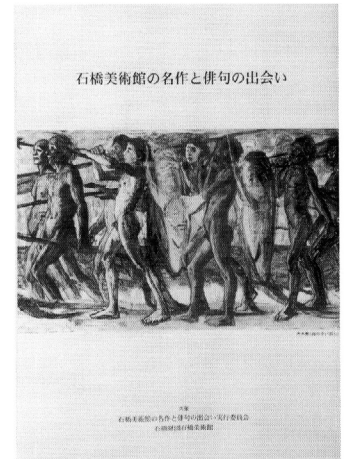
俳句入選作品目録

図版(モノクロ32図)

編集・発行：石橋財団石橋美術館(2001年4月)

30×21cm 8p

＊2001年1月－4月開催の特集展示「新収蔵・移管 名作選」関連事業



「読むブリヂストン美術館」

本文：

ブリヂストン美術館への招待 / 宮崎克己(p.4-7)

古代オリエントとギリシア・ローマ / 中村るい(p.10-22)

19世紀以前の美術 / 矢野陽子(p.24-32)

近代絵画の出発 / 宮崎克己(p.34-78)

20世紀美術の広がり / 坂本恭子(p.80-83, 103-105, 120-129),

福満葉子(p.84-99, 106-115, 119),

塚田美香子(p.100-102, 116-119)

近現代の彫刻 / 福満葉子(p.132-141), 坂本恭子(p.142-149)

「版画」という表現 / 福満葉子(p.152-161)

日本の近代洋画 / 貝塚 健(p.164-206)

＜コラム＞ X線で見た《吟遊詩人》, ブリヂストン美術館の地震対策 /

田中千秋(p.130, 150)

画家と挿絵本 / 中村節子(p.162)

作家解説 / 坂本恭子, 塚田美香子, 中田裕子, 矢野陽子(p.208-228)

図版(カラー192図, 参考97図)

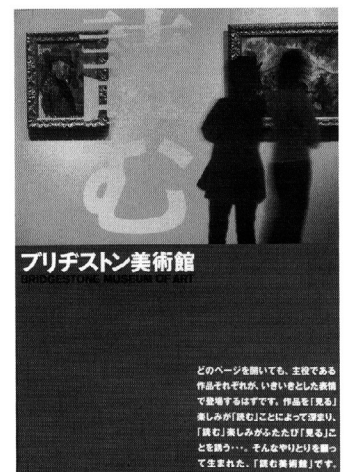
編集：石橋財団ブリヂストン美術館

デザイン：浅井 潔

制作：アイメックス・ファインアート

発行：石橋財団ブリヂストン美術館(2001年)

25×17.5cm 228p ISBN4-901528-00-9



「館報」49号(2000年度)

Annual report of Bridgestone Museum of Art & Ishibashi Museum of Art

内容：

設立趣旨, 機構・運営

展覧会(特別展, 特別展示, 特集展示, コーナー展示)

教育普及(講座・講演会, ギャラリートーク, 見学解説, インターンシップ,
実習生受入など)

入場者数(2000年度)

新収蔵作品(作品5点)

新収図書

修復記録

トマス・ゲンズバラ《婦人像》/石井 亨(p.41-43)

兄島善三郎《立つ》/小林嘉樹(p.44-46)

青木繁《車中風景》/横田直子(p.47-48)

青木繁《晩帰》/横田直子(p.49-50)

安井曾太郎《風景素描》/横田直子(p.51-52)

作品貸出記録

刊行物一覧

作品の移管

ビデオ・インスタレーション(ブリヂストン美術館)

研究報告

青木繁《海》について / 植野健造(p.67-73)

個人活動記録

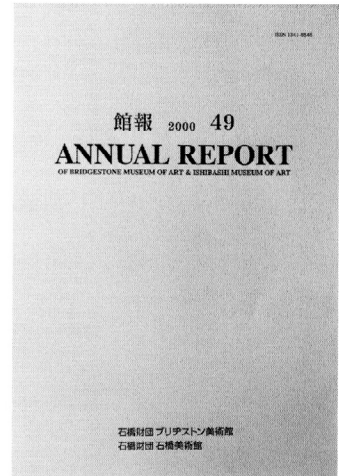
美術館案内

石橋財団職員

編集・発行：石橋財団ブリヂストン美術館, 石橋財団石橋美術館(2002年3月)

制作：三友社

26×18cm 79p



石橋美術館の改修工事概要報告

石橋美術館と別館は、2001年11月26日から2002年4月15日まで休館して、改修工事を行った。期間はおよそ5か月間であったが、その発案から計画の具体化、基本コンセプトの作成、そして改修の成果、さらに久留米市への寄贈などの概要を記録しておく。

はじめに

石橋美術館は1956(昭和31)年、株式会社ブリヂストンの創業者・石橋正二郎が、ブリヂストンタイヤ株式会社(当時)の創立25周年を記念して久留米市に建設寄贈した石橋文化センターの中心施設として開館したものである。当初の建築は菊竹清訓の設計で、鉄筋コンクリート2階建て、総面積は1,587m²であった。以後、環境の整備や建築面積の拡張を含めた主要な改修工事の概要は次のとおりである。

1962年6月には照明設備を、さらに翌63年は空調設備の改良工事を行い、鑑賞と作品保全の環境が著しく向上した。つづいて1964年には展示室面積の拡張をおもな目的とした増築工事で、同年12月に着工し翌65年4月に竣工。これにより1,2階あわせて538m²が拡張され、総面積は2,125m²となる。さらに1977(昭和42)年の増改築工事は7月に着工、外観、内装ともにデザインを一新し、当時としては最新の空調設備が導入され、同年12月に竣工した。ここに今日の同館の基本建築が完成し、翌78年1月に落成式が挙行された。この工事で1,2階あわせて845m²を増床し、展示室、収蔵庫、事務室が拡張され、面積は開館当初の約2倍の2,970m²となった。そして1996(平成8)年10月には、同館に隣接した場所に石橋美術館別館が開館し、別棟として1,070m²が新たに加わった。今回の改修は、石橋美術館、別館ともに建物としての面積の増減はなかった。

改修計画の発案

1977年に導入した空調設備はすでに20数年を経過。同空調の熱源である冷温水発生機など心臓部の老朽化に伴う不調が2年ほど前から懸念され、改修に向けての具体的な検討を開始した。氷蓄熱方式や電気方式などいくつかの空調システムがもつ特徴を調査し、自然環境に与える影響やランニングコストなどの比較にはじまり、さらに収蔵庫空調の単独運転、展示室の均衡のとれた温湿度調整の管理など、おもに作品保全の視点から検討を重ねた。その結果、これらの目標を達成するにはダクトを含めた設備の全面的な改修なくしては対応ができない、との結論に達した。と同時に、来館者に心から満足してもらえるグレードの高い鑑賞環境の提供にまで議論が発展し、

展示室の照明設備改善、バリアフリーの導入、休憩スペースや情報提供コーナーの新設、展示室入口などを含めた全面改修への計画が動きだした。かねてからのもうひとつの懸念であった、別館の展示室面積不足の解消に関しては、これまで独立した組織であった石橋美術館別館の石橋美術館への統合、あるいは入館料金の一本化などの実施に伴い、既存の別館事務室を石橋美術館に移すことによって生じたスペースを展示室に改装することで、展示室面積の拡充を計ることとした。これらの計画は両館同時に進められ、先のブリヂストン美術館と同永坂分室の大掛かりな改修工事で得た石橋財団としての知識とノウハウが生かされたのであった。

改修計画の具体化

空調設備の更新に端を発し、全面改修への具体的な計画ができたのは2001年1月初旬のことであった。2月に入り、基本計画のコンサルティングをエヌ・ティ・ティファシリティーズに依頼。その結果、ハードとソフトの面でいくつかの視点からの提案と助言を受け、改修の概要がまとまった。次いで3月には清水建設株式会社ほか1社に改修工事案を提示。4月初旬、この2社に基本設計を含めた見積りを依頼。同月中旬に提出された見積書を受けて、評価会議を開催し、その内容である基本設計、仕様、金額等を慎重に比較し審議。同月下旬にはこの会議の助言を受け、改修工事の設計施工を清水建設株式会社に発注することで決裁を受けた。6月から同社と詳細な打合せに入るとともに、インテリアデザインは株式会社水野宏建築事務所が、コンセプトのとりまとめとサインなどのデザインは株式会社エムツーが担当することになった。8月初旬からは担当各業者との間で現場において調整、確認作業を重ねた。9月末には、「時代にそった新しい情報を提供し、次世代に幅広く繋げるアプローチで永存していく」という目的を掲げ、設計を含めた基本コンセプト(下記)が完成した。

基本コンセプト

- Hard 設備改修—最新の設備機能
 - 空調設備改善
 - 暖かさを感じるインテリア
 - 収蔵庫の充実
 - 最新の照明技術の活用
 - IT機材の活用
- Soft サービス—新生「石橋美術館」
 - 来館者志向の美術館
 - くつろげる空間の提供
 - 新しい時代にふさわしい美術館サービス
 - 周辺環境と調和した美術館

Staff モチベーション一人

よりよいサービスができる働きやすい環境づくり
バックヤードの充実

改修の成果

石橋美術館、別館ともに2001年12月1日から改修工事に入り、翌2002年3月28日に竣工。4月16日からリニューアルオープンをしたが、主要な改修の場所と、その成果はつぎのとおりである。

[石橋美術館2階]

展示室

階段回りのレイアウトを一新するとともに、展示室の導入部としてのエントランスホールを新たに設け、さらに展示室は各室の独立性を高めるための仕切として門型をほどこし、作品展示の構成にあわせて壁面の色を塗り分けるなどで、各室の特色をもたせた。照明は最新の器具と技術を用い、鑑賞の妨げにならないよう、器具は下がり天井の側面に設置。作品保全あるいは鑑賞の目にも優しい環境とした。その柔らかな照明と座り心地のよい椅子とカーベットの調和は、暖かで落ち着いた鑑賞空間をつくりだした。

休憩テラス

鳥たちが遊ぶ池に面したガラス張りのテラスからは、樹木の豊かな景観が見渡せ、鑑賞の合間にゆったりとくつろげるスペースとなった。

レストルームとミュージアムショップ

鑑賞の余韻とコーヒーを味わうために、バラ園と噴水を見渡せる場所にレストコーナーを新設するとともに、ショップでは収蔵作品の絵はがきやブローチなどオリジナルグッズの充実をはかった。

情報コーナー

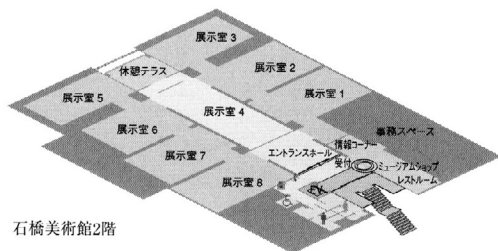
館報や展覧会カタログなどの文字情報に加えて、新たにパソコンを導入したバーチャル美術館では、常設作品の詳しい情報の提供を可能にした。

収蔵庫

最適な作品保全環境を目指し、最新の空調機材と技術を導入。外壁と内壁の間に適温適湿の空気を巡回させるために部屋全体を二重構造とし、あわせて高い気密性も確保した。

事務室

館長、会議、事務、学芸の各部屋を機能的に配置、



石橋美術館2階

内装も一新した。

[石橋美術館1階ギャラリー]

展示室

エントランスを前面に押し出し、ガラス張りの風除室を新設するとともに照度の調整が可能な器具に改善し、そして床面もカーペット張りにして、優しく快適な鑑賞環境とした。さらに主催者の控室兼準備室を新設し、便宜性も高めた。

バリアフリー化

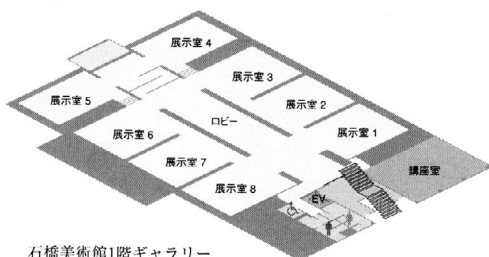
車椅子でも快適に鑑賞できるよう、2階を含め全ての出入口を自動扉にし、大型のエレベーターを導入、そして1階展示室内の階段もスロープ化、さらに2階を含めて車椅子でも利用できる広いトイレを設置した。

講座室

これまでの集会室を改称。あわせて視聴覚機材を充実し、机、椅子も新調。さらに床をカーペット張りとした。

図書室

収容能力を高めるために、移動式書架を導入した。

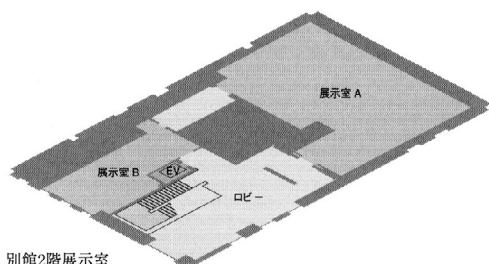


石橋美術館1階ギャラリー

[別館]

展示室

石橋美術館と同別館の統合を機に、これまでの事務室を改装して展示室Bとし、展示室面積の拡張を行った。その結果、既存の展示室Aを含め、各室ごとに特色ある展示ができるようになった。



別館2階展示室

[エクステリア]

石橋文化センター正門から美術館までのアプローチに、展覧会情報表示のフラッグを掲げるモールライトと花々との間にガーデンライトを新設するとともに、美術館入口の展覧会情報表示器具を刷新した。

建築概要(2001年度改修時データ)

石橋美術館

構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階建て
敷地面積	67,750m ²
建築面積	1,508m ²
延床面積	2,970m ²
総展示面積	1,618m ²
収蔵庫	66m ²
図書室	75m ²
講座室	113m ²
情報コーナー	11m ²
ショップ・レストコーナー	53m ²
休憩テラス	34m ²
着工	2001年12月1日
竣工	2002年3月28日
電気設備	受電設備：高圧受電(交流三相3線式) 変圧器容量：1φ3w200KVA×1 3φ3w500KVA×1
空調設備	空調方式： 2階展示室および収蔵庫 単一ダクト方式 1階展示室 1次空調＋ファンコイル方式 2階事務ゾーン ガスエンジンヒートポンプパッケージ 熱源：ガス焚冷温水発生機(120RT)
排煙設備	機械排煙設備、一部自然排煙
昇降機	身障者用：ロープ式15人1,000kg 1基
改修内容	1,2階展示室、収蔵庫、トイレ、後方諸室内装改修 外壁補修、空調設備更新、外構照明設備等

久留米市への寄贈

およそ5か月間にわたっての改修工事は無事に完了し、2002年3月28日清水建設株式会社より石橋財団への引渡式がとり行われた。翌3月29日には石橋美術館改修工事に関しての寄贈式が、久留米市長ならびに石橋財団理事長らの出席のもとに久留米市長室で行われ、その目録が理事長より市長に手渡された。そして4月15日、関係者を招きプレビューとしてのセレモニーを挙行了した。翌4月16日のリニューアルオープン特別展の開幕により一般公開となった。

(田内正宏)

設計

株式会社水野宏建築事務所

施工

清水建設株式会社九州支店一級建築士事務所

監理

清水建設株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティファシリティーズ

石橋美術館別館

構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階建て
敷地面積	67,750m ²
建築面積	620m ²
延床面積	1,070m ²
総展示面積	275m ²
収蔵庫	34m ²
書庫	51m ²
ロビー	111m ²
着工	2001年12月1日
竣工	2002年3月28日
電気設備	受電設備：高圧受電(交流三相3線式) 変圧器容量：1φ3w50KVA×1 3φ3w150KVA×1
空調設備	空調方式： 展示室 エアハンドリングユニット方式 諸室 ファンコイルユニット方式 熱源：空冷ヒートポンプチャラー(40RT)
排煙設備	機械排煙設備、一部自然排煙
昇降機	身障者用：油圧式11人750kg 1基
改修内容	一部展示室、後方諸室内装改修
設計	清水建設株式会社九州支店一級建築士事務所
施工	清水建設株式会社

1. プリヂストン美術館 永坂分室

プリヂストン美術館は、2001年6月から8月まで、永坂分室(東京都港区麻布永坂町1番地)の改修工事を行った。

前回、1999年に行われたプリヂストン美術館(京橋)のリニューアルは、その規模からいって、当館の運営そのものに関わらざるをえないものだった。それに先立つ改修方針検討の会議において、1998年10月、「図書は麻布永坂町にある財団事務所を一部改造して京橋と永坂町の二カ所に分散収納すること」「収蔵庫や修復室は京橋で拡張を考えるのではなく、いずれ時期をみて(3年以内に)別途永坂財団敷地内に新築すること」を決定した(『館報』48号、p.57)。今回の改修工事は、この方針に沿って、プリヂストン美術館の機能の拡充をめざして行われたものである。

永坂分室に新たに新設された施設は以下のとおりである。

・修復室(1階)	30.4m ²
・収蔵庫(1階)	51.8m ²
・図書室(1階)	43.7m ²
・図書室(地下1階)	38.5m ²

これにより、修復室は京橋から移転し、展示室での応急処置などをのぞく主要な保存修復業務は、新たな修復室で行うようになった。

2. プリヂストン美術館(京橋)

上記の永坂分室の修復室新設にともない、2001年9月、京橋にあった旧修復室あとを改装し、館長室を移設した。もとの館長室あとは、小会議室に改装した。

またあわせて同時期に、1階エントランス部分の改修工事を行った。主なものは、自動ドアと風除室の新設、防犯シャッターの設置である。

今後も経費負担やその効果、既存施設の新たな可能性を検討しつつ、京橋と永坂の有機的な機能の使い分けを、プリヂストン美術館は模索していくこととなった。

(貝塚 健)

美術館案内 Guide to the Museums

ブリヂストン美術館

Bridgestone Museum of Art

所在地	東京都中央区京橋1-10-1(〒104-0031) TEL (03) 3563-0241	Address	10-1, Kyobashi 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-0031, Japan Phone: + 81 (3) 3563-0241
URL	http://www.bridgestone-museum.gr.jp	URL	http://www.bridgestone-museum.gr.jp
開館時間	午前10時～午後6時	Hours	10:00 to 18:00
休館	毎月曜日 年末年始		Closed on Mondays, New year holidays
入場料	個人: 一般 700円 大・高生 500円 中・小生 300円 団体(15名以上): 一般 600円 大・高生 400円 中・小生 200円 なお、特別展の場合は変更することがある。	Admission	Individual: Adults ¥700; Students ¥500; Children under 15 ¥300 Group (15 or more): Adults ¥600; Students ¥400; Children under 15 ¥200 Different fees will be charged during major special exhibitions.

石橋美術館・石橋美術館別館

Ishibashi Museum of Art / Ishibashi Museum of Art, Asian Gallery

所在地	福岡県久留米市野中町1015(〒839-0862) TEL (0942) 39-1131	Address	1015, Nonaka-machi, Kurume-shi, Fukuoka 839-0862, Japan Phone: + 81 (942) 39-1131
URL	http://www.ishibashi-museum.gr.jp	URL	http://www.ishibashi-museum.gr.jp
開館時間	4月～9月 午前9時30分～午後5時30分 10月～3月 午前9時30分～午後5時	Hours	April-September 9:30 to 17:30 October-March 9:30-17:00
休館	毎月曜日 年末年始		Closed on Mondays, New year holidays
入場料	個人: 一般 500円 大・高生 300円 中学生以下 無料 団体(20名以上): 一般 400円 大・高生 200円 なお、特別展の場合は変更することがある。 *2002年4月より上記料金に改訂	Admission	Individual: Adults ¥500; Students ¥300; Children under 15 free Group (20 or more): Adults ¥400; Students ¥200 Different fees will be charged during major special exhibitions.

2002年10月現在

石橋財団職員

常務理事	城多 秀年
	富山 秀男
美術品担当課長	石井 亨

事務局

局長	遠藤 長夫
	押本 仁子
	小原田鶴子
	森田麻利子
	石黒 経子
	土屋 益子

ブリヂストン美術館

館長	富山 秀男		
事務部 事務部長	黒田 昌弘	学芸課 学芸課長	宮崎 克己
	中村 邦子		中田 裕子
	金森 大輔		塚田美香子
	渡辺 清美		貝塚 健
	青柳 真子		中村 節子
	金子 伸子		福満 葉子
	原 永子		坂本 恭子
	石川 久子		

石橋美術館・石橋美術館別館

館長	喜多村 禎勇	学芸課 学芸課長	田内 正宏
事務部 事務部長	郷原 耕亮		森山 秀子
	野田 朋子		植野 健造
	富松 弘美		後藤 純子
	原 朋子		平間 理香

2002年 3月31日現在

館報50号(2001年度)

編集・発行

石橋財団ブリヂストン美術館

〒104-0031 東京都中央区京橋1-10-1

石橋財団石橋美術館

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015

制作

瞬報社写真印刷株式会社

2002年10月発行

Annual Report of Bridgestone Museum of Art &
Ishibashi Museum of Art No.50(2001)

Edited and published by

Bridgestone Museum of Art, Ishibashi Foundation

10-1, Kyobashi 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-0031, Japan

Ishibashi Museum of Art, Ishibashi Foundation

1015, Nonaka-machi, Kurume-shi, Fukuoka 839-0862, Japan

Produced by

Shumpousha Co., Ltd.

©2002

Bridgestone Museum of Art,

Ishibashi Museum of Art,

Ishibashi Foundation
